

平成28年度

名古屋市美術館年報

2 0 1 6

目次

序	1
沿革	2
展覧会事業	3
1 常設展	3
(1)名品コレクション展	4
(2)常設企画展	13
2 特別展	18
教育普及事業	36
1 教育プログラム	36
1 一般成人対象の事業	37
(1)講演会・解説会	37
(2)コレクション解析学	37
(3)コンサート	39
(4)パフォーマンス・ワークショップ	39
2 子ども対象の事業	39
(1)学校休業日の体験活動の推進	39
(2)夏休みこどもの美術館	41
(3)芸術と科学の杜	42
3 学校対象事業	44
(1)ボランティアによる学校団体向け ガイドトークの実績	44
(2)アートカード貸出実績	44
(3)出前アート体験	45
(4)就業・職業・職場体験及び 職場訪問受け入れ	47
(5)教員対象の講座	48
(6)その他	48
2 ボランティア	50
(1)ボランティア登録者	50
(2)定例会	50
(3)ガイド活動	50
(4)サポート活動 系の活動	51
(5)その他	52
3 学生向け優待事業	52
4 協力会	53
5 図書室	53
6 出版	54
資料	55
1 収集	55
(1)購入	56
(2)寄贈	56
(3)資料収集状況一覧	72
2 保存・修復	73
3 調査・研究	74
4 貸出	75
5 寄付金	76
入館者一覧	77
組織・予算	78
1 組織図	78
2 美術館協議会	78
(1)名古屋市美術館協議会委員	78
(2)名古屋市美術館協議会開催状況	78
3 職員	78
4 運営予算	78

序

PREFACE

名古屋市美術館の平成28年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

平成30年度には開館30周年の記念の年を迎えますが、この30年間に日本の社会状況は大きく変化し、それに伴い美術館の置かれた立場、求められる姿も少しずつ変わってきています。どんな組織も社会の変化に合わせて柔軟に対応していくことが求められ、それは美術館でも同様です。また一方で、どれほど社会が変化しようとも堅持しなければならない役割があることも事実で、その基本をしっかりと押さえつつ、市民の皆様方の期待にお応えできるよう今後とも努力を積み重ねていきたいと考えています。

美術館活動の根幹となるコレクションについて、今年度は購入、寄贈、寄託、あわせて242点もの作品が新たに加われました。相変わらず収集予算は大変厳しい状況にあり、購入できる作品は限られておりますが、多くのコレクターの方々のご協力をいただき、幅広くかつ多様な作品が当館のコレクションの厚みを増しております。特に150点を超える北川民次の版画作品や、現代美術を中心とする50点近い作品のまとまった寄託は、今後の常設展示をさらに充実したものにしてくれるでしょう。

特別展については、平成28年度は5本の展覧会を開催いたしました。近代洋画、国際芸術祭、メキシコの写真、近代日本画、そしてアール・ブリュットの巨匠と、例年通り大変多彩な内容の展覧会をご覧いただきました。昨今は入場者数や収支など、数字に表れる結果が重視される傾向があり、当然それは努力していかなければいけないと考えておりますが、一方で知名度は低いが、質が高く歴史的にも重要な作家や運動の紹介など、公立美術館ならではの視点を持った展覧会に今後とも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

地下の常設展示室3の部屋で行っている常設企画展については平成28年度には4本の展覧会を開催しました。うち2本は特別展の開催にあわせて、藤田とプラボに関係する作家をコレクションから選び、まとめてご紹介しました。また、地元の若手作家を中心にご紹介するポジション展の一環として「河村み 介-生と死のあいだ」展を、さらに名古屋の洋画の草分け的存在である河野次郎の業績をコレクションによって紹介する小企画展を開催しました。

常設展は例年通り、収集方針ごとに小テーマを設け、それぞれの作品の特徴を浮かび上がらせるように工夫してご紹介いただきました。美術館は展覧会を見る場所という認識をお持ちの方が少ないと思っておりますが、何と云っても美術館の活動の中心はコレクションです。過去から受け継いだコレクションの魅力をいかに分かりやすくお伝えしながら、次の世代に引き継いでいくのか。この美術館にとって最も重要な使命を十分に果たすべく、今後とも努力していききたいと思っております。

教育普及活動については、例年通り講演会や講座、常設展、特別展でのギャラリートーク、「キッズの日」や「夏休み子どもの美術館」といった子どもたち向けの事業、出前授業、教師のための美術館利用研修など、精力的に展開しました。100名近い皆さんに登録していただいているボランティアの活動も例年通り多彩な広がりを見せ、その存在は美術館の活動を支えるだけでなく、最も良き理解者として不可欠のものとなっています。ボランティアと並ぶもう一つの支援団体である協力会もそうですが、美術館と一般の方々をつなぐ架け橋として、その存在はますます重要なものになっています。

来年度には開館から30周年という節目の年を迎えますが、新しい方向性を目指すというよりも、原点に立ち返って美術館の果たすべき役割を再度見つめ直し、そのうえで多くの方々に愛され親しまれるよう努力を重ねていきたいと考えております。どうぞ、今後とも名古屋市美術館の活動にご理解を賜り、これまで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。

2017年10月

名古屋市美術館

沿革 HISTORY

- 昭和52年12月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和56年1月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
- 12月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和57年2月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、美術館のあり方について諮問
- 4月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和58年1月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）基本構想について」答申
- 7月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
- 8月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 10月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和59年3月 建築基本設計完了
- 9月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和60年1月 建築実施設計完了
- 2月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
- 7月 美術館建設工事着手
- 昭和61年11月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和62年4月 美術館開設準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
- 7月 美術館本体工事完成
- 10月 外構工事完成
- 昭和63年3月 「名古屋市美術館条例」制定
- 4月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
- 4月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年9月 博物館登録
- 平成5年9月 南側エレベーターの設置
- 平成7年6月 美術館長（剣持一郎 元名古屋市教育長）委嘱
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成10年10月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成11年6月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成14年6月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成18年6月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成21年5月 美術館長（松永恒裕 元名古屋市総務局長）委嘱
- 6月 開館以来1,000万人目の入館者を迎える
- 平成26年5月 美術館長（横井政和 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱

平成28年度の常設展（名品コレクション展）は、「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」「郷土の美術」の4つコーナーで、第Ⅰ期、第Ⅱ期前・後期、第Ⅲ期前・後期に分け、コレクションを多角的に紹介しました。あいちトリエンナーレ開催時期（第Ⅱ前期）では、トリエンナーレのテーマにあわせて、「旅」をテーマにした展示を行いました。

本年度の「エコール・ド・パリ」のコーナーにおいては、シャガールの挿絵版画を代表する作品を展示し、挿絵画家としても高く評価されていたシャガールの世界を紹介しました。第Ⅰ期では、ロシアの小説家ゴゴリの長編小説『死せる魂』、第Ⅱ期では、17世紀フランスの文人ラ・フォンテーヌによる『寓話』、そして第Ⅲ期には、『聖書』。これらのための挿絵として制作された版画を数葉ずつ選びました。同時に、シャガールの油彩画《二重肖像》、モディリアアーニ《おさげ髪の少女》をはじめとし、ローランサン、パスキン、ヴァン・ドンゲンらの作品を順次展示しました。

「メキシコ・ルネサンス」のコーナーにおいては、まず20世紀の革命後のメキシコ美術において壁画に取り組んだ他の作家と異なり、タブロー（キャンバス画）にこだわり活動したルフィーノ・タマヨを取り上げました。第Ⅱ前期では、「メキシコへの旅—メキシコに渡った三人の写真家」と題し、フーゴ・ブレーメ、ティナ・モドッティ、ポール・ストランドの3人の作品を展示しました。第Ⅱ後期には、ホセ・グアダルーペ・ボサダの版画を中心に死の表象、メキシコの血と死生観をたどりました。そして第Ⅲ期では、20世紀初頭に活躍したメキシコの女性画家マリア・イスキエルドを紹介しました。

「現代の美術」のコーナーでは、まず荒川修作、河原温、草間彌生らの作品を紹介した「ニューヨークの日本人作家」、続いて「時間の旅」をテーマにイサム・ノグチ、宮島達男、杉本博司らの作品を展示しました。第Ⅱ後期には、1980年代に再び絵画に注目が集

まるようになった美術の動向を取り上げた「1980年代のペインティング」を開催し、第Ⅲ前・後期には、「円」「三角」「四角」という形に着目し、作品のなかに見られるこれらの形から生まれる多様なイメージについて紹介しました。

「郷土の美術」のコーナーでは、第Ⅰ期では「官展に挑んだ日本画家たち」、第Ⅱ前期では、「エグザイル：自由への旅」と題し、戦前に「難民」取材した2つの日本人写真家によるグループを取り上げました。第Ⅱ後期も写真をテーマにした展示「日高長太郎と＜愛友写真倶楽部＞」が続き、第Ⅲ前・後期には、それぞれ「三岸節子の芸術」「三岸好太郎の芸術」を開催しました。

常設企画展では、第Ⅰ期には特別展「藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—」開催にあわせて、ヴァン・ドンゲン、モディリアアーニ、荻須高德、北川民次といった藤田と関係があった画家たちを紹介した特集「藤田をめぐる画家たち」を開催し、第Ⅱ後期には、特別展「アルバレス・ブラボ写真展—メキシコ、静かなる光と時—」の開催にあわせて、特集「アルバレス・ブラボと同時代のメキシコの作家たち」を開催しました。

第Ⅲ前期には、常設企画展「ポジション2017 河村 るみ 介（かい）—生と死のあいだ—」を開催しました。名古屋で活躍する河村るみ。このたびは、母親の介護を経て看取った経験から感じた、表裏一体にある生きることと死ぬことについて、パフォーマンスと映像を使ったインスタレーションで表現しました。期間中には、河村氏と日本看取り士会代表の柴田久美子氏による記念対談を行いました。

第Ⅲ後期には、河野次郎（1856-1934）を取り上げました。河野次郎は、1876年頃から6年ほどを名古屋で過ごし、明治初期に始まる西洋画の普及にかかわりました。また草土社で活躍した河野通勢の父であり、通勢に絵画を教えたことが知られています。本展示では、ご遺族のご厚意により当館にご寄贈いただいた作品を展示しました。

(1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of
Nagoya City Art Museum

名品コレクション展 I

会期：2016年4月29日(土)～7月3日(日)

常設展示室 1・2

出品作品

*：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
コレクション解析学					
1	前田青邨	富貴花	1974	紙本墨画金泥 額装	84.5×236.0

エコール・ド・パリ:シャガールの版画「死せる魂」より

1	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0
2	マルク・シャガール	《死せる魂》より	1923-25	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙	28.0×38.0(用紙寸)
3	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0
4	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4
5	マリー・ローランサン	サーカスにて	c.1913	油彩・キャンヴァス	116.5×89.0
6	マリー・ローランサン	アポリネールの娘	c.1924	油彩・キャンヴァス	73.1×54.0
7	ジュール・バスキン	横たわるエリアーヌ	1929	油彩・キャンヴァス	73.2×92.6
8	ハイム・スーチン	農家の娘	c.1919	油彩・キャンヴァス	80.0×45.0

現代の美術:ニューヨークの日本人作家

1	芥川(間所)紗織	女	1954	染色・木綿	90.8×65.2
2	間所(芥川)紗織	朱とモーブ A	1963	油彩・キャンヴァス	130.3×89.6
3	荒川修作	名前のない耐えているもの No.2	1958(1986)	ミクストメディア	253.5×123.1×22.7
4	荒川修作	熱をもつものの中に入れること/私たち	1979-80	アクリル・キャンヴァス	254.0×692.0
5	河原温	私生児の誕生	1955	油彩・キャンヴァス	132.0×194.0
6	河原温	FEB. 23, 1966	1966	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5
7	河原温	OCT. 26, 1977	1977	アクリル・キャンヴァス	20.5×25.5
8	河原温	NOV. 17, 1988	1988	アクリル・キャンヴァス	133.4×194.3
* 9	草間弥生	インフィニティ・ネッツ(無限の網の目)	1959	油彩・キャンヴァス	45.4×38.1
10	草間弥生	ピンク・ボート	1992	ファイバーワーク、ボート	90.0×350.0×180.0
11	桑山忠明	無題	1961	顔彩・紙、キャンヴァス	216.2×166.2
12	桑山忠明	無題	1970	アクリル・キャンヴァス	273.0×273.0
13	桑山忠祐	#D141	1973	アクリル・キャンヴァス	150.0×150.0
14	アンセルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5
15	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7

メキシコ・ルネサンス：ルフィーノ・タマヨ

1	マヌエル・アルバレス・ブラボ	ルフィーノ・タマヨ	1939-40(1987)	ゼラチンシルバープリント・紙	25.4×20.3
2	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9
3	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0
4	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモックの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0
5	ルフィーノ・タマヨ	乗り遅れた乗客	1946	油彩・キャンヴァス	97.2×84.0
6	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4
7	ルフィーノ・タマヨ	苦悶する人	1949	油彩・キャンヴァス	100.0×80.0
8	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 2	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×25.3
9	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 7	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×50.5
10	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 9	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×50.5
11	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 10	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×25.3
12	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 12	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×25.3
13	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 14	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×50.5
14	ルフィーノ・タマヨ	聖ヨハネの黙示録 15	1959	カラーリトグラフ・紙 15点組	33.0×50.5
15	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n. d.	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0
16	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	プレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3
17	北川民次	トラルパム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8

郷土の美術：官展に挑んだ日本画家たち

1	喜多村麦子	鷹之図	1926/1928	絹本着色 屏風(四曲一隻)	156.0×298.3
2	清水有声	椿咲く島	1920	絹本着色 額装	203.4×85.3
3	平岩三陽	山は粧ふ	1937	紙本着色 屏風(二曲一隻)	167.5×170.5
4	水野清亭	初夏の朝	1915	金地 絹本着色 屏風(二曲一双)	各171.5×180.8
5	横山葩生	磯	1934	絹本着色 屏風(二曲一隻)	166.0×191.0
6	渡辺幾春	二人の女	1939	絹本着色 額装	172.0×176.0

名品コレクション展Ⅱ

会期：2016年7月30日(土)～12月18日(日)

常設展示室1・2

*：寄託品

i：前期7月30日(火)～10月23日(日)

ii：後期11月3日(土)～12月18日(日)

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	
1	宮島達男	Opposite Circle	1991	発光ダイオード、IC、電線、アルミニウムパネル、木製パネル	直径515.0	i
2	宮島達男	「Opposite Circle」のためのドローイング	1991	インク、コラージュ・紙	79.1×109.2	i
3	アニッシュ・カプーア	Void No.3	1989	顔料・ファイバーグラス	121.9×121.9×91.4	ii

現代の美術：(前期)時間の旅

1	荒川修作	Untitled 無題	1964	油彩・キャンヴァス、コラージュ	162.1×130.3	i
2	河口龍夫	関係一時のフロッターージュ	1996-97	和紙、蜜蝋、天然黄土、スチレンボード(14点)	各46.3×36.3×4.2	i
* 3	河口龍夫	関係一質	1988	木製パネル/布、銅、液体	200.2×200.2×5.0	i
4	河口龍夫	DARK BOX 2008	2008	鉄、闇	37.0×60.0×35.0	i
5	河原温	APR. 5, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
6	河原温	APR. 6, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
7	河原温	APR. 7, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
8	河原温	APR. 8, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
9	河原温	APR. 9, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
10	河原温	APR. 10, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
11	河原温	APR. 11, 1987	1987	リキテックス・キャンヴァス	25.5×33.0	i
12	河原温	百万年一未来	1982	ゼロックスコピー・スリーフ・バインダー 10巻	各30.5×22.8×7.6	i
13	庄司達	白い布による空間 '68-6	1968	綿布、糸、塗装金属フレーム	H216×202×202	i
* 14	杉本博司	Orpheum, California	1977	ゼラチン・シルバー・プリント・紙	42.2×54.4	i
15	福田美欄	陶器(スルバランによる)	1983	カラー写真	46.2×85.7×3.3	i
16	ベルント/ヒラ・ベッヒャー	巻き上げ機	1980	モノクロ写真12点1組	154.2×165.6	i
* 17	ジョン・ケージ	七・日・日記	1978	エッチング等・紙	各30.5×43.0	i
18	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i
19	イサム・ノグチ	死すべきもの	1959-62	ブロンズ	190.0×51.0×48.0	i
20	エドワード・ルッシェ	20世紀	1988	油彩・キャンヴァス	150.0×368.0	i
21	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i

現代の美術：(後期)1980年代のペインティング

1	浅野弥衛	作品	1984	鉛筆・紙	各111.5×79.2	ii
2	河原温	NOV. 17, 1988	1988	リキテックス・キャンヴァス	133.4×194.3	ii
3	桑山忠明	無題・白/黒/黄土	1987	油彩・ハニカムボード	各91.5×61.2×10.2	ii
4	辰野登恵子	WORK 86-P-12	1986	油彩・キャンヴァス	291.0×218.0	ii
5	森村泰昌	兄弟(虐殺I)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0	ii
6	森村泰昌	兄弟(虐殺II)	1991	カラー写真、メディウム・パネル	240.0×309.0	ii
7	山本富章	無題	1987	ミクストメディア	286.0×382.0×16.0	ii
8	吉本作次	中断された眠りI	1985	ペンキ、クレヨン、土・キャンヴァス	224.8×275.9	ii
9	吉本作次	サヴォナローラII	1985	ペンキ、クレヨン、土・キャンヴァス	227.8×288.5	ii
10	エドワード・アーリントン	サチュルヌス	1988	インク、乳剤・紙・キャンヴァス	183.0×244.0	ii
11	アンゼルム・キーファー	シベリアの女王	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	ii
12	エドワード・ルッシェ	20世紀	1988	油彩・キャンヴァス	150.0×368.0	ii
13	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	ii

エコール・ド・パリ: シャガールの版画「寓話」より

1	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス	130.0×100.0	i・ii
2	キスリング	マルセル・シャンタルの肖像	1935	油彩・キャンヴァス	116.0×81.0	i・ii
3	キスリング	新聞のある静物	1913	油彩・キャンヴァス	81.0×100.0	i・ii
4	マリイ・ローランサン	サーカスにて	c.1924	油彩・キャンヴァス	116.5×89.0	i・ii
5	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c.1918	油彩・キャンヴァス	60.1×45.4	i・ii
6	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0	i・ii
7	モーリス・ユトリロ	ノルヴァン通り	1910	油彩・キャンヴァス	73.1×92.0	i・ii
8	マルク・シャガール	『寓話』より 1. カラスとキツネ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
9	マルク・シャガール	『寓話』より 3. 二匹のラバ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
10	マルク・シャガール	『寓話』より 4. ライオンと共同で事業をした牝カシと牝ヤギと牝ヒツジ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
11	マルク・シャガール	『寓話』より 5. オオカミと小ヒツジ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
12	マルク・シャガール	『寓話』より 7. 死と不仕合わせな人	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
13	マルク・シャガール	『寓話』より 8. 死と木こり	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
14	マルク・シャガール	『寓話』より 9. キツネとコウノトリ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
15	マルク・シャガール	『寓話』より 15. 矢に傷ついた鳥	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
16	マルク・シャガール	『寓話』より 16. 牝イヌとその友だち	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
17	マルク・シャガール	『寓話』より 17. ワシとコガネムシ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
18	マルク・シャガール	『寓話』より 20. ライオンとネズミ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
19	マルク・シャガール	『寓話』より 21. ウサギとカエル	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
20	マルク・シャガール	『寓話』より 22. オンドリとキツネ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
21	マルク・シャガール	『寓話』より 23. ワシのまねをしようとしたカラス	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
22	マルク・シャガール	『寓話』より 24. ジュノンに不平を言うクジャク	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
23	マルク・シャガール	『寓話』より 25. 人間の女に変わった牝ネコ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
24	マルク・シャガール	『寓話』より 30. 王様を欲しがめるカエルたち	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
25	マルク・シャガール	『寓話』より 31. キツネとヤギ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
26	マルク・シャガール	『寓話』より 32. ワシとイノシシとネコ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
27	マルク・シャガール	『寓話』より 35. キツネとぶどう	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
28	マルク・シャガール	『寓話』より 39. 溺死した女	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
29	マルク・シャガール	『寓話』より 45. シカに復讐しようとしたウマ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
30	マルク・シャガール	『寓話』より 48. オオカミと母親と子ども	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
31	マルク・シャガール	『寓話』より 52. 木こりとメルキュール	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
32	マルク・シャガール	『寓話』より 58. 運命の女神と少年	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
33	マルク・シャガール	『寓話』より 64. ライオンの皮を着た口バ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
34	マルク・シャガール	『寓話』より 78. 女易者	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
35	マルク・シャガール	『寓話』より 85. ネズミとゾウ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
36	マルク・シャガール	『寓話』より 87. 二羽のハト	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
37	マルク・シャガール	『寓話』より 88. サルとヒョウ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
38	マルク・シャガール	『寓話』より 90. 娘に変わったハツカネズミ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
39	マルク・シャガール	『寓話』より 93. カメと二羽のカモ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii
40	マルク・シャガール	『寓話』より 96. 二羽のオウムと王様と王子	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	i
41	マルク・シャガール	『寓話』より 99. 病気のシカ	1927-30	エッチング・紙	38.5×30.0	ii

メキシコ・ルネサンス: (前期)メキシコへの旅

1	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i
3	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i
5	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列		油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	i
6	ダビッド・アルファロ・シケイロス	母と子	1934	油彩・メゾナイト	152.7×78.7	i
7	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモクの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	i
8	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i
9	マリア・イスキエルド	旅人の肖像(アンリッド・シャティヨンの肖像)	c.1940	油彩・キャンヴァス	160.0×190.0	i
10	マリア・イスキエルド	巡礼者たち	1945	油彩・キャンヴァス	60.0×75.0	i
12	ルフィーノ・タマヨ	苦悶する人	1949	油彩・キャンヴァス	100.0×80.0	i
13	北川民次	チュルプスコのコンベント回廊	1923/1955	油彩・キャンヴァス	71.3×61.5	i
14	ポール・ストランド	サルティエリャ近郊 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×15.8	i
15	ポール・ストランド	教会、コアピアクストラ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	i
16	ポール・ストランド	聖母、サンフェリペ、オアハカ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	26.2×20.2	i
17	ポール・ストランド	サンタ・アナの女たち、ミチョアカン 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.7×15.8	i
18	ポール・ストランド	少年、ウルアバン 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.5×20.2	i
19	ポール・ストランド	広場、プエブラ州 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.8×15.7	i
20	ポール・ストランド	女と赤ん坊、イダルゴ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	12.5×16.3	i

21	ポール・ストランド	いぼらのキリスト、ウエクトラ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	25.7×20.1	i
22	ポール・ストランド	男、テナンチンゴ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.4×12.7	i
23	ポール・ストランド	門、イダルゴ 『メキシカン・ポートフォリオ』より	1933(1967)	フォトグラヴェール・紙	16.1×12.5	i
24	ティナ・モドッティ	アステカの赤子	c. 1926-27	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	23.1×18.5	i
25	ティナ・モドッティ	スタジアムの外観	1927	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×18.9	i
26	ティナ・モドッティ	ブルケリア・犬、マリオネット、ステージセット	1929	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	18.7×20.2	i
27	ティナ・モドッティ	操り人形のルネ・ダルノンクール	1929	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×18.7	i
28	フーゴ・ブレイメ	ポポカテペトル山	n.d. (1920-30年代)	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×28.0	i
29	フーゴ・ブレイメ	イスタシワトル山	c. 1915	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×35.6	i
30	フーゴ・ブレイメ	ピコ・デ・オリザバ山	n.d. (1920-30年代)	ヴィンテージ・ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×28.0	i

メキシコ・ルネサンス:(後期)ポサダの版画

1	ホセ・クレメンテ・オロスコ	白い神々	c. 1947	油彩・メゾナイト	76.1×93.9	ii
2	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	ii
3	ディエゴ・リベラ	ヘンリー・ノーウェップの肖像	1935	油彩・板	115.1×92.1	ii
4	ダビッド・アルファロ・シケイロス	カウテモクの肖像	1947	ピロキシリン・メゾナイト	75.5×62.0	ii
5	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	奴隷	1961	アクリル・板	86.4×64.8	ii
6	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	ii
7	マリア・イスキエルド	旅人の肖像(アンリド・シャティヨンの肖像)	c. 1940	油彩・キャンヴァス	160.0×190.0	ii
8	ルフィーノ・タマヨ	苦悶する人	1949	油彩・キャンヴァス	100.0×80.0	ii
9	北川民次	トラルバム霊園のお祭り	1930	油彩・キャンヴァス	99.5×89.8	ii
10	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	芸術の煉獄	c. 1890-1913	金属版・紙	60.0×40.0	ii
11	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	骸骨の山	1907	金属版・紙	40.0×30.0	ii
12	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	山高帽子を被った骸骨	1919	金属版・紙	40.0×30.0	ii
13	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	骸骨モレリアーナ	c. 1890-1913	金属版・紙	40.0×30.0	ii
14	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	骸骨の大舞踏会	1906	金属版・紙	40.0×30.0	ii
15	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	骸骨の贈り物	1911	金属版・紙	40.0×30.0	ii
16	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	愛情深い骸骨	1911	金属版・紙	40.0×30.0	ii
17	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	思い出も友人たちもいまでは骸骨	c. 1890-1913	金属版・紙	40.0×30.0	ii
18	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	骸骨コヨーテと女給たち	1919	金属版・紙	40.0×30.0	ii
19	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	愛の巨大墓地	c. 1890-1913	金属版・紙	40.0×30.0	ii
20	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	グアナファトの大洪水	1905	金属版・紙	30.0×20.0	ii
21	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	連邦州タクバヤでの恐るべき大爆発	1906	金属版・紙	30.0×20.0	ii
22	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	エル・パソ2号の衝突と脱線	1907	金属版・紙	30.0×20.0	ii
23	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	独立100周年の彗星	1908	金属版・紙	30.0×20.0	ii
24	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	好奇通信 不幸な男アントニオ・サンチェスの4つの殺人事件	1909	金属版・紙	30.0×20.0	ii
25	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	不従順な青年に起こった恐るべき見せしめの出来事	1910	金属版・紙	30.0×20.0	ii
26	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	恐るべき無惨な事件	1911	金属版・紙	30.0×20.0	ii
27	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	信じられない恐るべき犯罪	1912	金属版・紙	30.0×20.0	ii
28	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	恐るべき情熱による悲劇	1913	金属版・紙	30.0×20.0	ii
29	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	プエブラ市の流血事件	1915	金属版・紙	30.0×20.0	ii
30	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	サン・ファン・デ・ロス・ラゴスの聖母	1916	金属版・紙	40.0×30.0	ii
31	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	隠れ家の聖母への礼拝	1917	金属版・紙	40.0×30.0	ii
32	ホセ・グアダルーベ・ポサダ	信仰の山エル・ボレティンの孤独な聖母の像	1916	金属版・紙	60.0×40.0	ii
33	ルフィーノ・タマヨ	黙示録の四騎士:征服者[聖ヨハネの黙示録]より	1959	リトグラフ・紙	33.0×50.3	ii
34	ルフィーノ・タマヨ	黙示録の四騎士:戦争[聖ヨハネの黙示録]より	1959	リトグラフ・紙	33.0×50.3	ii
35	ルフィーノ・タマヨ	黙示録の四騎士:飢饉[聖ヨハネの黙示録]より	1959	リトグラフ・紙	33.0×50.3	ii
36	ルフィーノ・タマヨ	黙示録の四騎士:死[聖ヨハネの黙示録]より	1959	リトグラフ・紙	33.0×50.3	ii

郷土の美術：(前期)エグザイル：自由への旅—《流氓ユダヤ》と《北満のエミгранト》

《流氓ユダヤ》

1	田淵銀芳	流氓ユダヤ-題不詳(中庭)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3	i
2	田淵銀芳	流氓ユダヤ-題不詳(ベッド)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3	i
3	田淵銀芳	流氓ユダヤ-父子	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3	i
4	田淵銀芳	流氓ユダヤ-チェス	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.3	i
5	田淵銀芳	流氓ユダヤ-男	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	30.1×20.1	i
6	椎原治	流氓ユダヤ-仲間	1941	g.s.p.	30.9×43.7	i
7	椎原治	流氓ユダヤ-ヘブライの書	1941	g.s.p.	31.8×41.4	i
8	椎原治	流氓ユダヤ-仮睡	1941	g.s.p.	35.7×43.2	i
9	椎原治	流氓ユダヤ-窓	1941	g.s.p.	30.3×25.0	i
10	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(姉妹)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.1	i
11	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(少女)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.1×29.9	i
12	川崎亀太郎	流氓ユダヤ-題不詳(門前)	1941/2005	g.s.p. オリジナル・ネガからのニュープリント	20.2×30.1	i

《北満のエミ格蘭ト》

13	一色辰夫	牧歌・カザックの村-祈り	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミ格蘭ト』より	36.6×28.0	i
14	一色辰夫	牧歌・カザックの村-墓標	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミ格蘭ト』より	36.6×28.0	i
15	一色辰夫	牧歌・カザックの村-乳	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミ格蘭ト』より	36.6×28.0	i
16	一色辰夫	牧歌・カザックの村-村の会堂	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミ格蘭ト』より	36.6×28.0	i
17	一色辰夫	牧歌・カザックの村-厨	1939	コロタイプ印刷、写真集『北満のエミ格蘭ト』より	36.6×28.0	i
18	松岡謙一郎	麦	1938	コロタイプ印刷、写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	27.2×20.4	i
19	松岡謙一郎	尼僧	1938	コロタイプ印刷、写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	24.5×20.5	i
20	松岡謙一郎	静日	1938	コロタイプ印刷、写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	25.6×20.3	i
21	松岡謙一郎	井戸	1938	コロタイプ印刷、写真画集『光る丘』第2巻第10-11号より	26.3×20.4	i
22	馬場八潮	ロマノフカ21-3	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0	i
23	馬場八潮	ロマノフカ21-17	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0	i
24	馬場八潮	ロマノフカ21-19	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0	i
25	馬場八潮	ロマノフカ21-21	c.1939	g.s.p.	27.0×22.0	i
26	馬場八潮	スタディシート11-1	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0	i
27	馬場八潮	スタディシート11-3	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0	i
28	馬場八潮	スタディシート11-7	c.1939	g.s.p. コンタクトプリント	19.8×25.0	i

郷土の美術：(後期)日高長太郎と〈愛友写真倶楽部〉

*	1	日高長太郎	冬の日	1913	紙、カーボン印画	23.1×27.3	ii
*	2	日高長太郎	寒む空	1915	紙、ゴム印画	20.5×28.7	ii
*	3	日高長太郎	あらしの前	1916	紙、ゴム印画	20.8×26.7	ii
*	4	日高長太郎	高原の冬	1917	紙、ゴム印画	30.2×40.1	ii
*	5	日高長太郎	山岳の雨	1918	紙、ゴム印画	30.5×41.4	ii
*	6	日高長太郎	雨の夕	1918	紙、ゴム印画	31.0×40.7	ii
*	7	日高長太郎	北国の雪	1919	紙、ゴム印画	28.5×41.2	ii
*	8	日高長太郎	凧	1920	紙、ゴム印画	30.8×41.0	ii
*	9	日高長太郎	木曾路の春	1920	紙、ゴム印画	30.4×40.8	ii
*	10	日高長太郎	白樺	1925	紙、ゴム印画	27.6×38.5	ii
*	11	日高長太郎	嵐峡	1926	紙、ゴム印画	22.9×28.0	ii
*	12	日高長太郎	高尾風景	1926	紙、ゴム印画	22.5×22.7	ii
*	13	日高長太郎	晴れたる日	n.d.	プロマイド	29.6×44.5	ii
*	14	大橋松太郎	白樺	1918	紙、ゴム印画	23.0×28.3	ii
*	15	大橋松太郎	田口にて	1922	紙、ゴム印画	29.0×22.0	ii
*	16	大橋松太郎	奈良の印象	1924	紙、ゴム印画	40.4×28.3	ii
*	17	大橋松太郎	奈良の印象(其の二)	1924	紙、ゴム印画	29.2×41.0	ii
*	18	大橋松太郎	知恩院の秋	n.d.(1920年代前半)	紙、ゴム印画	31.0×41.8	ii
*	19	大橋松太郎	題不詳(農家)	n.d.(1920年代前半)	紙、ゴム印画	28.9×39.8	ii
*	20	大橋松太郎	題不詳(白樺の木)	n.d.(1920年代前半)	紙、ゴム印画	24.7×33.6	ii
*	21	大橋松太郎	梓川の秋	1921	紙、ゴム印画	32.1×40.7	ii
*	22	大橋松太郎	春の海	1926	紙、プロムオイル印画	22.0×28.5	ii
*	23	大橋松太郎	秋の田舎	1929	紙、ゴム印画	21.7×28.5	ii
	24	益子愛太郎	冬の晨	1920	紙、ゴム印画	24.3×39.8	ii
	25	益子愛太郎	冬迫る頃	1928	紙、ゴム印画	29.5×41.7	ii
	26	益子愛太郎	題不詳(農婦)	n.d.(1920-29)	紙、ゴム印画	28.1×20.6	ii
	27	益子愛太郎	秋嶺烟雲	n.d.(1920-29)	紙、ゴム印画	32.8×41.2	ii

名品コレクション展Ⅲ

会期：2017年1月14日(土)～2月26日(日)

常設展示室1・2

出品作品

*：寄託品 ☆：初出品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	
1	三岸節子	プチカナル	1973	油彩・キャンヴァス	116.0×89.0	i
2	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	ii

コレクション解析学

エコール・ド・パリ：シャガールの版画「聖書」より

1	マルク・シャガール	「聖書」より 1. 人類創造	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
2	マルク・シャガール	「聖書」より 2. 箱舟の鳩	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
3	マルク・シャガール	「聖書」より 3. ノアの生贄	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
4	マルク・シャガール	「聖書」より 4. 虹	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
5	マルク・シャガール	「聖書」より 7. アブラハムと3人の天使	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
6	マルク・シャガール	「聖書」より 10. アブラハムの生贄	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
7	マルク・シャガール	「聖書」より 13. イサクから祝福を受けるヤコブ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
8	マルク・シャガール	「聖書」より 14. ヤコブの梯子	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
9	マルク・シャガール	「聖書」より 18. 若き羊飼いのヨセフ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
10	マルク・シャガール	「聖書」より 20. ヨセフの死を嘆き悲しむヤコブ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
11	マルク・シャガール	「聖書」より 22. パロの夢	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
12	マルク・シャガール	「聖書」より 26. 川から助け出されたモーセ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
13	マルク・シャガール	「聖書」より 27. 燃えるしば	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
14	マルク・シャガール	「聖書」より 29. パロの前のモーセとアロン	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
15	マルク・シャガール	「聖書」より 32. 過越祭の食事	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
16	マルク・シャガール	「聖書」より 33. 出エジプト	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
17	マルク・シャガール	「聖書」より 34. 紅海の道	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	i
18	マルク・シャガール	「聖書」より 36. 岩から水をふき出させるモーセ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
19	マルク・シャガール	「聖書」より 37. 神から石板を授かるモーセ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
20	マルク・シャガール	「聖書」より 38. 黄金の子牛	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
21	マルク・シャガール	「聖書」より 39. 律法の石板を砕くモーセ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
22	マルク・シャガール	「聖書」より 40. アロンと燭台	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
23	マルク・シャガール	「聖書」より 41. モーセの死	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
24	マルク・シャガール	「聖書」より 43. 主の命により武装したヨシュア	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
25	マルク・シャガール	「聖書」より 44. ヨルダン川の道	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
26	マルク・シャガール	「聖書」より 45. 剣の天使の前のヨシュア	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
27	マルク・シャガール	「聖書」より 47. 律法の言葉を読むヨシュア	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
28	マルク・シャガール	「聖書」より 51. ヨシュアとシケムの石	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
29	マルク・シャガール	「聖書」より 52. 女預言者デボラ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
30	マルク・シャガール	「聖書」より 53. マノアの生贄	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
31	マルク・シャガール	「聖書」より 54. サムソンと獅子	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
32	マルク・シャガール	「聖書」より 55. ガザの町の門をかつぎあげるサムソン	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
33	マルク・シャガール	「聖書」より 56. サムソンとデリラ	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
34	マルク・シャガール	「聖書」より 57. 柱を倒すサムソン	1931-39/52-56(1957)	エッチング、ドライポイント・紙(モンヴァル紙)	ed.205/275	46.0×35.0(紙寸)	ii
35	マルク・シャガール	二重肖像	1924	油彩・キャンヴァス		130.0×100.0	i・ii
36	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908	油彩・キャンヴァス		65.0×50.0	i・ii
37	アメデオ・モディリアーニ	おさげ髪の少女	c. 1918	油彩・キャンヴァス		60.1×45.4	i・ii
38	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925	油彩・キャンヴァス		92.0×73.0	i・ii
39	ハイム・スーチン	鳥のいる静物	c. 1918-19	油彩・キャンヴァス		60.0×81.5	i・ii
40	ハイム・スーチン	セレの風景	c. 1922	油彩・キャンヴァス		79.8×87.2	i・ii
41	モーリス・ド・ヴラマンク	雪の村	[1940's]	油彩・キャンヴァス		54.2×65.0	i・ii

現代の美術:(前期)円(まる)

1	青木野枝	水天 1	2007	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙 ed.1/15	100.0×100.0(画寸)	i
2	青木野枝	水天 14	2007	エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙 ed.1/15	100.0×100.0(画寸)	i
3	伊藤利彦	幡A	1963	油彩、塗装用パテ・綿キャンヴァス	132.0×165.0	i
4	井上忠明	円	c.1969	インク・紙	38.6×54.0	i
5	井上忠明	円	c.1969	インク・紙	21.4×24.0	i
☆ 6	木下佳通代	78-35-A	1978	アクリル・写真	70.2×70.1	i
☆ 7	木下富雄	祈り	1959	木版・紙	57.3×91.3	i
8	クガ・マリフ	時展・古代	1956	油彩・キャンヴァス	73.0×91.0	i
9	クガ・マリフ	[無題]	1963	水彩・色紙	24.0×27.0	i
10	クガ・マリフ	拒否のサイン	1966	ミクストメディア	180.0×360.0×25.0	i
11	桑山忠明	無題	1973	アクリル・キャンヴァス	φ225	i
12	内藤礼	ナーメンロス/リヒト	1995	色鉛筆・紙	42.0×30.5	i
13	内藤礼	ナーメンロス/リヒト	1995	色鉛筆・紙	42.0×30.5	i
14	三上誠	[無題]	c.1967-68	紙本着彩、コラーージュ	92.5×62.5	i
15	横井礼以	ヨットの浮かぶ芦ノ湖	1953	油彩・キャンヴァス	65.0×80.0	i
16	吉川三伸	零次元のコントラストB	1955	油彩・キャンヴァス	72.8×60.5	i
17	ゴールズワージー	編まれた竹/紀伊長島町/1987年11月29日	1987	カラー写真	77.5×76.5	i
18	ゴールズワージー	太陽の輝く朝の雪の厚板/和泉村/1987年12月19日	1987	カラー写真	74.8×75.5	i
19	アンゼルム・キーフアー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	i
20	フランク・ステラ	説教	1990	アルミニウム、ミクストメディア	345.5×365.8×139.7	i

現代の美術:(後期)三角・四角

1	浅野弥衛	Etude(『浅野弥衛銅版画集』194点1組より)	1987(1974.6)	エッチング・紙 ed.10/25	17.7×23.5	ii
2	浅野弥衛	Work 85(『浅野弥衛銅版画集』194点1組より)	1988(1977.4)	エッチング・紙 ed.10/25	23.7×17.6	ii
☆ 3	浅野弥衛	作品	1976	墨、鉛筆・紙	51.0×36.0	ii
☆ 4	浅野弥衛	無題	1988	鉛筆・鳥の子紙	48.8×48.8	ii
5	井上忠明	鳥	1973	油彩・キャンヴァス	41.0×32.0	ii
6	大野淑嵩	緋	1963	絹本着彩、ジュート	117.0×93.0	ii
7	久野真	鋼鉄による作品(#397#398)	1982	ステンレス・板 2パネル	各160.0×134.0	ii
8	桑山忠明	無題	1969	アクリル・キャンヴァス	227.3×217.3	ii
9	桑山忠明	3つのトライアングル	1981-82	アクリル・キャンヴァス	各46.6×46.6×8.4	ii
10	桑山忠明	雪国コラボレーション	1990	エッチング、アクアチント・紙 6点1組 ed.40	各80.0×59.5(紙寸)	ii
11	櫃田伸也	通り過ぎた風景	1983	油彩・キャンヴァス	97.0×162.1	ii
12	福岡道雄	琵琶湖の風	1982	FRP	183.8×120.7×47.1	ii
13	元永定正	あかいしかくのなかはいろぬり	1981	アクリル・キャンヴァス	182.0×227.0	ii
14	矢橋六郎	河口近し	1962	油彩・キャンヴァス	112.1×145.5	ii
15	吉川家永	作品一26	1962	油彩・厚紙	167.0×137.0	ii
16	吉仲太造	生きものK	1955	油彩・キャンヴァス	181.0×226.5	ii
17	ジョセフ・アルバース	白線の正方形Ⅷ	1966	シルクスクリーン・紙	39.8×39.8(画寸)	ii
18	アンゼルム・キーフアー	シベリアの王女	1988	ミクストメディア	280.0×501.0×6.5	ii
19	ショーン・スカリー	ボディ	1993	油彩・キャンヴァス	213.4×243.8	ii

メキシコ・ルネサンス:マリア・イスキエルド

1	マリア・イスキエルド	生きている静物	1947	油彩・キャンヴァス	80.3×99.7	i・ii
2	マリア・イスキエルド	巡礼者たち	1945	油彩・キャンヴァス	60.0×75.0	i・ii
3	マリア・イスキエルド	旅人の肖像(アンリド・シャティヨンの肖像)	c.1940	油彩・キャンヴァス	160.0×190.0	i・ii
4	マリア・イスキエルド	無題	1938	グワッシュ・紙	20.7×26.3	i・ii
5	フリーダ・カーロ	死の仮面を被った少女	1938	油彩・ブリキ	14.9×11.0	i・ii
6	ホセ・クレメンテ・オロスコ	メキシコ風景	1932	油彩・キャンヴァス	76.1×93.9	i・ii
7	ディエゴ・リベラ	プロレタリアの団結	1933	フレスコ・石膏(3層)、ワイヤラス(金網)、合板	161.9×201.3	i・ii
8	ディエゴ・リベラ	ヘンリー・ノーウェブの肖像	1935	油彩・板	115.1×91.2	i・ii
9	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列		油彩・キャンヴァス	59.7×69.0	i・ii
10	ダビッド・アルファロ・シケイロス	婦人像	1934	油彩・メゾナイト	152.7×78.7	i・ii
11	ルフィーノ・タマヨ	夜の踊り子たち	1948	油彩・キャンヴァス	96.7×76.4	i・ii
12	ルフィーノ・タマヨ	黒人の仮面(カーニバル)	1939	テンペラ・リンネル	44.8×60.4	i・ii

郷土の美術:(前期)三岸節子の芸術

1	三岸節子	室内	1942	油彩・キャンヴァス	91.0×60.8	i
2	三岸節子	静物	1949	油彩・キャンヴァス	60.8×91.0	i
3	三岸節子	クリスタル(青)	1950	油彩・キャンヴァス	72.8×50.0	i
4	三岸節子	窓	1952	油彩・キャンヴァス	91.0×72.8	i
5	三岸節子	二つの太陽	1967	油彩・キャンヴァス	91.0×116.0	i
6	三岸節子	花咲くブルゴーニュ	1977	油彩・キャンヴァス	80.8×100.3	i
7	三岸節子	トネールにて	1979	油彩・キャンヴァス	100.2×81.3	i
8	三岸節子	雷がくる	1979	油彩・キャンヴァス	89.0×116.3	i
9	三岸節子	ブルゴーニュの麦畑	1980	油彩・キャンヴァス	112.1×145.5	i

郷土の美術:(後期)三岸好太郎の芸術

1	三岸好太郎	花の静物(白百合)	1930	油彩・キャンヴァス	53.0×45.3	ii
2	三岸好太郎	構図(暖炉のある静物)	1933	油彩・キャンヴァス	46.0×53.5	ii
3	三岸好太郎	海と射光	1934	油彩・キャンヴァス	72.8×60.5	ii
4	三岸好太郎	アルルカン	c. 1930-32	グワッシュ・紙	29.0×24.0	ii
5	三岸好太郎	花	1932	グワッシュ・クレヨン・紙	51.0×40.0	ii
6	三岸好太郎	筆彩素描集《蝶と貝殻》(10枚一組)	1934	印刷(凸版墨刷り)、手彩色(水彩、グワッシュ)・紙	各30.2×22.8	ii

(2)常設企画展 Thematic Exhibition

特集 藤田をめぐる画家たち

Artists around Foujita

会期：2016年4月29日(金・祝)～7月3日(日)

会場

常設展示室3

内容

特別展「生誕130年記念 藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—」の開催にあわせて、藤田と関係があった美術家たちの作品を、名古屋市美術館のコレクションの中から紹介する展示を企画した。外国人作家では、1913年8月に初めてパリに渡った藤田が、到着後まもなく知り合ったピカソやリベラ、当時の花形画家であったヴァン・ドンゲン、第一次世界大戦中に藤田と行動を共にしたザツキンやモディリアーニ、スーチンなどを選出した。日本人作家では、第一次世界大戦から第二次世界大戦の間に、パリで藤田と交流をもった海老原喜之助や岡鹿之助、荻須高德、メキシコで旅行中の藤田と出会った北川民次、東京で藤田と親交を深めた熊谷守一などを選出した。



会場風景

出品作品

*：寄託作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	パブロ・ピカソ	女	1922-23年	エッチング・紙	21.3×17.6
* 2	フェルナン・レジェ	青い背景のコンポジション	1930年	油彩・キャンヴァス	92.0×60.0
3	アメデオ・モディリアーニ	立てる裸婦(カリヤティードのための習作)	1911-12年頃	油彩、水彩・紙、板	83.0×47.8
4	ハイム・スーチン	鳥のいる静物	1918-19年頃	油彩・キャンヴァス	60.0×81.5
5	モーリス・ユトリロ	ラバン・アジール	1913年頃	油彩・キャンヴァス	50.0×65.0
6	キスリング	ルネ・キスリング夫人の肖像	1920年	油彩・キャンヴァス	73.7×54.6
7	ジュール・パスキン	クララとジュヌヴィエーヴ	1925年	油彩・キャンヴァス	92.0×73.0
8	マリー・ローランサン	横たわる裸婦	1908年	油彩・キャンヴァス	38.0×46.4
9	ディエゴ・リベラ	スペイン風景	1913年	油彩・キャンヴァス	89.0×110.0
10	キース・ヴァン・ドンゲン	コルセットの女	1908年	油彩・キャンヴァス	65.0×50.0
11	オシップ・ザツキン	扇を持つ女	1923年	ブロンズ	84.0×35.0×31.0
12	岡鹿之助	魚	1927年	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0
13	海老原喜之助	風景	1927年	油彩・キャンヴァス	81.4×100.3
* 14	荻須高德	引越屋	1930年	油彩・キャンヴァス	60.0×73.0
* 15	荻須高德	セーヌ河、シテ島	1934年	油彩・キャンヴァス	60.3×91.5
16	北川民次	メキシコ水浴の図	1930年	油彩・キャンヴァス	78.6×68.5
17	北川民次	作文を書く少女	1939年	油彩・キャンヴァス	73.4×60.7
18	熊谷守一	鳥	1935年頃	油彩・キャンヴァス	53.3×65.5
19	熊谷守一	ハヶ岳 秋	1940年頃	油彩・板	31.3×40.8
20	東郷青児	帽子をかむった男(歩く女)	1922年	油彩・キャンヴァス	60.9×49.9
* 21	小磯良平	人形たち	不詳	油彩・キャンヴァス	60.5×71.0

特集展示: アルバレス・ブラボと 同時代のメキシコの作家たち

会期：2016年11月3日(木・祝)～12月18日(日)

会場

常設展示室3

内容

同時期開催の特別展「アルバレス・ブラボ写真展—メキシコ、静かなる光と時」にあわせて、名古屋市美術館の所蔵するブラボの写真作品とともに、同時代のメキシコで活躍した画家ディエゴ・リベラ、ルフィーノ・タマヨ、マリア・イスキエルドなどや、写真家ティナ・モドゥティ、ポール・ストランドなどの作品を通し、ブラボが、どのような文化的な時代を背景に写真家としての活動を開始し、その芸術を展開していったのかを紹介した。



会場風景

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(cm)
I マヌエル・アルバレス・ブラボの写真					
1	マヌエル・アルバレス・ブラボ	小便をする子供	1927(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	25.0×20.0
2	マヌエル・アルバレス・ブラボ	かぼちゃとかたつむり	1929(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	25.0×20.0
3	マヌエル・アルバレス・ブラボ	市場の終わり	1931(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	35.0×28.0
4	マヌエル・アルバレス・ブラボ	タバコ	1932(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	25.0×20.0
5	マヌエル・アルバレス・ブラボ	踊り子の娘	1933(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	35.0×28.0
6	マヌエル・アルバレス・ブラボ	死後の肖像	1939(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	28.0×35.0
7	マヌエル・アルバレス・ブラボ	フリーダ・カーロ	1930-40	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
8	マヌエル・アルバレス・ブラボ	風に揺られて	1940	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
9	マヌエル・アルバレス・ブラボ	トゥルムのマヤの子供	1942(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	28.0×35.0
10	マヌエル・アルバレス・ブラボ	ピント合わせのための習作	1943	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×27.9
11	マヌエル・アルバレス・ブラボ	不快の肖像	1945	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
12	マヌエル・アルバレス・ブラボ	不在の肖像	1945(1987)	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×27.9
13	マヌエル・アルバレス・ブラボ	地震の天使I	1957	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
14	マヌエル・アルバレス・ブラボ	聖アントニウスの誘惑	1970	ゼラチン・シルバー・プリント	25.4×20.3
15	マヌエル・アルバレス・ブラボ	黒い山、白い雲	1974(1981)	ブラチナ・バラジウム・プリント	28.0×35.0
II 同時代の写真家たち					
16	フーゴ・ブレーメ	イスタシワトル山	1915頃	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×35.6
17	フーゴ・ブレーメ	ボボカテペトル	1920-30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	35.6×28.0
18	フーゴ・ブレーメ	ピコ・デ・オリザバ山	1920-30年代	ゼラチン・シルバー・プリント	28.0×35.6
19	ティナ・モドッティ	カラー	1924-26頃	モダン・プラチナ・バラジウム・プリント	27.5×22.1
20	ティナ・モドッティ	キリストの鞭打ち	1925-27頃	ゼラチン・シルバー・プリント	24.7×19.5
21	ティナ・モドッティ	アステカの赤子	1926-27頃	ゼラチン・シルバー・プリント	23.1×18.5
22	ティナ・モドッティ	スタジアムの外観	1927	ゼラチン・シルバー・プリント	24.0×18.9
23	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:ABCの学習/脱穀]	1928頃	ゼラチン・シルバー・プリント	25.2×20.1
24	ティナ・モドッティ	[メキシコ文部省壁画:眠り—貧者の夜]	1928頃	ゼラチン・シルバー・プリント	25.3×20.3
25	ティナ・モドッティ	ブルケリア—犬、マリオネット、ステージセット	1929	ゼラチン・シルバー・プリント	18.7×20.2
26	ティナ・モドッティ	操り人形のルネ・ダルノンクール	1929	ゼラチン・シルバー・プリント	23.7×18.7
27	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 1(サルティーリョ近郊)	1933(1967)	フォトグラヴェール	12.5×15.8
28	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 5(サンタ・アナの男たち、ミチョアカン)	1933(1967)	フォトグラヴェール	16.0×12.4
29	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ 9(女と少年、テナンチンゴ)	1933(1967)	フォトグラヴェール	15.7×12.5
30	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ10(広場、プエブラ州)	1933(1967)	フォトグラヴェール	12.8×15.7
31	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ17(いばらのキリスト、ウエクソウラ)	1933(1967)	フォトグラヴェール	25.7×20.1
32	ポール・ストランド	メキシカン・ポートフォリオ20(門、イダルゴ)	1933(1967)	フォトグラヴェール	16.1×12.5
III 同時代の画家たち					
33	ホセ・ガダルーベ・ボサダ	骸骨新聞人	1900-13	エッチング・紙	40.0×30.0
34	ホセ・ガダルーベ・ボサダ	偉大なる骸骨エミリアーノ・サバタ	1900-13	活字合金版エングレーヴィング・紙	40.0×30.0
35	ホセ・ガダルーベ・ボサダ	映画の骸骨	1913	エッチング・紙	40.0×30.0
36	ホセ・クレメンテ・オロスコ	修道士とインディオ	1926	リトグラフ・紙	31.6×26.5
37	ホセ・クレメンテ・オロスコ	家族	1926	リトグラフ・紙	26.0×42.5
38	ホセ・クレメンテ・オロスコ	ブルケリア	1928	リトグラフ・紙	33.0×41.9
39	ディエゴ・リベラ	ホコの葬列	n. d.	油彩・キャンヴァス	59.7×69.0
40	ディエゴ・リベラ	エミリアーノ・サバタ	1932	リトグラフ・紙	57.5×40.3
41	ディエゴ・リベラ	タコスを持つ子供	1932	リトグラフ・紙	44.5×31.8
42	ディエゴ・リベラ	夢	1932	リトグラフ・紙	42.5×30.5
43	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	うづくまる裸婦	1930	リトグラフ・紙	73.5×55.0
44	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	横たわる裸婦	1930	リトグラフ・紙	40.6×56.0
45	ダヴィッド・アルファロ・シケイロス	黒人の女	1937頃	リトグラフ・紙	50.0×35.0
46	ルフィーノ・タマヨ	メキシコ国立音楽学校壁画構想案	1932	グワッシュ・紙	29.6×42.5
47	ルフィーノ・タマヨ	黒人の仮面(カーニバル)	1939	テンペラ・リンネル	44.8×60.4
48	マリア・イスキエルド	無題	1938	グワッシュ・紙	20.7×26.3
49	マリア・イスキエルド	巡礼者たち	1945	油彩・キャンヴァス	60.0×75.0

POSITION 2017
 かい
 河村るみ 介 — 生と死のあいだ
 Rumi KAWAMURA
 KAI-between life and death

会期：2017年1月14日(土)～2月26日(日)

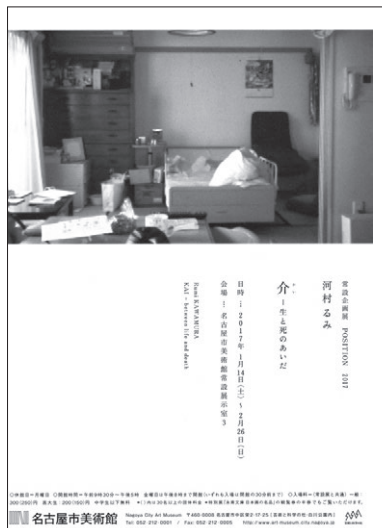
内容

河村るみ(1980-)は、名古屋在住のアーティストで、「私とはなにか」ということを出発点に、自分自身が活着していることについての思索をパフォーマンスやインスタレーションに表してきた。例えば「寝る」「起きる」「走る」という行為をひたすら定期的に繰り返すパフォーマンスや、「立つ」「座る」「寝る」「消える」という自身がパフォーマンスした行為を映像に積み重ねたインスタレーションなど、「生きている」ことを確認するような作品を発表してきた。

今回の展示は、一昨年母の介護を経て看取った経験から、表裏一体にある生きることと死ぬことについて感じたことを、パフォーマンスと映像を使ったインスタレーションで表現した。

「手のひらの上に置いた氷がとけてゆくのを見つめる」というパフォーマンスを会場内で毎日午後4時に行い、その映像を日々積み重ねて投影した。このパフォーマンスはがんに侵され、食べることのみならず、水を飲むことすらも困難になっていた寝たきりの状態の母親に、氷を口に含ませて溶けた水で水分摂取を行っていた時に、氷の冷たさが母親に生きていることを実感させているようだと気づき、その経験がもとになっている。また、母との対話を書き起こして絵画にした作品や母のおもかげを追いかけたドローイング作品も展示され、「看取る-見ている-」ことが主題となった展示になった。

河村の作品には、生の一瞬一瞬の輝きと、それを見つめた彼女の視点が表れている。そして、大切な人を見送り、生き続ける彼女の姿がある。それを見る私たちは、誰しもが生まれた時からいつか来る死に向かって生きていることや、大切な人を見送ること、そして残されたものが生きていくことについて考えさせられる。普段から美術に興味がある人のみならず、幅広い層の来館者を迎えた展示となった。



チラシ

関連催事

①パフォーマンス

「手のひらの上に置いた氷がとけてゆくのを見つめる」
 日時：会期中毎日午後4時～(20分ほど)
 会場：名古屋市美術館常設展示室3
 演者：河村るみ(アーティスト)

②アーティストトーク

「眼差しを見つめて」
 日時：2017年2月5日(日)午後2時～
 会場：名古屋市美術館常設展示室3
 講師：河村るみ(アーティスト)

③記念対談

「看取りについて」
 日時：2017年2月25日(土)午後2時～
 会場：名古屋市美術館2F講堂、入場無料、定員180名(先着順)
 講師：柴田久美子(日本看取り士会代表)
 河村るみ(アーティスト)

出品リスト

- 眼差しを見つめて-手のひらの上に置いた氷がとけてゆくのを見つめる
 Staring eyes - I stare melt ice put on a hand.
 2017年
 映像パフォーマンス/約18分
- 録画
 Recording
 2016年
 キャンヴァスに油彩 油性ペン
- 母という他者と対面する
 Mother to others. Face to surface.
 2016-2017年
 紙に鉛筆、色鉛筆、木炭、クレヨン、水彩、インク
- 明るい部屋
 The clear room.
 2016年
 映像作品/2分52秒 ループ サイレント
- 光
 Light
 2016年
 言葉

特集 河野次郎

Kono Jiro

会期：2017年3月7日(火)～4月16日(日)

会場

常設展示室3

内容

河野次郎(こうのじろう/1856-1934)は、1876(明治9)年頃から1882年(明治15)年までの6年ほどを名古屋で過ごし、愛知県第一師範学校と愛知県第一中学校の画学教員を兼務しながら、始まったばかりの学校教育の場において西洋画の技法を教授するとともに、私塾を開いて一般にも西洋画の技法を広めた。次郎は、草土社で活躍した河野通勢(こうのみちせい/1895-1950)の父で、通勢に絵画の手ほどきをしたことで知られている。2008(平成20)年から2009(平成21)年にかけて開催された通勢の回顧展において行われた調査によって次郎の作品が新たに発見され、そのうち名古屋とゆかりがあると思われるものをご遺族のご厚意により寄託を経て寄贈いただいた。この地方にもたらされた西洋画表現のあり方を所蔵となった全作品によって紹介した。

出品作品

番号	作品名	制作年	素材	寸法(cm)
1	[名古屋時代の素描]	1876-1882年		
1-1	[無題]	1876年	水彩・紙	27.5×37.7
1-2	[無題]	1876年	墨・水彩・紙	27.6×37.4
1-3	[無題]	1876年	墨・水彩・紙	37.6×26.7
1-4	[無題]	1876年	鉛筆・水彩・紙	19.0×25.7
1-5	[無題]	1877年	墨・水彩・紙	37.7×27.3
1-6	[無題]	1877年	鉛筆・水彩・紙	18.1×14.0
1-7	[無題]	1877年	鉛筆・水彩・紙	19.0×25.7
1-8	[無題]	1877年	鉛筆・水彩・紙	19.0×25.6
1-9	[無題]	1877年	鉛筆・水彩・紙	24.0×38.7
1-10	[無題]	1877年	墨・水彩・紙	25.0×17.5
1-11	[無題]	1877年	鉛筆・水彩・紙	17.1×22.9
1-12	[無題]	1878年	鉛筆・墨・水彩・紙	29.3×18.2
1-13	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	29.2×36.3
1-14	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	36.2×29.4
1-15	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	27.9×29.0
1-16	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	30.6×23.9
1-17	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	47.6×30.5
1-18	[無題]	1878年	鉛筆・水彩・紙	30.5×23.8
1-19	[無題]	1878年	水彩・紙	13.7×23.7
1-20	[無題]	1878年	墨・水彩・紙	29.3×28.0
1-21	[無題]	1882年	水彩・紙	30.7×43.0
2	[服制]	1882年		
2-1	服制	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-2	御前立	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-3	御正帽/御略帽	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-4	御正衣	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-5	同後面	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-6	御短袴	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-7	御飾帯/御飾緒	1882年	インク・紙	21.8×14.5

2-8	御正剣/御正剣帯/御正剣緒	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-9	御軍衣	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-10	同後面	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-11	御外套御頭巾/同雨覆	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-12	御外套	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-13	同後面	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-14	頭絡/轡銜及轡鎖	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-15	腹帯	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-16	鞞/鞞	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-17	鞞	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-18	拳銃囊/鞍褥	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-19	燈/燈革	1882年	インク・紙	21.8×14.5
2-20	鞍	1882年	インク・紙	21.8×14.5
3	[三国志]	不詳		
3-1	[無題]	不詳	墨・紙	37.9×27.5
3-2	[無題]	不詳	墨・水彩・紙	37.6×27.6
3-3	[無題]	不詳	墨・紙	37.7×27.5
4	[無題]	不詳	墨・水彩・紙	27.6×37.7
5	[無題]	不詳	墨・水彩・紙	27.5×37.5
6	三州豊橋芸妓種吉	不詳	墨・紙	33.7×22.4
7	[無題]	不詳	油彩・紙	27.8×21.3
8	[無題]	不詳	水彩・紙	33.0×24.0
9	[無題]	不詳	水彩・紙	51.0×37.8
10	[無題]	不詳	墨・鉛筆・紙	72.7×58.3
11	[無題]	不詳	墨・紙	63.4×43.2
12	[無題]	不詳	水彩・紙	24.0×46.0
13	[無題]	不詳	水彩・紙	19.1×25.9
14	[無題]	不詳	水彩・紙	18.0×24.5
15	[無題]	不詳	水彩・紙	24.0×18.0
16	[無題]	不詳	鉛筆・水彩・紙	17.1×23.0
17	[無題]	不詳	鉛筆・水彩・紙	18.2×24.1
18	[無題]	不詳	鉛筆・紙	18.2×28.9
19	[無題]	不詳	鉛筆・紙	19.6×28.7
20	[無題]	不詳	鉛筆・水彩・紙	25.5×38.0
21	[無題]	不詳	墨・紙	43.4×32.5
22	夫婦之肖像	不詳	墨・紙	42.0×29.5
23	夫婦之肖像	不詳	墨・朱墨・紙	19.9×14.8
24	[無題]	不詳	水彩・紙	27.1×38.0
25	[無題]	不詳	墨・紙	32.2×43.3
26	[無題]	不詳	墨・紙	33.0×44.7
27	[無題]	不詳	墨・紙	13.8×18.9
28	[無題]	不詳	水彩・紙	53.0×37.8

全28件69点、所蔵はすべて名古屋市美術館



会場風景

平成28年度は、5本の特別展を開催しました。年度最初の特別展は、当館の収集方針の1つ「エコール・ド・パリ」の中心的な作家の1人、藤田嗣治の生誕130年を記念する展覧会「藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—」を開催しました。名古屋市美術館は2013年にランス美術館と提携の覚書を交わしましたが、この展覧会は両館の協力による最初の展覧会になりました。ランス市には近年、藤田の遺族から800点近い作品が寄贈されていますが、その中から選ばれた約50点の作品に加え、国内外の代表作約100点を加えて、藤田の全貌を紹介しました。展覧会の副題にあるように、日本とフランスの両国にわたって活躍した藤田は、2つの文化の狭間で生きることの難しさを体現した画家でもありましたが、本展では東西の文化の対立と融合という視点で藤田の作品を紹介しました。

続いて8月から10月にかけては、3年ごとに開催している国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2016」を開催しました。今回のテーマは「虹のキャラバン・サライ」。芸術祭という日常とは異なる空間を、旅の中継地点（サライ）としてイメージして、虹のように様々な芸術と出会うことにより明日への英気を養う場所として演出しました。名古屋市美術館の会場では6か国11人の作家が作品を展示。屋外に展示されたジョアン・モデの《NET Project》は、樹木の間には様々な紐をつないで、網をめぐらしていくという単純な構造ですが、誰もが気軽に制作に参加でき、確かな連帯感を生み出しながら、充実した作品が完成していくという、この芸術祭のコンセプトにふさわしいプロジェクトでした。

11月から12月にかけては、メキシコの写真家アルバレス・ブラボ（1902-2002）の、日本で初めての本格的な回顧展を開催しました。1920年代に写真家として活動を開始して以降、80年近くの長きにわたってメキシコの社会と風土、民族を撮影し続けたブラボの全貌を200点近い代表作によって紹介しました。名古屋市

美術館でもブラボの作品は収蔵しており、定期的に常設展で紹介していますが、大半の方にとって作品との出会いは初めての経験だったことでしょう。しかし、一見ありふれた日常を撮影したかに見える作品が、静けさの中に深い詩情をたたえており、ともすれば非現実的な世界へと導いていくことを多くの来館者の方々が感じられたようで、静かな感動が会場にあふれていました。

年が明けた1月から2月にかけては、旧熊本藩主、細川家に伝わる日本画の数々をご紹介する「永青文庫 日本画の名品」展を開催しました。菱田春草と小林古径の重要文化財作品3点をはじめ、横山大観、下村観山、竹内栖鳳、上村松園など、近代日本画の名作がずらりと並んだ会場はまさに圧巻。このコレクションの質の高さ、作品の大半を収集した細川護立氏の見識の凄さを印象付ける内容でした。また、白隠と仙厓の禅画は、時代的に当館としては珍しい展示になりましたが、ユーモアにあふれたその表現と含蓄に富んだ意味内容に、多くの来館者の方々が絵の前に釘づけになっていました。

平成28年度最後の特別展は、スイスが生んだアール・ブリュットの巨匠アドルフ・ヴェルフリの日本初の回顧展を開催しました。正規の美術教育を受けない人々が生み出す美術作品は、その表現の純粹さとユニークさにより近年強い注目を集めるようになっていますが、その先駆的な存在であり、今なお最も高い評価を得ている作家の1人がヴェルフリです。彼自身の妄想を視覚化した作品の数々は、空間を埋め尽くすイメージの息苦しいまでの生命力と、それとは対照的な整然としたデザイン力が拮抗し、独自の世界を確立しています。来館者の方々は、通常的美術展とは異なる雰囲気最初戸惑う方も多かったようですが、創造することの喜びの原点のような作品に触れることによって、美術の新たな可能性を感じられたようでした。

生誕130年記念 藤田嗣治展 —東と西を結ぶ絵画—

Leonard Foujita; Art Bridging the East and the West

会期：2016年4月29日(土)～7月3日(日)

主催

名古屋市美術館、中日新聞社、NHK名古屋放送局

後援

在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

協賛

積和不動産中部、野崎印刷紙業

特別協力

ランス美術館

協力

日本航空、日本貨物航空、名古屋市交通局、JR東海、名古屋鉄道、近畿日本鉄道

観覧料

一般1,400円、高大生900円、中学生以下無料

内容

81年の生涯のほぼ半分を異国で送った画家、藤田嗣治。その芸術は、東西の文化の対立と融合の上に見事に花開いたものであった。一方でその人生は、2つの世界の間で常に引き裂かれ、ついには祖国との決別という哀しい選択を余儀なくした。今回の展覧会では、藤田の人生と芸術の根幹にある、東西の対立と融合に焦点を当て、その全貌を改めて検証した。近年遺族よりランス市に寄贈された多数の未公開作品をはじめ、国内外の美術館や個人所蔵家から出品される代表作、約150点によって、その芸術と生涯に新たな光を当てた。

図録

29.7×22.6cm 288頁

編集：名古屋市美術館、兵庫県立美術館、府中市美術館、
中日新聞社

発行：中日新聞社



会場風景

関連催事

①記念講演会I

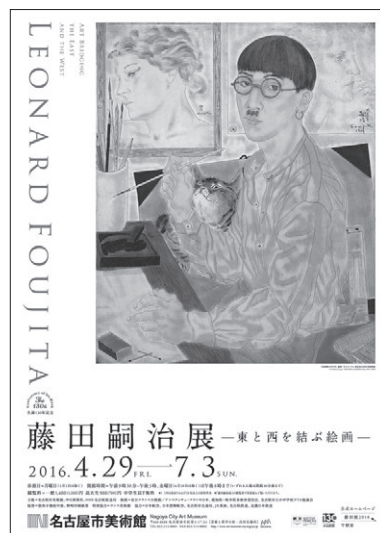
日時：2016年4月29日(金・祝)午後2時～
会場：名古屋市美術館講堂
講師：カトリーヌ・ドゥロ(ランス美術館館長)
演題：「藤田とランス」

②記念講演会II

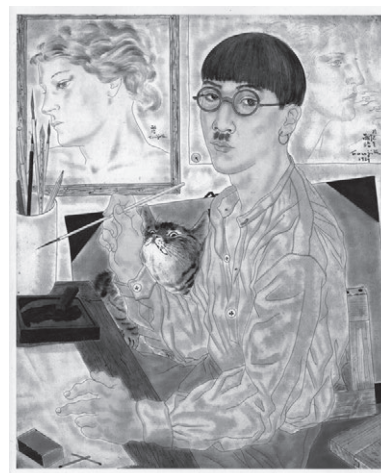
日時：2016年6月4日(土)午後2時～
会場：名古屋市美術館講堂
講師：林洋子(美術史家・文化庁芸術文化調査官)
演題：「藤田嗣治をアジアの文脈から考える」

③作品解説会

日時：2016年5月21日(土)、6月18日(土)、6月25日(土)、
7月2日(土)午後2時～
会場：名古屋市美術館講堂
講師：深谷克典(名古屋市美術館副館長)



ポスター



図録

出品作品

1	婦人像	1909	油彩・キャンバス	額装	60.3×45.7	東京藝術大学
2	自画像	1910	油彩・キャンバス	額装	59.0×43.5	東京藝術大学
3	スーティンのアトリエ	1913	油彩・キャンバス	額装	41.0×33.0	ランス美術館
4	キュビズム風静物	1914	油彩・キャンバス	額装	53.5×81.0	ポーラ美術館
5	トランプ占いの女	1914	水彩・紙	額装	30.5×22.5	徳島県立近代美術館
6	シャンタル嬢の肖像	1914	鉛筆、水彩・紙	額装	26.5×18.5	画廊版画米屋
7	収穫	1917	油彩・キャンバス	額装	92.0×73.2	個人蔵
8	ル・アーヴルの港	1917	油彩・キャンバス	額装	45.8×60.9	横須賀美術館
9	三人の娘	1917	インク、グアッシュ・紙	額装	31.7×24.6	ランス美術館
10	おじいさんと孫	1917	インク、グアッシュ・紙	額装	43.5×26.5	ランス美術館
11	鶴	1918頃	水彩、金箔・紙	額装	20.0×17.0	目黒区美術館
12	パリ風景	1918	油彩・キャンバス	額装	84.0×103.5	東京国立近代美術館
13	モンルージュ、パリ	1918	油彩・キャンバス	額装	41.0×33.5	静岡県立美術館
14	バ里風景	1918	油彩・キャンバス	額装	46.0×55.0	石橋財団ブリヂストン美術館
15	風景	1918	油彩・キャンバス	額装	46.2×38.0	名古屋市美術館
16	カーニュ＝シュル＝メール	1918	油彩・キャンバス	額装	38.0×46.0	ランス美術館
17	壺を持つ聖女	1918	油彩・キャンバス	額装	80.0×32.8	個人蔵
18	バラ	1922	油彩・キャンバス	額装	81.0×65.0	ユニマツグループ
19	アントワープ港の眺め	1923	油彩・キャンバス	額装	170.0×224.0	島根県立石見美術館
20	タビスリーの裸婦	1923	油彩・キャンバス	額装	130.0×96.0	京都国立近代美術館
21	五人の裸婦	1923	油彩・キャンバス	額装	169.0×200.0	東京国立近代美術館
22	座る女性と猫	1923	油彩・キャンバス	額装	114.0×77.0	鹿児島市立美術館
23	人形を抱く少女	1923	油彩・キャンバス	額装	73.4×54.3	群馬県立近代美術館
24	裸婦像 長い髪のユキ	1923	油彩・キャンバス	額装	100.0×65.0	ユニマツグループ
25	エレヌ・フランクの肖像	1924	油彩・キャンバス	額装	142.0×112.0	イセ文化基金
26	ギターを持つ少年と少女	1924	油彩・キャンバス	額装	72.8×60.0	個人蔵
27	動物群	1924	油彩・キャンバス	額装	97.0×145.5	目黒区美術館
28	10人の子どもたち	1924	油彩・キャンバス	額装	114.0×144.3	目黒区美術館
29	貝殻のある静物	1924	油彩・キャンバス	額装	73.0×61.0	高知県立美術館
30	女眠る	1924	鉛筆、紙・キャンバス	額装	96.3×160.3	福岡市美術館
31	青衣の少女	1925	油彩・キャンバス	額装	55.0×38.0	愛知県美術館
32	砂の上で	1925	油彩・キャンバス	額装	70.3×160.8	姫路市立美術館
33	パリの路面電車	1925	水彩・紙	額装	25.5×32.5	個人蔵
34	エトワール、バレリーナ姿の自画像	1925	水彩、銀紙、ユキの髪・紙	額装	23.5×16.0	画廊版画米屋
35	インク壺の静物	1926	油彩・キャンバス	額装	22.0×26.9	石橋財団ブリヂストン美術館
36	二人の若い女	1926	油彩・キャンバス	額装	53.0×72.0	個人蔵
37	横たわる裸婦	1927	油彩・キャンバス	額装	81.0×100.0	茨城県近代美術館
38	猫のいる自画像	1927頃	油彩・キャンバス	額装	54.3×45.5	三重県立美術館
39	レスリング	1927	鉛筆・紙	額装	60.0×122.0	目黒区美術館
40	裸婦	1928	油彩・キャンバス	額装	73.0×101.0	個人蔵(名古屋市美術館寄託)
41	坐る女	1929	油彩・キャンバス	額装	110.0×125.0	国立西洋美術館
42	自画像	1929	油彩・キャンバス	額装	61.0×50.2	東京国立近代美術館
43	自画像	1929	油彩、鉛筆、金箔・キャンバス	額装	81.4×65.5	名古屋市美術館
44	二人の裸婦	1929	油彩・キャンバス	額装	178×94.2	個人蔵
45	立てる裸婦	1929	油彩・キャンバス	額装	81.5×54.5	個人蔵
46	裸婦(キキド・モンパルナス)	1929	鉛筆・紙	額装	71.5×128.5	目黒区美術館
47	裁縫道具のある静物	1930	油彩・キャンバス	額装	26.0×35.0	熊本県立美術館
48	二人裸婦	1930	油彩・キャンバス	額装	143.0×125.0	神奈川県立近代美術館
49	77歳の父の肖像	1930	インク、水彩・絹	額装	49.5×39.0	ランス美術館
50	横たわる裸婦と猫	1931	油彩・キャンバス	額装	73.2×116.2	埼玉県立近代美術館
51	仰臥裸婦	1931	油彩・キャンバス	額装	96.9×162.2	福岡市美術館
52	横たわる裸婦	1931	鉛筆・紙	額装	52.0×92.5	個人蔵
53	パリの小学校	1931	油彩、墨・キャンバス	額装	21.0×25.7	下関市立美術館
54	カーナバルの後	1932	油彩・キャンバス	額装	98.5×79.0	公益財団法人平野政吉美術財団
55	婦人像(リオ)	1932	油彩・キャンバス	額装	81.2×65.0	広島県立美術館
56	室内の女二人	1932	油彩・キャンバス	額装	95.0×77.0	公益財団法人平野政吉美術財団
57	リオの人々	1932	水彩・紙	額装	132.5×85.0	東京国立近代美術館
58	家族の肖像	1932	鉛筆、パステル・紙	額装	86.5×67.2	名古屋市美術館
59	横たわる裸婦	1932	油彩・キャンバス	額装	91.0×71.5	個人蔵
60	横たわった婦人	1932	クレヨン・紙	額装	66.0×91.0	聖徳大学
61	若いボリビアの女	1932	インク、グアッシュ、水彩・紙	額装	80.8×66.7	ランス美術館

62	ラマと四人の人物	1933	水彩・紙	額装	155.0×95.0	三重県立美術館
63	メキシコの少年	1933	水彩・紙	額装	93.5×61.0	目黒区美術館
64	メキシコの母娘	1933	墨、水彩・紙	額装	39.2×28.1	下関市立美術館
65	男性の肖像	1933	水彩・紙	額装	48.5×40.5	聖徳大学
66	北川民次の肖像	1933	水彩、鉛筆・紙	額装	35.3×37.0	個人蔵
67	マドレーヌ・ルクーの肖像	1933	水彩、鉛筆・紙	額装	89.9×104.0	ランス美術館
68	マドレーヌ	1933	墨、水彩・紙	額装	165.2×73.5	個人蔵
69	メキシコに於けるマドレーヌ	1934	油彩・キャンバス	額装	91.0×72.5	京都国立近代美術館
70	殉教者	1934	水彩、金箔・紙	額装	51.0×32.0	目黒区美術館
71	魚河岸	1934	水彩・紙	額装	125.0×43.0	下関市立美術館
72	ちんどんや 職人と女中	1934	水彩・紙	額装	91.0×73.0	神奈川県立近代美術館
73	力士と病児	1934	油彩・キャンバス	額装	116.8×91.0	大日本印刷株式会社
74	ベルギーの婦人	1934	水彩、パステル・紙	額装	61.0×44.5	個人蔵
75	銀座コロンバン壁画 貴婦人と召使い	1935	油彩・キャンバス	額装	131.0×188.0	迎賓館
76	銀座コロンバン壁画 田園での奏楽	1935	油彩・キャンバス	額装	131.0×188.0	迎賓館
77	北平の力士	1935	油彩・キャンバス	額装	180.0×225.0	公益財団法人平野政吉美術財団
78	五人女	1935	油彩・キャンバス	額装	192.5×128.5	公益財団法人平野政吉美術財団
79	東京の私のアトリエ	1936	水彩、鉛筆・紙	額装	31.5×40.7	ランス美術館
80	秋田の娘	1937	油彩・キャンバス	額装	33.0×23.7	下関市立美術館
81	北川民次の肖像	1937	グアッシュ・板	額装	33.0×23.6	個人蔵
82	客人(糸満)	1938	油彩・キャンバス	額装	114.5×89.5	公益財団法人平野政吉美術財団
83	私の画室	1938	油彩・キャンバス	額装	36.3×44.2	公益財団法人平野政吉美術財団
84	那覇	1939	油彩・キャンバス	額装	17.8×14.2.	仲六商店蔵(名古屋市美術館寄託)
85	モンマルトルのアトリエ	1939	油彩・キャンバス	額装	41.3×32.0	個人蔵
86	サーカスの人気者	1939	油彩・キャンバス	額装	100×80.6	島根県立美術館
87	青いドレスの女	1939	油彩・キャンバス	額装	57.6×71.2	島根県立石見美術館
88	パリのマドレーヌ	1939	油彩・キャンバス	額装	26.3×21.4	下関市立美術館
89	レ・ゼジ	1939	油彩・キャンバス	額装	38.0×46.2	ランス美術館
90	マザリーヌ通り	1940	油彩・キャンバス	額装	24.3×31.2	個人蔵
91	猫	1940	油彩・キャンバス	額装	81.0×100.0	東京国立近代美術館
92	自画像	1943	油彩・キャンバス	額装	23.0×15.0	豊田市美術館
93	仏印風景	1943	油彩・キャンバス	額装	60.5×72.8	島根県立美術館
94	孫娘とおばあさん	1943	油彩・キャンバス	額装	24.5×33.2	ランス美術館
95	アツ島玉砕	1943	油彩・キャンバス	額装	193.5×259.5	東京国立近代美術館(無期限貸与)
96	ソロモン海峡における米兵の末路	1943	油彩・キャンバス	額装	193.0×258.5	東京国立近代美術館(無期限貸与)
97	サイパン島同胞臣節を全うす	1945	油彩・キャンバス	額装	181.0×362.0	東京国立近代美術館(無期限貸与)
98	優美神	1946-48	油彩・キャンバス	額装	127.3×191.1	聖徳大学
99	猫を抱く少女	1949	油彩・キャンバス	額装	70.0×51.5	個人蔵(愛知県美術館寄託)
100	美しいスペイン女	1949	油彩・キャンバス	額装	76.0×63.5	豊田市美術館
101	カフェ(習作)	1949	鉛筆・紙	額装	49.8×64.8	ランス美術館
102	カフェ(習作)	1949	鉛筆・紙	額装	21.7×65.0	ランス美術館
103	横たわる若い女性	1949	鉛筆・紙	額装	44.8×60.1	ランス美術館
104	室内	1950	油彩・キャンバス	額装	37.8×46.1	ポーラ美術館
105	自画像	1950	鉛筆	額装	26.0×21.3	個人蔵
106	藤田君代の肖像	1950	鉛筆・紙	額装	22.3×17.3	ランス美術館
107	ノートルダム・バルゲゼ ヴィルヌーヴ=ザヴィニョン	1951	油彩・キャンバス	額装	41.0×33.0	ランス美術館
108	東方風のヴェールをまとった少女の肖像	1951	鉛筆、水彩・紙	額装	27.0×18.1	ランス美術館
109	ターバンを巻いた少女の肖像	1951	鉛筆・紙	額装	24.7×16.8	ランス美術館
110	ターバンを巻いた若い東洋の少年の肖像	1951	鉛筆・水彩・紙	額装	27.0×16.6	ランス美術館
111	シュラバをまとった若い東洋の少年の肖像	1951	鉛筆・紙	額装	25.3×20.0	ランス美術館
112	ターバンを巻いた若い東洋人の肖像	1951	鉛筆・紙	額装	23.7×20.1	ランス美術館
113	ヴェールを披った東洋人女性の肖像	1951	鉛筆、水彩・紙	額装	26.0×18.2	ランス美術館
114	年配の東洋人の胸像	1951	鉛筆、水彩・紙	額装	25.9×19.2	ランス美術館
115	門の下で(習作)	1951	鉛筆・紙	額装	41.0×32.6	ランス美術館
116	私の可愛いジャン=マリー	1951	鉛筆・紙	額装	25.0×17.6	ランス美術館
117	少女の肖像	1951	鉛筆・紙	額装	25.4×17.8	ランス美術館
118	少年と猫	1951	鉛筆・紙	額装	27.0×19.4	ランス美術館
119	少女と猫	1951	鉛筆・紙	額装	27.1×19.5	ランス美術館
120	少女の肖像	1951	鉛筆・紙	額装	23.4×16.3	ランス美術館
121	アニエス	1951	鉛筆・紙	額装	24.8×17.9	ランス美術館
122	アニエス	1951	鉛筆・紙	額装	26.0×18.5	ランス美術館
123	ヴィクトールの姉	1951	鉛筆、パステル・紙	額装	30.3×21.1	ランス美術館
124	ベルジェ=ヴァション夫人	1951	鉛筆・紙	額装	30.6×19.7	ランス美術館

125	ベルジェ=ヴァシヨンの母	1951	鉛筆、インク、水彩・紙	額装	30.0×21.8	ランス美術館
126	若いスペイン人女性の胸像	1951	鉛筆、水彩・紙	額装	33.9×25.8	ランス美術館
127	二人の祈り	1952	油彩・キャンバス	額装	46.2×38.2	個人蔵
128	夢	1954	油彩・キャンバス	額装	50.8×61.3	個人蔵
129	絵入りカレンダー(習作)	1954	鉛筆・紙	額装	42.8×30.0	ランス美術館
130	校庭	1956	油彩・キャンバス	額装	65.3×54.4	ポーラ美術館
131	小さな主婦	1956	油彩・キャンバス	額装	55.0×33.0	個人蔵
132	教会の内部	1956	油彩・キャンバス	額装	47.0×38.5	ランス美術館
133	X夫人の肖像	1957	油彩・キャンバス	額装	41.0×33.0	個人蔵
134	J夫人と子ども(習作)	1951	鉛筆、パステル・紙	額装	30.3×21.1	ランス美術館
135	胸をはだけた女性の肖像	1957	鉛筆・紙	額装	50.0×42.6	ランス美術館
136	母子と猫(習作)	1957	鉛筆・紙	額装	49.7×34.0	ランス美術館
137	カフェの室内(習作)	1957	鉛筆、木炭、パステル、水彩・紙	額装	107×149.7	ランス美術館
138	小学生と女の子	制作年不詳	鉛筆・紙	額装	46.0×37.4	ランス美術館
139	母親に抱きつく少女	制作年不詳	木炭、鉛筆・紙	額装	50.0×36.5	ランス美術館
140	庭園の子供達	1958	油彩・キャンバス	額装	94.2×94.8	聖徳大学
141	パリ、カスタニャリー通り	1958	油彩・キャンバス	額装	53.8×81.3	個人蔵
142	聖母子	1959	油彩・キャンバス	額装	81.5×54.2	ランス大聖堂(ランス美術館寄託)
143	聖母子(習作)	1959	鉛筆・紙	額装	74.3×37.3	ランス美術館
144	十字架降架	1959	油彩・キャンバス	額装	112.4×149.2	パリ市立近代美術館(ランス美術館寄託)
145	黙示録(四人の騎士)	1959	墨・水彩・羊皮紙	額装	58.0×46.5	山梨県立美術館
146	黙示録(七つのトランペット)	1959	墨・水彩・羊皮紙	額装	58.0×46.5	山梨県立美術館
147	黙示録(天国と地獄)	1959	墨・水彩・羊皮紙	額装	58.0×46.5	山梨県立美術館
148	磔刑	1960	油彩・キャンバス	額装	145.0×88.0	パリ市立近代美術館(ランス美術館寄託)
149	黙示録のうち「四人の騎士」	1960	油彩・ハードボード	額装	146.6×114.0	パリ市立近代美術館(ランス美術館寄託)
150	黙示録のうち「七つのトランペット」	1960	油彩・ハードボード	額装	146.6×114.0	パリ市立近代美術館(ランス美術館寄託)
151	黙示録のうち「新しいエルサレム」	1960	油彩・ハードボード	額装	146.6×114.0	パリ市立近代美術館(ランス美術館寄託)
152	礼拝	1959	油彩・キャンバス	額装	114.8×147.0	パリ市立近代美術館
153	ノートルダム・ド・パリ、フルール河岸	1963	油彩・紙	額装	36.5×45.0	ランス美術館
154	静物(夏の果物)	1963	油彩・キャンヴァス	額装	61.0×50.0	個人蔵
155	マドンナ(習作)	1963	木炭、鉛筆・紙	額装	42.2×34.8	ランス美術館
156	マドンナ(習作)	1963	鉛筆・紙	額装	51.8×39.0	ランス美術館
157	キリスト	1965	油彩・鉛、ガラス	額装	31.0×17.4	ランス美術館
158	聖母子	1965	油彩・鉛、ガラス	額装	31.0×17.0	ランス美術館



カトリーヌ・ドゥロ氏講演会



林洋子氏講演会

あいちトリエンナーレ2016

虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅

Homo Faber: A Rainbow Caravan

会期：2016年8月11日(木・祝)～10月23日(日)

主催

あいちトリエンナーレ実行委員会

後援

在大阪イタリア総領事館、スペイン大使館、ブラジル大使館、メキシコ大使館

観覧料

一般1,800円、大学生1,300円、高校生700円、中学生以下無料

内容

国際的に先端的な芸術作品を紹介する国際芸術祭あいちトリエンナーレの第3回目。今回は、創造しながら旅(キャラヴァン)を続ける人間をテーマに作品を紹介した。人間が創り出した最初の芸術的造形である約3万5千年前の洞窟壁画から今も遙かな旅を続ける宇宙船に搭載された金属板「ゴールデンレコード」まで、人間の未知への好奇心と無限の探求は絶えることがない。芸術そのものが未知への旅であり、人間の営みそのものが未知への旅でもある。あいちトリエンナーレは、さまざまな好奇心を抱いて旅する人が疲れを癒しつつも、次なる旅への英気を養う家(サライ)となるべく、様々なイベントとともに展開した。

関連イベント

① ジョアン・モデ『NET Project』

日時：2016年8月11日(木・祝)～10月16日(日)

ジョアン・モデによる作品。鑑賞者がさまざまな素材と色の紐を結びつけた。

② アーティスト・トーク

作家名：ジョアン・モデ

日時：2016年8月11日(木・祝)午前10時～午前10時30分

会場：展示場所

作家名：ライ・ズーシャン

日時：2016年8月11日(木・祝)午前10時30分～午前11時

会場：展示場所

作家名：岡部昌生

日時：2016年8月11日(木・祝)午前11時～午前11時30分

会場：展示場所

作家名：マウロ・レスティフェ

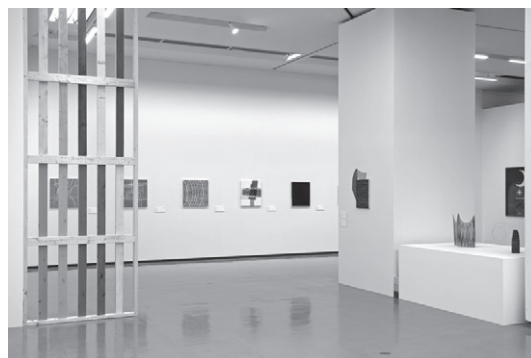
日時：2016年8月11日(木・祝)午前11時30分～正午

会場：展示場所

作家名：佐藤克久

日時：2016年8月11日(木・祝)正午～午後12時30分

会場：展示場所



会場風景



会場風景



図録

③シンポジウム

演題:「言葉の記録 日本現代美術のオーラル・ヒストリー
—80年代後半から90年代前半の名古屋のアートシーンを
めぐって」

パネリスト: 加治屋健司(東京大学准教授)、庄司達(造形作家)、島敦彦(愛知県美術館館長)、高橋綾子(名古屋芸術大学教授)

日時:2016年8月21日(日)午後1時30分~午後4時30分

会場:名古屋美術館講堂

演題:現代美術の保存と修復

パネリスト: 天野太郎(横浜市民ギャラリーあざみ野主任学芸員)、岡田温司(京都大学大学院教授)、田口かおり(修復士、日本学術振興会特別研究員)、金井直(あいちトリエンナーレ2016キュレーター)

日時:2016年9月18日(日)午後2時~午後4時

会場:名古屋美術館講堂

演題:メディア・アートとは何か?

パネリスト: 久保田晃弘(多摩美術大学教授)、関口敦仁(愛知県立芸術大学教授)、三輪真弘(IAMAS教授)、吉岡洋(京都大学こころの未来研究センター特定教授)

モデレーター:松井茂(IAMAS准教授)

日時:2016年10月10日(月・祝)午後2時~午後4時30分

④こどもキャラヴァン

日時:2016年8月25日(木)午前10時30分~正午
2016年10月16日(日)午前10時30分~正午

⑤ベビーカートゥー

日時:2016年8月27日(土)午前10時~午前11時
2016年9月17日(土)午前10時~午前11時

⑥アーティスト・トーク

岡部昌生

日時:2016年9月3日(土)午後2時~午後3時30分

会場:名古屋美術館講堂

⑦パフォーマンスアート「AIR」

演者:カンパニー・ディディエ・テロン

日時:2016年10月21日(金)午後4時~、22日(土)午前11時~

場所:名古屋美術館サンクンガーデン

出品作品

がく番号	作者名	作品名	制作年/Year	寸法(h×w×d) (cm)	素材/技法/上映時間素材	所蔵
N-36	ジョアン・モデ	ネットプロジェクト	since 2003	サイズ可変	ミクスト・メディア・インスタレーション	作家蔵
N-37	岡部昌生	被弾痕のある公益質屋遺構 沖縄 伊江島1929/1945	2016	550×675	グラファイト、キャンソン紙、テープ	
N-37	岡部昌生	公益質屋遺構 貴かれた内部壁面の被弾痕-1 沖縄 伊江島	2016	375×825	オイルチョーク、蛍光チョーク、キャンソン紙、テープ	
N-37	岡部昌生	公益質屋遺構 貴かれた内部壁面の被弾痕-2 沖縄 伊江島	2016	315×487.5	グラファイト、キャンソン紙、テープ	
N-38	ジョヴァンニ・アンセルモ	星々が1スパン近づくところ		25×100×70 6基	花崗岩、銘刻	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	夜	2016	60×40	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	インベリアル	2016	43×65	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	スモーク	2016	50×75	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	ドライバー	2016	32×40, 印画紙 27.9×35.6, イメージサイズ 15×22	ゼラチン・シルバー・プリント、台紙、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	時計	2016	70×70	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	ストリート	2016	89.5×133.5	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	窓	2016	32×40, 印画紙 27.9×35.6, イメージサイズ 20×30	ゼラチン・シルバー・プリント、台紙、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	工場	2016	46×30	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	折り曲がる	2016	41×59.5	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	壁	2016	90×90	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-39	マウロ・レスティフェ	サラリーマン	2016	35×53	ゼラチン・シルバー・プリント、アルミ複合板にマウント、額装	作家蔵
N-40	アブドラ・アル・サーディ	腔間構成	1991	サイズ可変	動物の骨、木	
N-40	アブドラ・アル・サーディ	比較通—スイカシリーズ	2013	サイズ可変	紙/アクリル絵具紙	
N-41	小杉武久	イルミネイティッド・サマー II	1996/2016	サイズ可変	音→光変換器、ハンドメイド発振器、アンプ、スピーカー、CDSセンサー、電球、他	作家蔵
N-42	マリアナ・カスティエロ・デバル	私のいるところが消えていく	2011		ビデオ、9分45秒ビデオ	作家蔵
N-42	マリアナ・カスティエロ・デバル	誰が空間を測って、時間を教えてくれるの?	2015	サイズ可変	4本の陶柱	作家蔵
N-42	マリアナ・カスティエロ・デバル	トカゲのキス	2011	330×φ34	陶器の柱、金属棒	作家蔵
N-42	マリアナ・カスティエロ・デバル	機械の柱	2015	404×φ31	陶器の柱、金属棒	作家蔵
N-42	マリアナ・カスティエロ・デバル	ひし形	2015	455×φ29	陶器の柱、金属棒	作家蔵

N-42	マリアナ・カステーロ・デバル	蛇	2015	242×φ38	陶器の柱、金属棒	作家蔵
N-43	ノミン・ボルド	Fire(火)	2016	145W×245D×6H	キャンバス／アクリル絵具	作家蔵
N-43	ノミン・ボルド	Water(水)	2016	145W×245D×6H	キャンバス／アクリル絵具	作家蔵
N-44	多田友充	無題	2016	240×120	パネル／油彩パネル	作家蔵
N-44	多田友充	せいしんのじゆう	2016	240×120	パネル／スプレー	作家蔵
N-44	多田友充	たくさんのたましい	2016	240×360	パネル／油彩パネル	作家蔵
N-44	多田友充	ヲンガク	2016	240×360	パネル／油彩パネル	作家蔵
N-44	多田友充	存在するということ(R かむ ひあ)	2016	120×240	パネル／油彩パネル	作家蔵
N-45	佐藤克久	つらつら	2016	60.6×60.6	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	つらつら	2016	60.6×60.6	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	つらつら	2016	60.6×60.6	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	つらつら	2016	60.6×60.6	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	もっけ	2016	116.7×91.0	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	降る夜・冠	2016	72.7×91.0	キャンバス／アクリル絵具	作家蔵
N-45	佐藤克久	本くん	2014-2016	53.0×45.5	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	はぎちがえ	2014-2015	41.0×53.0	キャンバス／油彩、キャンバス／アクリル絵具、コラージュ	作家蔵
N-45	佐藤克久	たぬきねいり	2016	53.0×45.5	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	あたら	2016	53.0×45.5	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	ういんういん	2016	53.0×53.0	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	たたん	2016	53.0×53.0	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	ひよいひよい	2014-2016	53.0×53.0	キャンバス／油彩	作家蔵
N-45	佐藤克久	みすます	2016	41.0×41.0	キャンバス／アクリル絵具	作家蔵
N-45	佐藤克久	ちらほら	2016	70.5×50.5	キャンバスシート／(両面)アクリル絵具、油彩、アルキド樹脂、厚紙、接着剤	作家蔵
N-45	佐藤克久	みすます	2016	41.0×41.0	キャンバス／アクリル絵具	作家蔵
N-45	佐藤克久	ありあり	2009/2016	23.5×109.0	キャンバスシート／(両面)油彩、アルキド樹脂、厚紙、接着剤キャンバスシート	作家蔵
N-45	佐藤克久	ルートラボ	2012	41.0×31.8	キャンバス／油彩	See Saw gallery + hibiki蔵
N-45	佐藤克久	すやすや	2012/2016	50.0×38.0	キャンバスシート／(両面)油彩、アルキド樹脂、厚紙、接着剤キャンバスシート	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	三角二	2015	45.5×38.0	キャンバス／油彩、アルキド樹脂	作家蔵
N-45	佐藤克久	こもごも	2012	32.2W×42.4D×7.0H	キャンバス／(両面)油彩、厚紙、接着剤キャンバス	作家蔵
N-45	佐藤克久	もないし	2015	サイズ可変	キャンバスシート／油彩、アルキド樹脂、接着剤、針金	作家蔵
N-46	小杉武久	ライト・ミュージック II	2015	120W×60D×85-130H	ハンドメイドサウンド発振器、ピエゾ発音体、スピーカー、太陽電池、9V乾電池、他	作家蔵
N-46	小杉武久	点在一あいちトリエンナーレのための	1980/2016	サイズ可変	ハンドメイドクリック音発振器、ピエゾ発音体、9V乾電池	作家蔵
N-46	小杉武久	75文字と即興	1987/2016	サイズ可変	スピーカー、アンプ、CDプレーヤー	作家蔵
N-47	頼志盛	境界・愛知	2016	サイズ可変	ミクストメディア	



会場風景

アルバレス・ブラボ写真展
—メキシコ、静かなる光と時
Manuel Álvarez Bravo Photographs
—Mexico, Light and Time in Silence

会期：2016年11月3日(木・祝)～12月18日(日)

主催

名古屋市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、中京テレビ放送

後援

在日メキシコ合衆国大使館、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

特別協力

マヌエル・アルバレス・ブラボ・アーカイヴ

企画協力

クレヴィス

協賛

ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、キヤノンマーケティングジャパン

観覧料

一般1,000円、高大生800円、中学生以下無料

内容

当館の所蔵作家でもあるマヌエル・アルバレス・ブラボ(1902-2002)は、20世紀写真史に大きな足跡を残したメキシコの巨匠である。彼は革命の動乱を経て、壁画運動や前衛芸術が盛り上がりを見せた1920年代末に頭角を現し、最晩年の1990年代末に至るまで、一貫して独自の静けさと詩情をたたえた写真を撮り続けた。

本展は作家遺族が運営するアーカイヴより全面的な協力を得て、192点のモノクロプリントと多数の資料を、全4部・9章構成で年代順に展覧する、国内最大規模の本格的な回顧展であり、約70年におよぶアルバレス・ブラボの仕事の魅力を余すところなく紹介した。

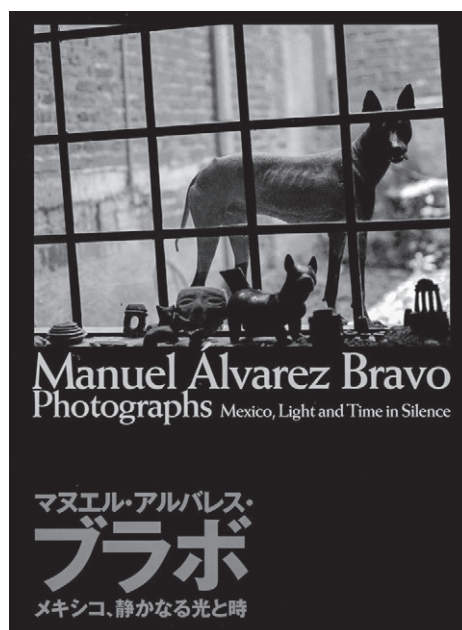
図録

26.4×19.5cm 284頁

編集 塚田美紀、杉山悦子(世田谷美術館)
山田 諭(名古屋市美術館)
伊藤 鮎、以倉 新(静岡市美術館)
発行 クレヴィス



ポスター



図録

関連催事

①記念講演会

日 時:2016年11月13日(日)午後2時～
 講 師:港 千尋(写真家・評論家)
 会 場:名古屋市美術館講堂

②ロビーコンサート

日 時:2016年11月18日(金)午後6時30分～午後7時15分
 演奏者:一般社団法人 セントラル愛知交響楽団メンバー
 会 場:名古屋市美術館地階ロビー

③作品解説会

日 時:2016年11月20日(日)午後2時～
 講 師:山田 諭(名古屋市美術館学芸課長)
 会 場:名古屋市美術館講堂



港千尋氏講演会



港千尋氏講演会



ロビーコンサート

出品作品

番号 作品名 撮影年 寸法(画像) 素材・技法

第1部:革命後のメキシコ—1920-30年代

第1章:モダニズムへ

1	城のなかの人物	1920s	24.0×18.0	gelatin silver print
2	砂と松の苗木	1920s	17.6×24.8	gelatin silver print
3	苔に覆われた岩	1927-29	18.0×24.3	gelatin silver print
4	紙の戯れ	1926-27	21.8×19.1	gelatin silver print
5	紙の波	1926-27	18.8×24.0	gelatin silver print
6	カボチャとカタツムリ	1928-29	24.3×18.8	gelatin silver print
7	小便をする子供	1927	24.2×19.0	gelatin silver print
8	木馬	1928-29	24.5×19.0	gelatin silver print
9	障害物	1929	25.8×34.2	gelatin silver print
10	アイスクリーム売りの二輪車について小さな馬	1927	19.0×24.2	gelatin silver print
11	アイスクリーム売りの二輪車について小さな馬(ネガ)	1927	12.3×15.7	platinum-palladium print
12	マットレス	1927	18.8×23.6	gelatin silver print
13	マットレス(ネガ)	1927	19.0×24.2	platinum-palladium print
14	トルソ	early 1930s	18.2×24.0	gelatin silver print
15	オルガン・サボテン	1929-30	23.7×17.4	gelatin silver print
16	皮をむいたヒカマ	1929	24.3×18.3	gelatin silver print
17	本	1930s	24.2×18.2	gelatin silver print
18	カーテン	1930	24.2×18.2	gelatin silver print
19	大聖堂のオルガン	c.1931	24.7×19.8	gelatin silver print
20	道具	1931	26.5×34.3	gelatin silver print
21	ラ・トルテカ	1931	23.5×19.3	gelatin silver print

第2章:ざわめく街の一隅で

22	理髪師	1924	24.0×18.9	gelatin silver print
23	代書人	1920s	24.3×17.4	gelatin silver print
24	小さなピエロ	1929	24.0×18.5	gelatin silver print
25	二体の生皮と少女	1932	16.4×24.7	gelatin silver print
26	ボクサー	c.1930	24.2×19.5	gelatin silver print
27	二組の脚	1928-29	23.5×19.0	gelatin silver print
28	眼の寓話	1931	34.2×25.8	gelatin silver print
29	鳥の店	1930s	23.8×19.0	gelatin silver print
30	ショーウィンドーの馬	c.1931	23.8×18.7	gelatin silver print
31	マネキンと声	early 1930s	23.4×18.8	gelatin silver print
32	笑うマネキン	1930s	18.8×24.0	gelatin silver print
33	滋養強壮	1930	20.0×25.0	gelatin silver print
34	風景と奔馬	1932	18.4×24.2	gelatin silver print
35	彫像のかたわらの会話	1933-34	18.5×24.0	gelatin silver print
36	芸術の女	1933-34	18.2×24.2	gelatin silver print
37	身をかかめた男たち	1934	22.5×29.5	gelatin silver print
38	コヨアカンライオン	1930s	19.5×24.7	gelatin silver print
39	トラックに乗った天使たち	1930	26.0×33.3	gelatin silver print
40	訪問	1935	17.0×24.0	gelatin silver print
41	この世の諸物と巡礼者	c.1939	19.0×23.7	gelatin silver print
42	黒い哀しみ	1939	26.0×33.8	gelatin silver print
43	空に自転車	1931	18.8×23.8	gelatin silver print

第2部:写真家の眼—1930-40年代

第1章:見えるもの／見えないもの

44	鳥を見る少女	1931	17.4×24.4	gelatin silver print
45	消された扉	1930	19.0×24.0	gelatin silver print
46	グアダルーベの町の壁	1930s	17.3×24.3	gelatin silver print
47	冬について	1939-40	24.3×17.8	gelatin silver print
48	舞踊の王と王妃	c. 1931	23.6×18.7	gelatin silver print
49	舞踊家たちの娘	1933	33.7×24.0	gelatin silver print
50	火気作業員	1935	23.5×19.4	gelatin silver print
51	パバントラの青年	1934-35	34.0×24.0	gelatin silver print
52	洗濯女たちの気配	1932	24.3×17.3	gelatin silver print
53	日食	1933	18.5×24.3	gelatin silver print
54	仕掛けられた罠 2	1934	24.0×16.6	gelatin silver print
55	仕掛けられた罠	1934	17.0×24.3	gelatin silver print
56	犬と雲の寓話	1930s	16.7×24.0	gelatin silver print
57	幻想の箱	1938	19.0×24.1	gelatin silver print
58	母	1930	24.0×18.5	gelatin silver print
59	夢想	1931	33.7×26.0	gelatin silver print
60	永遠なるものの肖像	1935	34.5×26.5	gelatin silver print
61	黒い鏡	1947	34.0×26.5	gelatin silver print

第2章:生と死のあいだ

62	死者の日	1932-33	24.0×17.8	gelatin silver print
63	大きな梯子	1930-32	24.0×17.8	gelatin silver print
64	大きな骨	1930s	24.5×18.7	gelatin silver print
65	梯子のなかの梯子	1931-32	24.0×19.0	gelatin silver print
66	ストライキ中の労働者、殺される	1934	18.9×24.2	gelatin silver print
67	民衆の渇き	1933-34	33.6×26.2	gelatin silver print
68	夢見る男	1931	18.8×24.0	gelatin silver print
69	三度目の躓き	1934	16.6×24.2	gelatin silver print
70	羊の毛と肉のために	1932	17.0×24.0	gelatin silver print
71	人々の魂	1936	16.8×24.2	gelatin silver print
72	死後の肖像	1930s	19.0×24.0	gelatin silver print
73	墓地の門前の家族	1932	20.5×25.5	gelatin silver print
74	メテベクの埋葬	1932	18.5×24.5	gelatin silver print
75	遺跡のなかの遺跡	1930s	18.0×24.0	gelatin silver print
76	ヤシの葉の冠をつけて	1936	17.7×24.3	gelatin silver print
77	遺骸	early 1940s	18.0×24.3	gelatin silver print
78	雀、澄んだ光	1938-40	26.4×33.6	gelatin silver print
79	眠れる名声	1938-39	25.5×34.0	gelatin silver print
80	名声 2	1938-39	16.8×24.3	gelatin silver print
81	翌朝に	1945	24.6×19.6	gelatin silver print
82	入口	1947	24.5×19.6	gelatin silver print

第3章:時代の肖像

83	ホセ・クレメンテ・オロスコ	1930s	17.1×24.8	gelatin silver print
84	ダビド・アルファロ・シケイロス	1930s	24.2×18.9	gelatin silver print
85	ディエゴ・リベラ	c. 1929	24.3×19.3	gelatin silver print
86	フリーダ・カーロ	c. 1937	24.0×18.5	gelatin silver print
87	フリーダ・カーロ	c. 1937	24.0×18.8	gelatin silver print
88	二本の筆を使うフリーダ・カーロ	1937	24.0×16.6	gelatin silver print
89	フランセス・トア	1930s	19.2×24.3	gelatin silver print
90	マリア・アスンソ	late 1930s	19.0×24.2	gelatin silver print
91	ルフィーノ・タマヨ	c. 1932	25.5×20.2	gelatin silver print
92	ルフィーノ・タマヨ、マリア・イスキエルド、 ロラ・アルバレス・ブラボ、マルティネス	c. 1935	24.2×18.7	gelatin silver print
93	セルゲイ・エイゼンシュテイン	1931	24.2×18.5	gelatin silver print
94	イサベル・ビジャセニョール	c. 1930	23.7×19.0	gelatin silver print
95	オルガ・コスタ	1930s	24.2×19.0	gelatin silver print
96	アリス・ラオン	late 1930s	24.0×18.0	gelatin silver print
97	ハビエル・ビジャウルティア	1930s	24.0×18.8	gelatin silver print
98	レフトロツキー	1938	24.3×18.3	gelatin silver print
99	アンドレ・ブルトン	1938	24.2×18.4	gelatin silver print
100	ディエゴ・リベラ、レフトロツキー、アンドレ・ブルトンら	1938	18.3×23.9	gelatin silver print
101	シルバストレ・レブエルタス	1930s	24.3×18.9	gelatin silver print



会場風景

第3部:原野へ／路上へ—1940-60年代

第1章:原野の歴史

102	頭蓋骨、遺跡、トゥルム	1947	24.0×18.3	gelatin silver print
103	壁のうしろ、リュウゼツラン	1930s	16.5×24.0	gelatin silver print
104	テポストランの修道院	1930s	18.0×24.0	gelatin silver print
105	そして夜ごと、嘆き悲しんだ	1945	23.8×17.6	gelatin silver print
106	ヒナギク	1939-40	18.6×24.2	gelatin silver print
107	六の兎の日	1940	19.2×24.2	gelatin silver print
108	星形のある場所	1940s	24.0×16.6	gelatin silver print
109	アツオンパンの思い出	1943	25.5×33.6	gelatin silver print
110	日干し煉瓦の壁のあいだの幼女	1940s	18.0×24.0	gelatin silver print
111	アンガウアのレオン	1948	18.8×23.5	gelatin silver print
112	トゥルムのマヤ人の少年	1943	25.0×33.8	gelatin silver print
113	ボナンパクのマルガリータ	1949	34.0×26.3	gelatin silver print
114	赤い虎の神殿にて	1949	24.0×17.0	gelatin silver print
115	町長殿	1947	19.1×24.5	gelatin silver print
116	アトラトラウカンの奉納画	1950-58	19.4×24.2	gelatin silver print
117	雨季の村	1950s	18.8×24.0	gelatin silver print
118	日干し煉瓦の遺跡	1950s	19.4×19.3	gelatin silver print
119	毛むくじゃらの枝	1950s	18.9×24.3	gelatin silver print
120	傷ついたリュウゼツラン	1950	25.8×32.6	gelatin silver print
121	テスココ湖	1950s	19.0×24.3	gelatin silver print
122	サボテンの風景	1966-68	25.4×33.8	gelatin silver print
123	タスコ・ビエホへの道	1964	19.0×24.0	gelatin silver print
124	墓地、訪問	1964-65	18.8×24.2	gelatin silver print
125	鐘楼への階段	1964	19.0×24.3	gelatin silver print
126	ウイチョル族のヴァイオリン	1965	17.8×24.0	gelatin silver print

第2章:路上の小さなドラマ

127	ちょっと陽気に優雅に	1942	17.3×24.3	gelatin silver print
128	世間は何と狭いことか	1942	26.3×34.0	gelatin silver print
129	大いなる悔悟者	1954	16.5×24.5	gelatin silver print
130	壁と通行人	1950s	24.0×16.5	gelatin silver print
131	正午15分前	1957	23.0×19.4	gelatin silver print
132	もうひとつの標識(テオティワカン)	1956	17.5×24.0	gelatin silver print
133	母たちへの大いなる敬意	1950s	19.5×24.0	gelatin silver print
134	三角形のなかの少年	1950s	18.3×23.5	gelatin silver print
135	20番の犬	1958	19.5×22.0	gelatin silver print
136	二つの缶を引いて	c.1950	16.5×24.0	gelatin silver print
137	巢	1954	19.3×23.0	gelatin silver print
138	息子と	1950s	18.2×23.8	gelatin silver print
139	別の物語の少年	1966	16.5×24.0	gelatin silver print
140	物語の少年	1965	18.0×24.0	gelatin silver print
141	掃除する少年	1950s	19.0×19.3	gelatin silver print
142	きれいな服と濃厚なチョコレート	1966	18.0×24.0	gelatin silver print
143	昼食後	1966	18.0×24.0	gelatin silver print
144	標識(コヨアカン)	1966	18.8×24.0	gelatin silver print
145	鷹の月	1967	19.7×24.7	gelatin silver print
146	鷹の月の恋人たち	1967	18.8×24.2	gelatin silver print
147	信ずべき夢	1966	24.3×18.2	gelatin silver print

第4部:静かなる光と時—1970-90年代

第1章:あまねく降る光

148	第一幕	1975	19.0×24.5	gelatin silver print
149	枝がきしんでも鳥は歌う(ディアス・ミロン)	1960	29.8×26.5	gelatin silver print
150	578番と影	1972-74	24.3×19.0	gelatin silver print
151	リュウゼツランの上の窓	1974-76	18.0×24.0	gelatin silver print
152	壁に手	1973-74	19.0×23.8	gelatin silver print
153	太陽のために	1974	18.8×24.0	gelatin silver print
154	黒のペンキ塗り	1972	17.4×23.6	gelatin silver print
155	リュウゼツランと鋸歯状の壁	1976	17.3×24.2	gelatin silver print
156	ケツアルコアトル	1970	19.0×24.3	gelatin silver print
157	種まきた畑の風景、シリーズ(リュウゼツラン)より	1970	18.0×24.0	gelatin silver print
158	樹脂の涙	1970	34.0×25.4	gelatin silver print
159	皮を剥がれた樹、春の神	1970-72	24.5×18.0	gelatin silver print
160	二組の人が行くチャムラの風景	1972	18.0×24.0	gelatin silver print
161	村の祭、チアパス州	c.1972	18.0×24.0	gelatin silver print
162	シトララの少年	1986	17.0×22.7	gelatin silver print
163	廃墟と化した墓地	1979	17.5×24.0	gelatin silver print
164	コアトリクエ	1987	17.8×24.0	gelatin silver print
165	シベ、タウルス	1985	18.0×24.5	gelatin silver print
166	黒い布	1986	34.3×25.8	gelatin silver print
167	シリーズ〈百年を超えて、他の間に〉より	1995-97	24.2×16.5	gelatin silver print
168	シリーズ〈百年を超えて、他の間に〉より	1995-97	16.5×24.0	gelatin silver print
169	切り紙	1990-94	16.3×24.0	gelatin silver print
170	幼子イエスの町の仕掛け花火	1990	16.5×24.0	gelatin silver print
171	小さな白い教会	c.1990	19.3×24.4	gelatin silver print

第2章:写真家の庭

172	シヨロトル	1960s	18.5×24.0	gelatin silver print
173	猿のごとく、ダーウィンへのオマージュ	1964	18.3×24.0	gelatin silver print
174	庭のシート	c.1972	16.5×24.0	gelatin silver print
175	銀色のバナナの木	1974	23.8×18.3	gelatin silver print
176	バナナの木、植物	1973-74	24.0×17.5	gelatin silver print
177	禁断の果実	1976	25.2×34.0	gelatin silver print
178	リバ	1977	25.4×34.0	gelatin silver print
179	オクタビオ・パス	1978	18.0×24.2	gelatin silver print
180	自写像	1980	18.0×24.0	gelatin silver print
181	シリーズ〈小さな空間に〉より	1995-97	16.5×24.2	gelatin silver print
182	シリーズ〈小さな空間に〉より	1995-97	16.4×24.1	gelatin silver print
183	シリーズ〈小さな空間に〉より	1995-97	16.4×24.0	gelatin silver print
184	シリーズ〈小さな空間に〉より	1995-97	16.3×24.2	gelatin silver print
185	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.2×16.5	gelatin silver print
186	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.2×16.5	gelatin silver print
187	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.0×16.5	gelatin silver print
188	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.0×16.5	gelatin silver print
189	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.2×16.5	gelatin silver print
190	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.0×16.4	gelatin silver print
191	シリーズ〈内なる庭〉より	1995-97	24.0×16.5	gelatin silver print
192	アウレリア	1980s	18.0×24.3	gelatin silver print

永青文庫 日本画の名品

Masterpieces of Japanese Painting
from the Eisei Bunko Museum

会期：2017年1月14日(土)～2月26日(日)

主催

名古屋市美術館、中日新聞社

後援

愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小中学校PTA協議会

協力

愛知県立芸術大学、名古屋市交通局、近畿日本鉄道

観覧料

一般1,300円、高大生800円、中学生以下無料

内容

永青文庫は、かつて肥後熊本藩の大名であった細川家に伝来した文化財を保存、研究、公開する公益財団法人である。東京、目白台に建つ細川侯爵家の旧家政所(事務所)を美術館として所蔵品を一般公開しており、所蔵する文化財の数はおよそ9万点、その中には国宝8点、重要文化財32点が含まれている。肥後細川家の16代細川護立は、戦後の混乱期に永青文庫を設立し、それまで受け継がれてきた細川家の文化財の散逸を防いだけでなく、近代の日本画や洋画、近世の禅画、刀剣、唐三彩など、自らも積極的に美術工芸品を蒐集した。護立の蒐集品には、白隠、仙厓の禅画や、菱田春草、横山大観の明治期の作品など、蒐集開始当初(1900年頃)にはまだ現在のように評価が定まっていなかったものが多く、護立の先見の明を窺い知ることができる。

特別展「永青文庫 日本画の名品」では、公益財団法人永青文庫の協力を得て、細川護立が集めた近代の日本画(春草、大観、小林古径、鏑木清方、上村松園など)34点と、江戸時代の名僧、白隠と仙厓の禅画23点を展覧した。菱田春草の《落葉》、《黒き猫》、小林古径の《髪》の3点の重要文化財、また松岡映丘の《室君》、平福百穂の《豫讓》といった文部省美術展覧会の特選受賞作が含まれ、たいへん質の高い内容となった。なお、作品保護の観点から会期を前後に分けて展示替えを実施した。

関連催事

作品解説会

日時：2017年1月22日(日)、2月18日(土)午後2時～

講師：保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)

会場：名古屋市美術館講堂

新春コンサート

日時：2017年1月22日(日)午後3時30分～

演奏者：一般社団法人 セントラル愛知交響楽団メンバー

会場：名古屋市美術館地階ロビー



ポスター

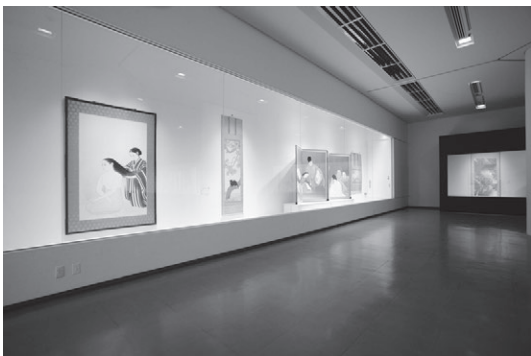


図録

i : 前期 1月14日(土)~2月5日(日)
 ii : 後期 2月7日(火)~2月26日(日)

出品作品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・形状	員数	サイズ (cm)	所蔵先	期間
第一部 近代の日本画								
1	竹内栖鳳	雲山蕭寺	明治45年(1912)頃	絹本墨画 掛幅装	一幅	153.5×51.0	永青文庫	
2	竹内栖鳳	松竹梅	大正5年(1916)	絹本着色 掛幅装	三幅対	各 139.2×41.5	永青文庫	
3	寺崎廣業	月夜山水	明治35年(1902)	絹本墨画 掛幅装	一幅	141.0×68.0	永青文庫	ii
4	横山大観	山路	明治44年(1911)	絹本着色 掛幅装	一幅	151.4×69.4	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	i
5	横山大観	焚火	大正4年(1915)	絹本着色 掛幅装	三幅対	左右 135.8×56.7 中央 135.6×41.6	熊本県立美術館	i
6	横山大観	雲去来	大正6年(1917)	絹本墨画裏箔 屏風装	六曲一双	各 168.2×373.0	熊本県立美術館	i
7	横山大観	山窓無月	大正8年(1919)	絹本墨画着色 掛幅装	一幅	169.5×78.2	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
8	横山大観	柿紅葉	大正9年(1920)	絹本着色裏箔 屏風装	六曲一双	各 168.2×373.0	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
9	横山大観	老子	大正10年(1921)	絹本着色 掛幅装	一幅	184.7×88.4	熊本県立美術館	i
10	横山大観	野の花	昭和11年(1936)	紙本着色 屏風装	二曲一双	各 159.0×173.0	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
11	下村観山	春日の朝	明治42年(1909)頃	絹本着色 掛幅装	一幅	121.0×51.2	永青文庫	i
12	下村観山	女	大正4年(1915)	絹本着色 掛幅装	一幅	134.0×50.5	永青文庫	
13	下村観山	一休禪師	大正7年(1918)	絹本着色 掛幅装	一幅	150.0×68.5	永青文庫	
14	横山大観・下村観山	寒山拾得	明治44年(1911)頃	絹本墨画淡彩 掛幅装	一幅	170.5×82.0	永青文庫	
15	横山大観・下村観山・竹内栖鳳	観音猿鶴	明治43年(1910)頃	絹本着色 掛幅装	三幅対	各 129.3×50.7	永青文庫	
16	菱田春草	平重盛	明治27年(1894)頃	紙本着色 掛幅装	一幅	55.4×97.0	永青文庫	
17	菱田春草	六歌仙	明治32年(1899)	紙本金地着色 屏風装	二曲一双	各 155.2×176.3	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
18	菱田春草	落葉(重要文化財)	明治42年(1909)	紙本着色 屏風装	六曲一双	各 157.0×362.0	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	i
19	菱田春草	黒き猫(重要文化財)	明治43年(1910)	絹本着色 掛幅装	一幅	151.1×51.0	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
20	上村松園	月影	明治41年(1908)	絹本着色 掛幅装	一幅	173.2×99.3	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
21	木村武山	祇王祇女	明治41年(1908)	絹本着色 掛幅装	一幅	179.0×97.0	永青文庫	
22	平福百穂	豫讓	大正6年(1917)	絹本着色裏箔 屏風装	六曲一双	各 173.3×347.5	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	i
23	西村五雲	林泉群鶴図	明治44年(1911)頃	紙本着色 屏風装	六曲一双	各 153.5×363.0	永青文庫	
24	冨田溪仙	仙厓禪師像	大正7年(1918)頃	絹本墨画 掛幅装	一幅	97.5×33.8	永青文庫	
25	鏑木清方	花吹雪・落葉時雨	明治41年(1908)	絹本着色 掛幅装	双幅	各 156.0×71.0	永青文庫	
26	今村紫紅	三蔵・悟空・八戒	大正2年(1913)	絹本着色 掛幅装	三幅対	各 127.0×41.5	永青文庫	
27	松岡映丘	室君	大正5年(1916)	絹本着色 屏風装	六曲一双	各 173.6×383.6	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
28	小林古径	鶴と七面鳥	昭和3年(1928)	紙本着色 屏風装	二曲一双	各 169.4×191.6	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	i
29	小林古径	髪(重要文化財)	昭和6年(1931)	絹本着色 額装	一面	170.0×108.2	永青文庫(熊本県立美術館寄託)	ii
30	小林古径	孔雀	昭和9年(1934)	紙本着色 屏風装	二曲一隻	166.8×243.0	永青文庫	
31	安田靉彦	聚楽茶亭	明治38年(1905)	絹本着色 掛幅装	一幅	111.3×69.1	永青文庫	i
32	川端龍子	霊泉由来	大正5年(1916)	麻布金地着色 額装	三面	左右 180.0×68.0 中央 211.5×68.0	永青文庫	
33	堅山南風	霜月頃	大正2年(1913)	紙本着色 屏風装	二曲一双	各 181.0×181.0	熊本県立美術館	ii
34	堂本印象	調鞠図	大正10年(1921)	絹本着色 掛幅装	双幅	各 205.5×90.5	永青文庫	i



会場風景



会場風景

第二部 白隠と仙厓の禅画

35	白隠慧鶴	一富士二鷹三茄子図	江戸時代(18世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	33.5×53.7	永青文庫
36	白隠慧鶴	布袋図	江戸時代(18世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	42.0×48.8	永青文庫
37	白隠慧鶴	お福御灸図	江戸時代(18世紀)	紙本着色 掛幅装	一幅	56.7×64.5	永青文庫
38	白隠慧鶴	出山釈迦図	江戸時代(18世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	136.3×57.7	永青文庫
39	白隠慧鶴	蛤蜊観音像	江戸時代(18世紀)	紙本墨画 淡彩 掛幅装	一幅	129.0×57.0	永青文庫
40	白隠慧鶴	蓮池観音像	明和4年(1767)	紙本墨画 掛幅装	一幅	134.7×56.4	永青文庫
41	白隠慧鶴	達磨図	明和4年(1767)	紙本墨画 掛幅装	一幅	131.0×57.5	永青文庫
42	白隠慧鶴	大應・大燈・関山像	江戸時代(18世紀)	紙本着色 掛幅装	三幅対	各124.9×53.9	永青文庫
43	白隠慧鶴	自画像	宝暦9年(1759)	紙本墨画 掛幅装	一幅	77.7×35.5	永青文庫
44	白隠慧鶴	暫時不在如同死人	明和3年(1766)	紙本墨書 掛幅装	一幅	128.1×55.0	永青文庫
45	白隠慧鶴	百寿字	江戸時代(18世紀)	紙本墨書 掛幅装	一幅	113.0×50.1	永青文庫
46	仙厓義梵	寒山拾得図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	100.3×27.5	永青文庫
47	仙厓義梵	蜷子和尚図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	88.8×28.0	永青文庫
48	仙厓義梵	百丈野鴨子図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	96.4×28.1	永青文庫
49	仙厓義梵	南泉斬猫図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	122.8×54.1	永青文庫
50	仙厓義梵	狗子仏性図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	87.2×26.4	永青文庫
51	仙厓義梵	狗子仏性図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	29.2×75.3	永青文庫
52	仙厓義梵	龍図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	65.4×27.4	永青文庫
53	仙厓義梵	虎図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	39.7×51.2	永青文庫
54	仙厓義梵	大原女図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	100.0×27.0	永青文庫
55	仙厓義梵	朧月夜図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	43.5×58.0	永青文庫
56	仙厓義梵	武溪老師安居図	文政5年(1822年)	紙本墨画 掛幅装	一幅	130.8×51.2	永青文庫
57	仙厓義梵	絶筆の碑図	江戸時代(19世紀)	紙本墨画 掛幅装	一幅	91.2×24.9	永青文庫



会場風景



会場風景



新春コンサート

アドルフ・ヴェルフリ

25,000ページ

二萬五千頁の王国

Adolf Wölfli A Kingdom of 25,000 Pages

2017年3月7日(火)～4月16日(日)

主催

名古屋市美術館、中日新聞社

企画協力

ベルン美術館アドルフ・ヴェルフリ財団

後援

スイス大使館、愛知県・岐阜県各教育委員会、名古屋市立小学校PTA協議会

協力

スイス インターナショナル エアラインズ、名古屋市交通局

観覧料

一般1,300円、高大生800円、小中学生無料

内容

アドルフ・ヴェルフリ(1864-1930)は、もっとも有名なアウトサイダー・アート/アール・ブリュットの芸術家のひとりとして知られ、世界的に高い評価を受けている。スイスのベルン近郊の貧しい家で生まれた彼は、1895年にヴァルダウ精神科病院に入院し、66歳で没するまでの生涯をこの病院で過ごした。

病院内でヴェルフリは、『揺りかごから墓場まで』と題する壮大な自叙伝を描いた。それはヨーロッパからアジア、南北アメリカの科学的探究に始まり、神々との結婚と聖アドルフ王国の設立、空想上の惑星への旅行へと拡大するヴェルフリ独自の世界観を、45巻、25,000ページにわたって表したものであった。

この展覧会は、ヴェルフリ主要な作品のほとんどを収蔵するベルンのアドルフ・ヴェルフリ財団の全面的な協力によって、初期の鉛筆画から晩年の『葬送行進曲』まで全74点でヴェルフリ画業を回顧する日本初の大規模な個展となった。

関連催事

① 記念講演会

日時:2017年3月19日(日)午後2時～

演題:「ヴェルフリ、アール・ブリュットの体現者」

講師:服部正(甲南大学文学部准教授、本展監修者)

日時:2017年3月25日(土)午後2時～

演題:「アウトサイドに生きること」

講師:都築響一(写真家、編集者)

② 作品解説会

日時:2017年3月12日(日)午後2時～

講師:笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)



ポスター

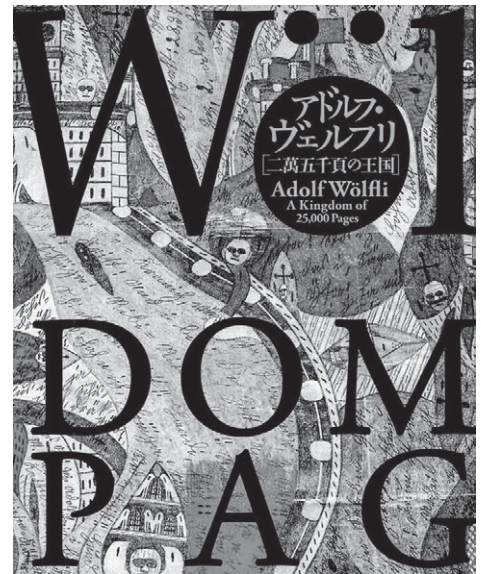


都築響一氏講演会

出品作品

番号	タイトル	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
1	リーゼリ[リーゼちゃん]・ピエリ! 死	1904	鉛筆、青鉛筆・新聞用紙	74.6×99.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
2	前掛けをした神の天使	[1904]	鉛筆・新聞用紙	74.6×99.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
3	ウォルドルフ＝アストーリア＝ホテル	1905	鉛筆・新聞用紙	74.5×99.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
4	ニュー＝ニューヨークのホテル・ウィンザー	1905	鉛筆・新聞用紙	74.5×99.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
5	ホテル＝シュテルン[星]	1905	鉛筆・新聞用紙	74.5×99.3	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
6	ハラ＝(鐘の舌)＝鐘	[1905]	鉛筆・新聞用紙	74.5×99.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
7	バントマイム	1910	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	49.0×37.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
8	デンマークの島 グリーンランドの南＝端	1910	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	50.0×37.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
9	バント[帯]＝ヴァント[壁]の中の聖ヴァンダナ＝大聖堂	1910	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.4×71.8	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
10	中国の巨大＝都市 ロベスピエール	1910	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	100.0×68.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
11	アメリカ・カナダ連合国のチンパンジー＝猿	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	50.0×37.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
12	グニッペ[折りたたみナイフ]の主題	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×70.7/71.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
13	食料品＝店、魚の餌付け	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	49.7×37.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
14	機械工にして板金工＝職人のアルブレヒト・キントラーの殺害・家族の＝父、強姦のせいで	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	49.7×37.8	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
15	ニーツォルン＝ヴェスト[西]＝トラクター＝トンネル	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.7×71.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
16	チンパンジー＝ツォルン[怒り]＝タール[谷]＝ハル[響き]	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.6 : 70.6 : 71.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
17	気高き伯爵夫人、タマレナ・フォン・ティガー[虎]＝ヴァント[壁]	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.6×71.0/71.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
18	エン湖での開戦・北アメリカ	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	49.9×38.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
19	グランド＝ホテル、ソルト＝レイク＝シティ	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.7×72.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
20	メキシコ王、カルロス5世陛下の愛人の屋敷・アメリカ。＝全能にして父なる神の事故	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.6×71.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
21	ネゲルハル[黒人の響き]	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×72.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
22	南＝ロンドン	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×142.7	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
23	北＝ロンドン	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.7×71.7	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
24	北＝アマゾンの大聖堂＝ヘルヴェチア[スイスの擬人像]＝ハル[響き]	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×145.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
25	氷湖の＝ハル[響き]。巨大＝都市	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×70.4/71.3	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
26	アリバイ	1911	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	70.0×468.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
27	利子計算＝最終、1912年6月1日。11頁	1912	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.2/100.0×71.7/72.1	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
28	事故＝転落、ドゥフィ。＝27,386フィートの深さ、ローゼン[バラ]＝ツォルン[怒り]＝南壁にて。北＝西＝インド。アジア。"35頁"	1912	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.8×72.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
29	二冊目の大きな本＝行進曲	1913	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.7×70.3/71.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
30	聖アドルフの＝聖なる＝協調の＝天使の＝巨大＝ドームと1867年8月の恐ろしい洪水	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	100.3 : 71/72.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
31	シオン＝ウォーター＝フォール	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	100.5 : 72.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
32	全能者＝神聖なるサンタ＝マリア＝ロック[ローブ]にとまる鳥	1914	鉛筆・新聞用紙	71.4/72.2×100.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
33	林務官の＝家、ヴィラディンク、大＝大＝ガイザッハ[ヤギ農園]＝チャッハ、聖アドルフ＝森＝帝＝国、中国＝アジア	1914	鉛筆・新聞用紙	71.0/72.4×103.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
34	ぶどう酒、フェニン。オリアンダー[セイヨウキョウチクトウ]。カロリナ＝ケラー[貯蔵庫]：精神疾患の＝施設	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	100.7×72.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
35	神聖なる偉大にして＝父なる＝神の＝天使ヴィンディナ	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	72.0/72.5×101.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
36	太平洋、ビスカヤ島の＝港での神聖なる聖アドルフの磔刑。1876年	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	71.3/72.6×100.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
37	巨大な＝都市、聖アドルフの＝ハル[響き]	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	105.0×71.5/72.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
38	クリノリン。ギーガー＝リナ。糸つむぎ＝リナ。安楽椅子＝リナ。おとぎ話＝安楽椅子＝リナ。大＝大＝女神	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	105.0×72.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
39	象による取るに足らない私の救済	1914	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	71.7/72.2×100.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
40	パリの＝美術＝展覧会にて	1915	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	72.0×100.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
41	ロング・アイランドの実験室	1915	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	72.0×100.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
42	全能なる＝巨大な＝汽船 聖アドルフのゆりかご	1915	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	72.3/72.5×100.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
43	アーレ川沿いの聖アンナの＝家の中にある神聖なる聖アドルフ：ベルン	1915	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.5×72.6	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
44	聖アドルフ＝ブロッガー＝小猫ちゃん：小猫＝杖と、聖アドルフ＝王＝太子	1915	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	72.8×105.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
45	全能なるガラスの＝響き	1915	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	71.5/72.5×100.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
46	小鳥＝揺りかご。田舎の＝警察官。聖アドルフII世。、1866年、不幸な災＝難	1916	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	70.9/71.9×99.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
47	テーディ：東スイスの：氷河、標高1,986,000時間、聖アドルフ、運搬人、ベルン	1916	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	71.4/72.0×100.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
48	オイメスの死。事故。	1917	鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	99.2×70.8/72.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
49	父なる＝神＝聖アドルフの＝ハーブ	1917	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.6×71.2/72.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
50	フリードリヒ大王の揺りかごの側で	1917	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	99.5×70.1/70.8	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
51	テクラー＝真珠	1917	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	99.4×67.8/68.2	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
52	聖アドルフ＝墓＝泉＝城	1918	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	88.0×60.3/61.7	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
53	カッコーの＝卵とスイス人の＝狩人	[1918]	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	87.8×58.3/61.3	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
54	偉大なる＝王女殿下、偉大な＝父なる＝神＝フローラ	1918	鉛筆、色鉛筆、コラーージュ・新聞用紙	64.0×83.1/83.8	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵

55	偉大な東の=海にある聖アドルフの=船	[1918]	鉛筆、色鉛筆・新聞用紙	99.8×70.6/71.9	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
56	全能なるモーターのついた機関車, 165台の車両を持つ, 総量6,000,000トンの, 積載量	1919	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	49.8/49.5×64.9/65.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
57	芸者-お茶と小笛〔小煙管〕	1919	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・紙	99.7×70.0/70.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
58	オドル〔洗口剤のブランド名〕-ワルツ=夢	1919	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・紙	44.8/45.0×75.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
59	父なる=神、アマリア	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	41.5×29.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
60	聖ピアンカ: 同ベルタ:昔の大=大女神	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	41.5×29.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
61	聖コルネリウス. 大大=女神	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	41.5×29.4	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
62	無題(キャンベルトマト・スープ)	1929	鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
63	無題(エスキモー/潜水夫)	1929	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
64	無題(フーバー〔掃除機のブランド名〕)	1929	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
65	無題(恐竜)	1929	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
66	無題(円形の中のアジア人)	1929	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
67	無題(爆発)	1929	鉛筆、色鉛筆、コラージュ・新聞用紙	70.0×50.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
68	聖アドルフ=王座, =アルニカ:同. /スイス. /	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	28.8×21.9	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
69	ヴェイエリア-ナ・フォン・デュルシア	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	28.8×21.7	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
70	日本=南の=ハル〔響き〕, 聖アドルフ=リング	1920	鉛筆、色鉛筆・画用紙	34.2×25.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
71	日本=塔	[1920]	鉛筆、色鉛筆・画用紙	45.3×32.5	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
72	聖アドルフ=リング, 全能なる, =巨大な=汽船	1917	鉛筆、色鉛筆・画用紙	38.0×49.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
73	神=父なる=巨大な=いなづま	[1919]	鉛筆、色鉛筆・画用紙	51.2×68.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵
71	聖デュルシア	1927	鉛筆、色鉛筆・画用紙	34.5×48.0	ベルン美術館 アドルフ・ヴェルフリ財団蔵



図録



会場風景

名古屋市美術館では、美術鑑賞の楽しさや面白さを体験できる美術館を目指して、今年度も来館者の皆さんからの多様な要望に応えられるように多彩な教育プログラムを実施しました。

一般向けとしては、「生誕130年記念 藤田嗣治展 ―東と西を結ぶ絵画―」開催にあわせ、2つの記念講演会を開催しました。藤田の作品・資料を多数所蔵するランス美術館のカトリーヌ・ドゥロ館長には藤田とランスの関係について、また藤田嗣治研究で知られる林洋子氏には「藤田嗣治をアジアの文脈から考える」と題して、ご講演いただきました。いずれも講堂が満席になる盛況ぶりでした。「アルバレス・プラボ写真展 ―メキシコ、静かなる光と時―」では、写真家・評論家であり、本年度のあいちトリエンナーレの芸術監督を務めた港千尋氏にお話しいただきました。「アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国」展では、展覧会の監修者の服部正氏にご講演いただき、また写真家として編集者として多彩に活躍する都築響一氏の講演会も大変ご好評いただきました。あいちトリエンナーレでは、3回のシンポジウムをはじめ、アーティストトークを開催しました。

毎年恒例となった名古屋市美術館の学芸員による研究発表の場としての「コレクション解析学」は全5回（前田青邨、宮島達男、アニッシュ・カプーア、三岸節子、フランク・ステラ）を実施しました。

次に、子ども向けの教育普及事業では、まず今年度の「夏休み こどもの美術館」では、あいちトリエンナーレ実行委員会と共催で「トリエンナーレを楽しもう！」と題し、多数のワークショップを開催しました。一方、当館独自事業として、鑑賞後に来館した未就学者と保護者が気軽に休み、玩具で楽しめる「ちびっこオアシス」を設けました。

また、学校休業日の体験活動の推進のための美術鑑賞プログラム「びじゅつ びっくり たまてばこ」を今年度も実施しました。来館した子どもがいつでも楽しめる「ワークシート」を配布するとともに、常設展の一作品をじっくり鑑賞する「イチおし!」、美術館の建物から出て、白川公園を歩きながら普段は気づかずに見逃しているものを見つけて考える「おさんぽマス

ター」、クイズ形式で美術館を体験してもらう「びじゅつかん検定」を含む5つのプログラムを実施しました。

学校との連携による教育普及事業としては、平成15年度から継続している「出前アート体験」があり、今年度も「名画の秘密をさぐる」「作品に託されたメッセージ」「美術から異文化を知ろう」「アートカードで学ぼう」などのプログラムを持って、学芸員やガイドボランティアが出前授業（全8校）を行いました。さらに今年度はトワイライトスクールでのアートカードを使った出前アートプログラムを実施し、全6校総計236名が参加しました。学校の団体見学においては、ガイドボランティアによる常設展のガイドトークを受けた児童・生徒たち（名古屋市内の小中学校及び高等学校12団体621名）が充実した美術鑑賞の体験をしています。名古屋市美術館が開発した美術鑑賞補助教材「アートカード」の貸出は、今年度は前年度より増加し、美術館と保管校から総計27件、50セットでした。また、今年度は教師のための研修会を当館にて2日間開催し、122名が受講しました。

このように名古屋市美術館が積極的な教育普及事業を展開できるのは、ガイドボランティアの活動に支えられているからです。名品コレクション展でのギャラリートークを基本として、「キッズの日」の美術鑑賞プログラムの企画・実施、「出前アート体験」の「アートカードで学ぼう」の支援、常設展の学校団体向けガイドトークの実施など、幅広い分野で活動を行ってきました。今年度は、総計91名のボランティアが活動しました。

美術館の活動を支援することを目的とした美術愛好家の会である名古屋市美術館協力会では、春・秋の「美術館見学ツアー」や近郊の美術館への「美術鑑賞ミニツアー」を積極的に実施しました。オリジナル・カレンダーは、庄司達氏に作成を委嘱しました。

この他に、美術書や画集・展覧会カタログが充実した図書室の利用者も年間で7,836名になっています。出版関係では、多彩で豊富な記事が好評の美術館ニュース「アートペーパー」（第102～104号）を発行しました。この他に定期行物としては「年報」「展覧会案内」を刊行しました。

1. 一般成人対象の事業

(1) 講演会・解説会

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
28年4月16日(土)	14時～	トリエンナーレスクール「アートは社会に耳をかたむけるー20世紀前衛運動の始まりからー」	白川昌生(トリエンナーレ2016参加アーティスト)	講堂	80
28年4月29日(金・祝)	14時～	生誕130年記念 藤田嗣治展記念講演会	カトリーヌ・ドゥック(ランス美術館館長)	講堂	180
28年5月21日(土)	14時～	生誕130年記念 藤田嗣治展解説会	深谷克典(名古屋市美術館副館長)	講堂	170
28年6月4日(土)	14時～	生誕130年記念 藤田嗣治展記念講演会	林洋子(美術史家・文化庁芸術文化調査官)	講堂	180
28年6月18日(土)	14時～	生誕130年記念 藤田嗣治展解説会	深谷克典(名古屋市美術館副館長)	講堂	180
28年6月25日(土)	15時～	生誕130年記念 藤田嗣治展臨時解説会	深谷克典(名古屋市美術館副館長)	講堂	180
28年7月2日(土)	14時～	生誕130年記念 藤田嗣治展臨時解説会	深谷克典(名古屋市美術館副館長)	講堂	180
28年8月11日(木・祝)	10時～	トリエンナーレアーティストトーク「作品紹介」	ジョアンモデ、ライ・ツーション、岡部昌生、マルロ・レスティフェ、佐藤克久	展示室内	50
28年8月21日(日)	13時半～	トリエンナーレシンポジウム「言葉の記録 日本現代美術のオーラル・ヒストリーー80年代後半から90年代前半の名古屋のアートシーンをめぐってー」	加治屋健司(東京大学准教授)、庄司達(造形作家)、島敦彦(愛知県美術館館長)、高橋綾子(名古屋芸術大学教授)	講堂	77
28年9月3日(土)	14時～	トリエンナーレアーティストトーク「記憶や痕跡をテーマにしたフロッタージュ作品について」	岡部昌生(あいちトリエンナーレ2016国際展参加アーティスト)	講堂	102
28年9月18日(日)	14時～	トリエンナーレシンポジウム「現代美術の保存と修復」	天野太郎(横浜市民ギャラリーあざみ野首席学芸員)、岡田温司(京都大学大学院教授)、田口かおり(修復士、日本学術振興会特別研究員)モデレーター:金井直(あいちトリエンナーレ2016国際展キュレーター)	講堂	84
28年10月10日(月・祝)	14時～	トリエンナーレシンポジウム「メディア・アートとは何か? IAMAS20周年から考える」	久保田晃弘(多摩美術大学教授)、関口敦仁(愛知県立芸術大学教授)、三輪真弘(IAMAS教授)、吉岡洋(京都大学こころの未来研究センター特定教授)、モデレーター:松井茂(IAMAS准教授)	講堂	128
28年11月13日(日)	14時～	アルバレス・ブラボ写真展ーメキシコ、静かなる光と時記念講演会	港千尋(写真家・評論家)	講堂	110
28年11月20日(日)	14時～	アルバレス・ブラボ写真展ーメキシコ、静かなる光と時作品解説会	山田諭(名古屋市美術館学芸課長)	講堂	67
29年1月22日(日)	14時～	永青文庫展 作品解説会	保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)	講堂	170
29年2月5日(日)	14時～	ポジション2017 河村のみ展 アーティストトーク	河村のみ	常設展示室3	80
29年2月18日(日)	14時～	永青文庫展 作品解説会	保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)	講堂	180
29年2月25日(土)	14時～	ポジション2017 河村のみ展 記念対談	河村のみ、柴田久美子(日本看取り士会代表)	講堂	140
29年3月12日(日)	14時～	アドルフ・ヴェルフリ展 作品解説会	笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)	講堂	75
29年3月19日(日)	14時～	アドルフ・ヴェルフリ展 記念講演会	服部正(甲南大学文学部准教授、本展監修者)	講堂	110
29年3月25日(土)	14時～	アドルフ・ヴェルフリ展 記念講演会	都築響一(写真家、編集者)	講堂	170

(2) コレクション解析学

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
28年6月26日(日)	14時～	前田青邨《富貴花》	保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)	講堂	90
28年8月28日(日)	14時～	宮島達男 《Opposite Circle》	笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)	講堂	75
28年11月27日(日)	14時～	アニッシュ・カプーア《Void No.3》	竹葉文(名古屋市美術館学芸員)	講堂	70
29年1月29日(日)	14時～	三岸節子《プチカナル》	中村暁子(名古屋市美術館学芸員)	講堂	75
29年3月26日(日)	14時～	フランク・ステラ《説教》	清家三智(名古屋市美術館学芸員)	講堂	75

コレクション解析学第1回

日時: 6月26日(日)午後2時～

作品: 前田青邨《富貴花》1974年

演題: 「院展と青邨」

講師: 保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)

内容: 岐阜県中津川市生まれの日本画家・前田青邨は、1914年の再興第一回日本美術院展覧会に《竹取》、《湯治場》が入選したのを契機に、再興日本美術院の同人に推挙された。以後の青邨の画業と人生は、日本美術院との関わりを抜きにして語ることはできない。1922年、青邨は日本美術院創立25周年記念事業の海外研究生に選ばれてヨーロッパに渡り、大英博物館で《女史箴図巻》を小林古径と共に模写するなど貴重な体験を得た。帰国後、自分が目指すべき日本画の方向性を見出し、1929年に畢竟の大作《洞窟の頼朝》を描き上げて再興第16回院展に出品した。院展にはほぼ毎年のように出品を続け、1930年に日本美術院の経営者になると、1958年には常任理事に就任、小林古径、安田靫彦とともに院展を代表する画家として存在感を發揮した。当館所蔵の《富貴花》(1974年)は青邨89歳のときの作品で、最後の院展出品作である(第59回)。本講座では、《富貴花》に到るまでの青邨の画業と作風の変遷を辿り、《富貴花》および他の院展出品作に見られる造形的特徴(余白を活かした構図、たらし込みの技法の活用、琳派風の装飾性など)を分析した。

コレクション解析学第2回

日時: 8月28日(日)午後2時～

作品: 宮島達男《Opposite Circle》1991年

演題: 「デジタルカウンターが表す人間の存在」

講師: 笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)

内容: 宮島達男の作品は、「時間」についてのコンセプトを作品のモチーフにしている。私たち自身が時間的な存在であり、時間とは無縁で生きることはできないことを考えると、「時間」というものは、私たちの生そのものと深いかわりがあるものである。古代の日本においては、時間は流れ過ぎるものではなく、循環するものであった。宮島達男の《Opposite Circle》は、まさにこの循環する時間を表現した作品である。時間という概念について、それがどのように表現されているのか、また、作品の構造としてひとつひとつのガジェットがユニットになり、円を形成しているその意味について考察し、宮島達男の他の作品との関連などについて紹介した。

コレクション解析学第3回

日時: 11月27日(日)午後2時～

作品: アニッシュ・カプーア(Anish KAPOOR; b.1954)

《Void No.3》1989年

演題: 「“虚空”を彫刻する」

講師: 竹葉 丈(名古屋市美術館学芸員)

内容: インド・ボンベイ(現.ムンバイ)に生まれ、ロンドンのチェルシー美術学校に学んだアニッシュ・カプーア(1954年生まれ)は、1980年代半ば、ミニマル・アートの限界を超え、新たな彫刻の地平を拓いた“ニュー・ブリティッシュ・スカulpture”の一員として世界的に注目を集めた。ヘンリー・ムーアやアンソニー・カロといったイギリスの現代彫刻の伝統とも呼ぶべき有機的な抽象形態による造形を引き継ぎながら、カプーアはFRPにより成形されたオブジェに赤や青、黄色の顔料を纏わせることによって、観る者に新たな視覚的体験を提供してきた。

講座では、当館に寄託されている作品《Void No.3》を主題とし、同作品がカプーアの初期の代表作であるとともに、その後インスタレーション(空間構成)へと展開する“起点”に位置するものであることを作品図版に辿り、解説した。

最後に、今世紀に入って公共空間において風景をも取り込みながら展開する最近の建築的作品を紹介し、美術史における作家の活動とその意義を検証した。

コレクション解析学第4回

日時: 1月29日(日)午後2時～

作品: 三岸節子《ブチカナル》1973年

演題: 「三岸節子とヨーロッパ」

講師: 中村暁子(名古屋市美術館学芸員)

内容: 現在の一宮市に生まれた三岸節子は、この地方出身の女性画家のパイオニアとして力強く気品ある作品を描いた。彼女が本格的に風景画家として歩むにあたっては、49歳で初めて渡仏して以来、ヨーロッパで得たものが大きく影響しているといえる。三岸節子の劇的な生涯を辿るとともに、彼女が最も愛したベネチアでのエピソードも紹介しながら、ヨーロッパでの体験が作品に何をもたらしたかを考え、三岸節子という人物と作品に迫る講座とした。

コレクション解析学第5回

日時：3月26日(日)午後2時～

作品：フランク・ステラ《説教》1990年

演題：「『絵画とは?』を問い続けて」

講師：清家三智(名古屋市美術館学芸員)

内容：フランク・ステラ(1936-)は現代アメリカを代表するアーティストの一人である。約60年にわたる彼のキャリアにおいて「絵画とは何か」「どのように絵画を作るか」という2つの根本的な問題と理論的に向き合いながら、実験のように作品制作を続け、数多

くのシリーズ作品を生み出してきた。当館が所蔵する《説教》は1985年から1997年までの12年間にわたって継続された〈波(のちに白鯨)シリーズ〉のうちの1点であるが、同じ形態のサイズ違いや彩色のヴァリエーションが複数存在する。このような取り組みも含め、従来考えられてきた絵画の定義を見直すこと、絵画における作品の形状や空間の問題に対する自分の考えを見える形にして提示してきたステラの画業をたどった。

(3)コンサート

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
28年11月18日(金)	18時30分～	ロビーコンサート	中川香、高橋早紀子、三祿沢信、山本雅士	地階ロビー	58
29年1月22日(日)	15時30分～	永青文庫 日本画の名品 新春コンサート	セントラル愛知交響楽団	地階ロビー	150

(4)パフォーマンス・ワークショップ

年月日	時刻	内容	講師等	場所	参加者
28年10月21日(金)	11時～	あいちリエンナーレ2016 パフォーマンス「AIR」	カンパニー・ディディエ・テロン	サンクンガーデン	506
28年10月22日(土)	11時～	あいちリエンナーレ2016 パフォーマンス「AIR」	カンパニー・ディディエ・テロン	サンクンガーデン	724
29年1月14日(土)	16時～	パフォーマンス「手のひら上に置いた氷がとけてゆくのを待つ」1月分	河村み	常設展示室3	181
29年2月26日(日)	16時～	パフォーマンス「手のひら上に置いた氷がとけてゆくのを待つ」2月分	河村み	常設展示室3	498

※1月14日～2月26日まで毎日実施

2. 子ども対象の事業

(1)学校休業日の体験活動の推進

平成15年度から、長期休業期間を除く学校休業日(土日祝)を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。これは名古屋市教育委員会が平成22年度まで推進してきた「なごやっ子教育推進計画」の後継として策定した「名古屋市教育振興基本計画」の一環で行うものである。平成28年度は前年度の内容改訂を引き継ぎつつ、来館者の利用状況や興味関心、そして運営を支援しているボランティアの意見を取り入れながら、年間5回のプログラムを企画・開催した。



①事前申し込みが必要なプログラム

1) イチおし!

日時 6月26日(日)午前10時～正午

対象 小学生

参加者数 25名

スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
ボランティア11名

内容 年齢の近い参加者をグループに分けて常設展を鑑賞し、作品の表現方法や題材が多様であることを理解した後で、常設展示室入口横に恒久設置しているレッド・グルームスの作品《ウールワース・ビルディング》を細部まで丁寧に観察した。

①作品の素材は何だろう?/②作るのに何日掛かったと思う?/③何人がかりで作ったと思う?/④ここはどんな世界だと思う(実在する/架空)?など、ボランティアからの問いかけに対し、参加者たちは各自の考えを発表し、また聞き合いながら、作品への視点を広げたり深めたりした。さらに作品となっている建物の内外にいる人物の様子をヒントに季節や時間帯、天候な

などを推測したり、部分拡大写真から、建物のどの場所かを探し当て、観察を通して何が起きているのか、想像を膨らませ、話し合った結果をグループごとに全体に向けて報告した。

本プログラムは、普段から学校等の団体鑑賞で人気のある作品を題材に「こどもたちにじっくり時間をかけて一つの作品と向き合う楽しさ、奥深さを体験してもらいたい」というボランティアからの提案を受けて実現した。

2) おさんぽマスター

日時 11月27日(日)午前10時～正午

対象 小中学生とその保護者

参加者数 5家族12名

スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
ボランティア11名

内容 鑑賞する対象を展示室内の美術作品に限ることなく日頃から身近にあるものに広げ、普段気づかずに過ごしているもの、聞き逃しているもの、目を向けていないものに意識を向けること、視点を変えることで新たに発見したり、不思議に思ったり、「なぜ～なんだろう?」と疑問を持ったりしながら自発的に五感を働かせることをねらいとしたプログラム。

参加家族に白川公園の地図を渡し、散策(おさんぽ)しながら少しでも気になったものには足を止めて観察したり耳を澄ませたりする時間をとってもらい、どんな色や形をしていて、大きさはどれくらいだったか、どこからどんな音が聞こえたか、それを見て／聞いてどんな感想をもったり想像を膨らませたりしたか各自、付箋にメモしてもらった。最後に公園のどの辺りで見つけたか地図に貼付して、参加者全員で互いの体験を共有した。



3) びじゅつかん検定

日時 2017年2月25日(日)午前10時～正午

対象 小学生

参加者数 9名

スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
ボランティア7名

内容 展覧会や美術作品を見た経験はあっても、美術館が何のための施設かを知る機会が少ないことに着目し、参加者に質問を投げかけ、意見を出し合っながら美術館の役割を正しく理解してもらうことをねらいとした。一問一答形式ではなく、複数の正解が考えられるよう設問に工夫し、こどもたちが自分で考えること、想像することに重きを置いたところ、学校で学んだことや普段の生活、ニュースから知っていることなどを結び付けた発言が多く聞かれた。

質問の内容は宝物(=美術作品)を守る工夫に関する事柄と、美術館を楽しむ事柄の2つを用意し、美術館の役割に関することと来館者として楽しむこと両方を知ることが出来るようにした。プログラムの最後は、参加者一人一人に検定合格証を手渡した。

②当日受付のプログラム

1) びじゅつかんでぬりえ大会

日時 5月5日(木祝)

午前10時～正午／13時半～15時30分

対象 小学生以上一般まで

参加者数 7名(午前・午後のべ)

スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
ボランティア6名

内容 参加者に所蔵作品のぬり絵5点から1点を選んでもらい、まずは白黒印刷の状態から実際の作品にはどんな色が使われているか想像する。その後、展示室で現物を丁寧に観察し、色鉛筆やクーピーペンをういて本物そっくりに着彩することに挑戦した。作品の各箇所の色の変化をよよく観察すること、色の再現を試みることを通して、混色の面白さ、難しさを体験するとともに、各作家の絵画作品における色づかいの工夫にも気づききっかけとなった。

参加者には未就学児も含まれていたが、半数以上のこどもが写生に基づいて緻密に描かれた日本画作品のぬり絵を選んだこと

は、スタッフにとって驚きであり発見だった。彼らの選択に難易度は関係なく、描かれた題材の具体性（既知のもの、見て分かるもの）や美しさ、面白さを基準にしていることが窺え、大人の考える“こども向け”の概念を改める必要性を切に感じた。なお、ぬり絵を用意したのは以下の5作品。

アメデオ・モディリアアーニ《おさげ髪の少女》

フリーダ・カーロ《死の仮面を被った少女》

ホセ・クレメンテ・オロスコ《メキシコ風景》

ルフィーノ・タマヨ《乗り遅れた乗客》

水野清亭《初夏の朝》

のヒントやクイズを載せた「こどものためのワークシート」を配布し、取り組んでもらうことで作家や作品への理解を深めた。

(2)夏休みこどもの美術館

平成28年度は、あいちトリエンナーレ（以下あいつり）実行委員会からの依頼により、夏休み期間中に共催でワークショップを複数開催することとなった。これを受け「トリエンナーレを楽しもう！」と題し、あいつり2016のテーマである「虹のキャラバンサライ創造する人間の旅」から発想を広げ、あいつり普及プログラム担当者と協議しながらプログラム内容を企画した。

当館の主催事業として独自に実施した「ちびっこアサシス」は、会期中に訪れる大勢の未就学児とその保護者のための居場所づくりを意識し、使い方の説明がなくても、乳幼児が自由に使って楽しめる遊具を用意した。実施当日は簡易授乳スペースをはじめ必要と思われる設備の整備や会場の衛生面にも配慮した。

A. アーティストト

日時 8月20日(土)午前10時～午後3時30分
対象 小学3年生～中学生
会場 2階講堂および企画展示室1・2、常設展示室3
定員 20名
参加者数 15名
スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
あいちトリエンナーレ事務局7名
内容 参加者を4つのグループに分け、当館会場で展示作品を鑑賞。それぞれの作品についてどう感じたか、何が素材に使われていたか、どんな色があったか、何を表現していたか、などお互いに気づいたこと、感じたことを積極的に話し合い、スタッフはそれをメモしておく。グループごとに最も気に入った作品の特徴を反映させたテントをデザインし、用意された素材を自由を使って四角錐の骨組みに装飾を施した。

完成後は全体で鑑賞会を行い、鑑賞した中で最も興味を持った作品や特徴、テントのデザインのどんなところに反映したかを発表し合った後、それぞれのテントに入って楽しんだ。

2) びじゅつかんでスケッチ大会

日時 2017年3月19日(日)午前10時～12時30分

対象 小学生以上一般まで

参加者数 1名

スタッフ 清家三智(名古屋市美術館学芸員)

ボランティア5名

内容 参加者とスタッフで美術館内の無料エリアを丁寧に見学した後、気に入った風景や対象を選び、画用紙に鉛筆でスケッチした。ふだん見過ごしている場所に目を向けること、描くために繰り返し注意深く見ることを通して、意識しながら見ることの大切さ、大変さを実感するとともに、美術館の建物に施された意匠の面白さや美しさ、時間ごとに変化する見え方などに気づききっかけとした。

今回は参加者が伸び悩んだため、スタッフも一緒になってスケッチに挑戦した。絵の上手・下手に関係なく、それぞれが魅力を感じて一生懸命に観察した結果としてのスケッチを見せ合うことで、各自のものの見方、視点の違いが明確になり、ゆったり時間を過ごす場所としての美術館の魅力が発見することができた。

③こどものためのワークシート

日時 開館中の土曜・日曜・祝日および学校長期休暇期間(105日間)

対象 小中学生

延べ実績 508枚

参加方法 当日常設展入口で随時受付

内容 名品コレクション展Ⅰ～Ⅲの各展示内容にあわせて展示作品をじっくり鑑賞するため

B. どうくつに絵を描こう

- 日時** ①8月19日(金)、②8月24日(水)
- 受付時間** 午前10時30分～11時30分／午後2時～3時
- 対象** どなたでも(未就学児は必ず保護者同伴)
- 会場** 名古屋市美術館地階キッズコーナー
- 参加者数** 158名(2日間のべ)
- スタッフ** 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
①あいちトリエンナーレ事務局2名
②ボランティア5名
- 内容** 人類が残した最も古い絵が洞窟の内壁に描かれているところから発想し、人工的に作った暗闇の中で、こどもたちに絵を見たり描いたりする疑似体験を提供した。活動前には図鑑などを用いてラスコーやアルタミラの洞窟壁画などを見せ、大昔の人々がどんな題材を描いていたか想像させたほか、暗闇の中へ入っていく際のLEDライトにロウソク型のカバーをつける、画材は黒のコンテのみとするなど、普段のワークショップとは異なる雰囲気作りにも工夫を凝らした。

C. ちびっこオアシス

- 日時** 8月27日(土)・28日(日)
9月17日(土)・18日(日)・19日(月祝)
10月9日(日)・10日(月祝) 計7日間
開館時間中(午前9時30分～午後5時)随時
- 対象** どなたでも(混雑時は乳幼児とその家族を優先)
- 会場** 名古屋市美術館地階キッズコーナー
利用者数 571名(7日間のべ)
- スタッフ** 清家三智、保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)
ボランティア22名(7日間のべ)
- 内容** 過去2回のあいちトリエンナーレを振り返って、夏休み期間中や土・日・祝日を中心に、美術館の利用に慣れていないと思われる乳幼児連れの来館者が一定数ありながら、彼らが安心して寛げる居場所や必要な設備が十分でなかったことを鑑み、可能な範囲での環境整備を試みた。
- 会場の床に高反発のマットを敷き詰め、靴を脱いで過ごせるスペースに乳幼児向けの簡単な遊具を用意し「つまむ、はさむ、ひっぱる、つむ」など、将来造形活動に取り組むときに必要となる、手の運動を楽しんで体験できる場を設定した。未就学児～小学生のこどもに対しては、トリエンナーレの展示を鑑賞しての感想を絵日記の形式で表し

たり、印象に残った作品を画用紙に描いたりする場を設けた。

(3)芸術と科学の杜

「芸術と科学の杜」とは、名古屋市美術館と科学館が連携して、市民の豊かな感性と創造力を育む魅力ある事業を継続して実施するとともに、白川公園周辺の文化施設や地域とも協力して連携の輪を広げることで「芸術と科学を中心にさまざまな文化が融合し、新しい文化を生み出すまち」の形成を目指すものである。

この事業の目的を実現するため、地元商店街や周辺の施設、関係機関で構成する「芸術と科学の杜連携推進会議」を設立し、今年度は以下の事業を実施した。

サイエンス&アートフェスティバル「アート大会」

- 日時** 11月5日(土)・6日(日)午前10時～午後4時
- 場所** 白川公園
- 参加者数** 1,746名(ワークショップのみ事前申込制)
- 内容** ①スタンプラリーで彫刻を探そう
スタンプラリー用紙にある地図をもとに白川公園内にある彫刻を探して、スタンプを集めたり設問に答えたりするもの。
- ②アートなナゾとき
美術館や科学館の建物に関する事始め、白川公園内で7つの謎に挑戦するもの。
- ③ワークショップ「レッツ手づくり写真!!」
公園内で撮影した写真を太陽の光で現像するもの。



地元連携事業

- (1) 町内会イベントへの参加：「買いにおいでー」「広小路夏祭り」
- (2) 「メ〜テレ秋祭り」への参加

地元交流事業

特別展会期中、地元の方を招待し、担当学芸員の作品解説の後会場内の観覧を楽しんでいただいた。

- (1) 藤田嗣治展 一東と西を結ぶ絵画一

ア 開催日 平成28年6月17日（金）午後6時20分～
午後8時

イ 参加者 37名

- (2) 永青文庫 日本画の名品

ア 開催日 平成29年1月20日（金）午後6時20分～
午後8時

イ 参加者 30名

3. 学校対象事業

(1) ボランティアによる学校団体向けガイドトークの実績

平成28年度学校団体受入

No.	日時	曜日	団体名	見学者数(生徒数)	引率者数	対応ボランティア数
1	5月6日	金	美濃加茂中学校2年生	55	4	6
2	6月7日	火	岐阜県立岐阜工業高校デザイン学科1年生	40	2	6
3	8月25日	木	名古屋市立一色中学校1年生	30	2	4
4	9月30日	金	名古屋市立西味鏡小学校5年生	55	2	7
5	10月4日	火	名古屋市立西城小学校5年生	34	1	4
6	11月4日	金	名古屋市立神宮寺小学校6年生	48	2	12
7	11月15日	火	名古屋市立極楽小学校6年生	88	3	10
8	12月1日	木	東浦町立西部中学校1年生	16	1	4
9	12月15日	木	名古屋市立南押切小学校、栄生小学校、榎小学校 3年生	86	6	10
10	1月25日	水	名古屋市立名北小学校5年生	80	3	9
11	2月9日	木	名古屋市立森孝中学校1年生	5	0	2
12	2月24日	金	名古屋市立太子小学校4年生	84	4	10
計				621	30	84

(2) アートカード貸出実績

アートカードは、名古屋市美術館の所蔵作品の中から60点を選び、はがき大の複製図版に仕立てた鑑賞学習用補助教材である。名古屋市立の小中学校に対しては各区に設けた保管校を通して、それ以外の学校・団体には美術館から直接貸出を行い、鑑賞学習の普及に努めている。

平成28年度 アートカード保管校一覧

区	学校名	担当の先生	ケース数	保管ケース番号
千種区	城山中	森田 進午	3	2、3、4
東区	桜丘中	高橋 陽子	3	1、5、6
北区	清水小	浅野 陽佑 ※1	4	7、8、9、10
西区	山田東中	若山 佳代	4	11、12、13、61
中村区	笹島中	川松 仁子	3	14、15、16
中区	新栄小	滝 純	3	17、18、19
昭和区	駒方中	松岡 健児	3	20、21、22
瑞穂区	萩山中	水谷 恵美	3	23、24、25
熱田区	日比野中	長崎由利子	3	26、27、28
中川区	はとり中	校條 敬子	4	29、30
	山王中	大鹿公仁子		31、33
港区	東築地小	加藤久仁夫	3	34、35、36
南区	千鳥小	大島 聖矢	2	62、63
守山区	志段味西小	檜山 雄大	4	42、43、44、45
緑区	太子小	中野 幸代	5	46、47、48、49、50
名東区	上社中	小林 弘倫	4	51、52、53、54
天白区	表山小	宮地 千加	4	55、56、57、58

※1 7月より城北小・小山悠子氏に変更

平成28年度 アートカード保管校別貸出実績一覧

区	貸出先	ケース数	貸出期間
東	愛知教育大学付属小学校	3	6月7日～12月22日
	葵小学校	1	1月19日～2月末
北	楠小学校	2	8月10日～1月26日
	大杉小学校	2	12月27日～1月31日
西	山田東中学校	4	4月～5月
中	千早小学校	1	5月31日～7月19日
	千早小学校	1	9月1日～10月31日
昭和	八事小学校	3	9月～12月
瑞穂	汐路小学校	3	1月23日～2月3日
中川	西前田小学校	1	通年
港	港南中学校	1	7月1日～7月15日
	神宮寺小学校	2	10月31日～11月30日
南	千鳥小学校	2	7月
守山	西城小学校	2	9月～3月
	志段味西小学校	3	9月～10月
緑	南陵小学校	2	6月14日～8月30日
	黒石小学校	1	9月9日～10月11日
	東丘小学校	1	10月21日～11月29日
	太子小学校	2	10月26日
	太子小学校	2	1月27日
	太子小学校	2	3月(予定)
天白	植田北小学校	4	2月21日～2月27日

計22件、45セット貸出

平成28年度 美術館からの直接貸出実績

No.	学校・団体名	期間	ケース数
1	名古屋市立松原小学校トワイライトスクール	5月24日－ 5月27日	1
2	常滑市立鬼崎南小学校	5月28日－ 6月11日	1
3	愛知工業大学情報電子専門学校	6月8日－ 6月20日	1
4	常滑市立鬼崎南小学校	9月11日－ 11月15日	1
5	名古屋市博物館	2月7日－ 2月17日	1

計5件、5セット貸出

(3)出前アート体験

①北区・東志賀小学校

プログラム名 「作品に託されたメッセージ」

日 時 6月2日(木)午前10時40分～11時25分

場 所 多目的室

学 年 5学年2クラス(47名)

講 師 保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 「作者の制作を支える強い動機や主張は何か、また作者がそれを上手に表現できているか」について考える講義を実施した。授業の前半では、エドヴァルド・ムンク作《叫び》を題材に、作者が表現したかった「叫び」とは何だったのかを、人物のポーズや色づかい、筆づかいに注意しつつ、作者のこぼれや絵のもとになった実際の風景写真を参考にしながら考えた。後半では、当館所蔵のマルク・シャガール作《二重肖像》を題材に、作者が作品にこめた思いについて推察した。

人物の目線や明暗の使い方などを観察し、「なぜそのように描いたのか」という作者の意図(理由)について考えた。

②緑区・太子小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる

日 時 6月8日(水)午前10時45分～11時45分

場 所 多目的室

対象学年 4年生3クラス(81名)

講 師 深谷克典(名古屋市美術館副館長)

授業内容 この授業ではまずピカソの作品を何点か紹介しながら、創造的であることの意味を探った。次いで、ピカソに加えてレオナルド・ダ・ヴィンチ、モディリアーニの三人の画家の作品を紹介しながら、それぞれの画家がどのような狙いで作品を描いているのかを説

明した。時代も表現方法もそれぞれ異なる三人の作品だが、魅力はどこにあり、なぜそのような描き方をしたのか子供たちに考えさせた。また最後にモディリアーニの真作と贋作の図版を紹介し、どちらが真作であるかを考えさせた上で、どのようにすれば真作と贋作の区別がつくのか、その方法について具体例を挙げて説明した。

③天白区・表山小学校

プログラム名 美術から異文化を知ろう

日 時 6月10日(金)午前10時50分～11時35分

場 所 多目的室

対象学年 5年生3クラス(98名)

講 師 山田 諭(名古屋市美術館学芸課長)

授業内容 フリーダ・カーロの《死の仮面を被った少女》の作品図版を提示して、自動に何が描いてあるか画面全体から細部に到るまで観察して、発表させた後、とくにメキシコにおける「骸骨」の(イメージに託された風習や死生観の)意味をはじめとして、日本とメキシコとの交流関係について、さまざまな資料や作品図版(スライド)を使って解説した。

④西区・城西小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日 時 6月16日(木)午前9時40分～10時25分

場 所 多目的教室

対象学年 2年生2クラス(49名)

講 師 清家三智(名古屋市美術館学芸員)

スタッフ ボランティア7名

授業内容 児童を8つのグループに分け、机を固めて島を作る。それぞれの班にボランティアまたは学芸員1名がつき、以下の活動において児童の学習をサポートした。

【導入】たんでいゲーム

各グループでアートカード60枚を図柄が見えるように広げ、ある作品の部分拡大図版を児童たちに提示する。児童はそれをよく観察し、どの作品のどの部分かを探し当てる。作品を隅々まで丁寧に観察する練習としての活動。

【メインの活動】感じたことを話し合おう

①場に広げたアートカード60枚をよく観察し、各自が1枚ずつ気に入った/気になった作品を選ぶ。選んだ作品が複数名で重

複した場合は、譲るのではなく共有する。

- ②導入の活動で行ったことを思い出しながら、さらに丁寧に観察し、自分が選んだ理由や作品のどの部分からそう感じたかなどを考え、グループ内で発表し合う。

2年生の言語能力では、漠然とした印象を一言で伝えるので精いっぱいのもも多く、担任教諭から「今回の活動を通して児童の語彙を豊かにしたい」と授業のねらいを提案された。スタッフは児童の発言に注意深く耳を傾け、彼らの気持ちに寄り添いながら、「どの辺りが」「どんなふうに」などの問いかけを行い、具体的に言及する要素を少しずつ増やすことで、児童一人ひとりが本当に言いたいことを余すところなく表現できるよう支援した。

授業の最後、児童はスタッフとの対話を経て具体的に自分の発言を用紙に記述し、作品を見て最初に書いた感想と長さや内容を比較していた。

⑤南区・伝馬小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる

日時 9月13日(火)午前10時50分～11時30分

場所 視聴覚室

対象学年 3学年2クラス(51名)

講師 笠木日南子(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 サルバドール・ダリのだまし絵①《イメージが消える》と②《海辺に出現した顔と果物鉢の幻影》を紹介。絵の中に隠れているダブル・イメージを見つけさせた。次に③ピカソの《ゲルニカ》を紹介、ピカソの表現の工夫について考えさせ、また④ゴヤの《1808年5月3日、プリンシペ・ピオ丘での銃殺》を紹介し、「戦争などの残虐な行為を告発し、二度と繰り返してはいけない」というメッセージをより強く表すために、ピカソがゴヤの作品の表現を引用していることも紹介。最後に⑤森村泰昌《兄弟(虐殺I)》《兄弟(虐殺II)》を見せ、こちらもゴヤの作品を引用し、作品に込められたメッセージを踏襲しているが、それだけではなく、さらに、「見かけで判断するべきではない」という作家のオリジナルなメッセージが加えられていることを紹介。作品を作るにあたり、本物そっくりに描くことが重要なのではなく、時には、

他の作品を真似たり、写真を使ったりしても、感情やメッセージが伝わるように自分なりの表現の工夫をすることで、オリジナルな作品を生み出すことができることを伝えた。

⑥西区・稲生小学校

プログラム名 美術から異文化を知ろう

日時 1月13日(金)午前8時55分～9時40分

場所 体育館

対象学年 6年生3クラス(80名)

講師 竹葉丈(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 最初にフリーダ・カーロの《死の仮面を被った少女》の作品図版を提示し、「変身願望」等、仮面に託された意味を考え、ヨーロッパとメキシコにおける「仮面」の機能の差異について紹介した。その後、メキシコにおける「骸骨」の(イメージに託された風習や死生観の)意味をポサダの版画やブラボの写真に辿る。そうした伝統や慣習に基づいた個人的表象とともに同時代に巻き起こった二つの美術運動について、作品図版(スライド)を使って解説した。都市の公共空間における壁画制作と農山村部における野外美術教育の違いとその目的について紹介し、革命後のメキシコの民主化に美術がいかに大きな影響を持ったかを解説した。そうした「ルネサンス」とモダニズムの時代を経た現代になっても表象される「死の仮面」について、民芸品とルチャリブレのマスク・マンを例に紹介した。

⑦緑区・片平小学校

プログラム名 作品に託されたメッセージ

日時 1月17日(火)午前10時30分～11時30分

場所 多目的室

学年 6年生3クラス(91名)

講師 中村暁子(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 メキシコの女性画家フリーダ・カーロの《死の仮面を被った少女》を採り上げた。まず、世界地図を投影し、メキシコがどこにあるかを確認。その後、メキシコという国について話をした。次に、《死の仮面を被った少女》を見せ、何が描かれているかをじっくり観察し、この少女はなぜここに一人にいるのか、どんな気持ちかなどを考えてもらった。続いて、フリーダ・カーロの写真を見せ

て、彼女の人生となぜこの絵を描いたのかについて話をし、メキシコのお祭りである「死者の日」の話も交えながら、メキシコの死生観にも触れた。最後に再び《死の仮面を被った少女》を見てもらい、この絵を見てどう思ったかを何人かに発表してもらった。子供の意見を引き出しながら、美術作品というものに触れ、それがどのような背景のもとに描かれたか、どんなメッセージを送っているかを知り、絵画に親しみつつ自分なりに考える授業とした。

以外のものでも伝えられることを体験する機会とした。

(4)就業・職業・職場体験及び職場訪問受け入れ

- 対 象** 中学校・高等学校 生徒
- 内 容** 【体 験】 総務課、学芸課の業務内容を知るとともに、清掃、警備、案内監視、施設管理等の業務内容を知り、体験する。
- 【訪 問】 館内施設の見学をするとともに、疑問点についてインタビューを行い、美術館に関する理解を深める。

⑧名東区・香流小学校

プログラム名 アートカードで学ぼう

日 時 1月25日(水)午前10時45分～11時30分

場 所 教室

学 年 特別支援学級1・2・5・6年生2クラス(7名)

講 師 角田美奈子(名古屋市美術館学芸員)

授業内容 名古屋市美術館を例にして美術作品と美術館について紹介したあと、担任教諭から依頼のあった「見て楽しむ」体験をする機会として、「思い(気持ち)を伝える」を主題として全員で課題に取り組んだ。課題は3つの段階に分け、1つめを「好きなもの選び」、2つめを「思いを伝える-1」、3つめを「思いを伝える-2」とし、ものを見る楽しみとものを通して自分の思いを伝えることへの気づきを促した。

1では、図柄に親しみ、良く見ることを促すための導入として各自に好きなカードを選ばせた。2では、選んだカードからどのような気持ちがあったかを確認し、同じ気持ちになるカードをもう1枚選んだ。3では、アートカードに類似するものとして絵葉書を紹介し、その役割を確認した後、カードに使用されている16点の作品の絵葉書から各自が好きな1枚を選び、その図柄からどんな気持ちがあったかを紙(絵葉書を入れるため、封筒状のもの)に書き、絵葉書とともに持ち帰った。

これらの活動を通して児童ひとりひとりの想像力を刺激するとともに、グループ活動のなかで互いの発想を共有し、異なる感覚や意見への理解を促し、自分なりに作品を楽しむ味わう機会とした。あわせて、課題を持ち帰ることで、自分の気持ちを言葉

実 績

実施日	内容	学校名	学年	人数
28年8月2・3日	体験	名古屋市立名古屋商業高校	2年	4人
28年8月2・3日	体験	豊田市立崇化館中学校	2年	1人
28年11月8・9日	体験	名古屋市立若宮商業高校	2年	2人
29年1月17・18日	体験	名古屋市立高針台中学校	2年	4人
29年1月27日	体験	名古屋市立汐路中学校	2年	3人
29年1月31日・2月1日	体験	名古屋市立伊勢山中学校	2年	2人
29年1月31日・2月1日	体験	名古屋市立大森中学校	2年	5人
28年5月18日	訪問	桑名市立光風中学校	2年	5人
28年5月18日	訪問	岐阜市立岐阜中央中学校	2年	5人
28年6月8日	訪問	岐阜県神戸町立神戸中学校	2年	12人
28年6月14日	訪問	桑名市立陽和中学校	2年	5人
28年6月17日	訪問	刈谷市立富士松中学校	2年	12人
28年6月22日	訪問	垂井町立不破中学校	2年	12人
28年6月22日	訪問	多治見西高校附属中学校	2年	4人
28年10月7日	訪問	高山市立東山中学校	2年	6人
29年1月18日	訪問	名古屋市立津賀田中学校	1年	5人
29年1月19日	訪問	名古屋市立志段味中学校	1年	12人
29年1月24日	訪問	名古屋市立千種台中学校	1年	6人
29年1月24日	訪問	名古屋市立御幸山中学校	1年	6人
29年1月25日	訪問	名古屋市立平田中学校	1年	6人
29年1月26日	訪問	名古屋市立鳴子台中学校	1年	12人
29年1月27日	訪問	名古屋市立藤森中学校	1年	5人
29年2月8日	訪問	名古屋市立円上中学校	1年	5人

(5)教員対象の講座

①名古屋市教育センター研修「名古屋市美術館における鑑賞教育講座」

名古屋市教育センターからの依頼により、名古屋市立の小・中・高・養護学校を対象とする研修講座を開催した。美術館の基本的な活動と、児童・生徒を対象にした美術鑑賞の実践例を紹介した。当館が提供している常設展のギャラリートークの体験や鑑賞学習が児童・生徒にどのような学習効果をもたらすか講義と映像資料で解説する時間を設け、美術館の活用法を具体的に知ってもらう機会とした。

以前は年1回の開催であったが、2014年度より教育センターからの強い要望を受け、同内容の講座を2回に分けて開催することとし、受講できる人数を増やすほか、受講者が希望日を選択できるよう協力している。

日 時	①8月1日(月)午後1時～4時 ②8月8日(月)午後1時～4時
場 所	名古屋市美術館 2階講堂および常設展示室1・2
参加者数	122名(2日間延べ)
講 師	深谷克典(名古屋市美術館副館長)、山田諭(同学芸課長)、中村暁子、清家三智(同学芸員)
スタッフ	ボランティア16名(2日間延べ)



(6)その他

トワイライトスクール／ルームでの出前事業

「トワイライトスクール／ルーム」は市内各小学校の空き教室等を利用し、放課後から保護者の帰宅時間まで、低学年を中心に児童を預かる事業のことで、市が公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会に運営を委託している。

以前から美術館では教育委員会が行う全市的事業「その道の達人派遣事業(美術館：出前アート体験)」に

従事し、希望する市内の小中学校で授業を行ってきた。本事業は内容を従来のものより簡易化し、トワイライトスクール／ルームとの連携事業として実施することで、児童やその保護者に館の活動に対する認知度を高め、美術への関心を持ってもらおうという趣旨である。

平成28年度は、臨時休館で団体鑑賞の受け入れやボランティアのガイド活動がない期間(7月4日(月)～29日(金))中に、下記の6校で実施した。

①緑区・東丘小学校トワイライトスクール

日 時	7月5日(火)午後3時20分～4時20分
参加者数	1～6年生50名
スタッフ	ボランティア8名
企画運営	清家三智(名古屋市美術館学芸員)
内 容	1)アートかるたに挑戦

アートカード60枚を図柄が見えるようにして場に広げる。スタッフが読み上げる文章(作品の特徴)をヒントに、児童は当てはまる図柄(アートカード)を探して取る。中には紛らわしいカードがあるが、お手付きの場合は後から「どこで間違えたのか」を正解と見比べて確認する。より多くカードを取った児童の勝ち。

2)仲間を集めよう!

カードは図柄が見えるよう場に広げる。学芸員から出されるテーマに該当するものを、内容をよく観察して選び出す。カードの取り合いにならぬよう、順番を決め、1人ずつ発表する。判断に迷ったときは、グループ内で話し合っ決めて。テーマの例としては、「作品に登場する人物の数」「人物の持ち物(帽子、花など)や服装」「風景の種類」など。

②天白区・相生小トワイライトスクール

日 時	7月6日(水)午後3時30分～4時30分
参加者数	1～6年生30名
スタッフ	ボランティア5名
企画運営	清家三智(名古屋市美術館学芸員)
内 容	1)アートかるたに挑戦

2)仲間を集めよう!

*東丘小学校での実施内容と同様。

③北区・金城小トワイライトルーム

日 時	7月8日(金)午後2時15分～3時[前半] / 午後3時10分～4時[後半]
-----	--

参加者数 1～6年生80名(2組に分けて実施)
スタッフ ボランティア6名
企画運営 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
内 容 参加者多数のため、参加者を前半(主に1年生)と後半(2年生以上)に分け、活動の難易度にも変化を付けて実施した。

[前半]

- 1)アートかるたに挑戦
- 2)仲間を集めよう！
*東丘小学校での実施内容と同様。

[後半]

- 1)3つのヒント「私は誰でしょう？」
学芸員が、ある作品の登場人物または生き物になりきり、見つけてもらうためのヒントを提示する(全部で3つ)。児童はそれぞれのヒントをよく聞き、すべてに当てはまる作品カード(と「私」は誰/何か)を探し出す。まぎらわしいカードも含まれるが、お手付きの場合は「どこで間違えたのか」を正解と見比べて確認し合う。
- 2)仲間を集めよう！
*2)のみ東丘小学校での実施内容と同様。

④南区・白水小トワイライトスクール

日 時 7月12日(火)午後3時～4時
参加者数 1～2年生30名
スタッフ ボランティア5名
企画運営 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
内 容 1)アートかるたに挑戦
2)3つのヒント「私は誰でしょう？」
3)仲間を集めよう！
*1)は東丘小学校、2)3)は金城小 [後半]の実施内容と同様。

⑤港区・正保小トワイライトスクール

日 時 7月14日(木)午後3時～4時
参加者数 1～6年生26名
スタッフ ボランティア8名
企画運営 清家三智(名古屋市美術館学芸員)
内 容 1)たんていゲーム
アートカード60枚を図柄が見えるように広げる。ある作品画像の一部を切り取って拡大したものを提示し、児童はそれがどの作品のどの部分かを探し当てる。お手付きしたときは、どこで間違えたのかをグループで一緒に考える。

- 2)3つのヒント「私は誰でしょう？」
- 3)仲間を集めよう！
*2)3)は金城小[後半]での実施内容と同様。

⑥千種区・大和小トワイライトスクール

日 時 7月15日(金)午後3時30分～4時30分
参加者数 1～3年生20名
スタッフ ボランティア4名
企画運営 保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)
内 容 児童は5人ずつの4グループに分かれ、各グループにボランティアが進行役として1名つき、次のプログラムを実施した。
1)アートかるた
アートカードを表(絵柄を上)にして場に広げる。ボランティアが読み札をよみ、内容に合った絵柄のカードを取る。時間内に多くのカードを取った児童の勝ち。
2)仲間を集めよう
アートカードを表(絵柄を上)にして場に広げる。ボランティアが指示を出し、児童はその指示にあてはまると考えたものを一人一枚ずつ順番に選び出し、その理由を説明する。指示の内容は「生きものが出てくる作品を集めよう」「音がしそうな作品を集めよう」「緑色のある作品を集めよう」など。指示に該当するカードが見当たらなくなったら、ボランティアが次の指示を出す。

2 ボランティア

今年度は、昨年度10月から3月にかけて実施した養成講座を修了した9期の22名が新たに加わり、91名の登録者となりました。

主な活動は、常設展示室でのギャラリートークや、学校休業日の教育プログラムにおける美術鑑賞体験の支援など通常の出前授業の他に、トワイライトスクールでもアートカードを使った鑑賞学習体験を実施しました。

また、名古屋まつり開催日の日曜日には、常設展を無料開放するほか、ボランティアによる「ボランティアまつり」を開催した。ボランティア有志による企画であり、彫刻や建物ガイド、アートカードを使ったゲームなどを実施し、来館いただいたお客様に美術鑑賞を楽しんでいただくとともに、ボランティア活動についても周知することができました。

多くのメンバーで安定した活動運営ができる一方で、1人当たりの活動の機会を確保することや、ガイドの質やレベルを平準化することが今後の課題となるが、美術館としては、ボランティアが安心して活動に積極的に取り組めるよう支援していくことが責務となっています。

(2)定例会

定例会は原則として毎月第2土曜日の午前中に開催した。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。

日 時	時 間	内 容	講 師
4月9日	午前10時～12時	係活動の話し合い	ボランティア
5月14日	午前10時～12時	1960-70年代のアメリカ美術	角田学芸員
6月11日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅱ(前期)について	竹葉学芸員/笠木学芸員
7月9日	午前10時～12時	ボランティア交流会	ボランティア
8月6日	午前10時～12時	所蔵作品の基礎知識について その1(プロレタリアの団結)	清家学芸員
9月10日	午後10時～12時	名品コレクション展Ⅱ(後期)について	竹葉学芸員/笠木学芸員
10月8日	午前10時～12時	日高長太郎と愛友写真倶楽部について	竹葉学芸員
11月12日	午前10時～12時	写真の原理と20世紀前半の写真技法	福岡栄氏
12月10日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲ(前期)について	中村学芸員/清家学芸員
1月14日	午前10時～12時	マリア・イスキエルドの作品について	中村学芸員
2月11日	午前10時～12時	名品コレクション展Ⅲ(後期)について	中村学芸員/清家学芸員
3月11日	午前10時～12時	来年度の名品コレクション展Ⅰについて	角田学芸員/清家学芸員

(3)ガイド活動

①常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日(午前11時～・午後2時～)、一般を対象とした約1時間のガイドツアーを各日ボランティア2名が担当した。

活動日数 251日間

参加数 延べ1,655名

(1)ボランティア登録者(2017年3月31日現在)

第5期:佐藤紀子、鈴木律子、瀧川友子、野口健弘、原田直美、引地順子、藤井万巳、村松敦子、森和美、山田優子 ほか、計15名

第6期:伊藤えつ子、荻野知恵子、梶田清美、加藤枝里香、坂井千恵、中村俊雄 ほか、計10名

第7期:池本せい子、井田紀子、井上静夫、今井康夫、遠藤明子、太田美奈、小澤智子、加藤久子、末原みとせ、蔦森敦子、長尾理香、中川和彦、平尾真実、三浦有美、三島悠、安原栄里、横井文代、吉川優実 ほか、計21名

第8期:浅野雅樹、伊藤久美子、伊藤蘭子、今井佐知子、内海典子、沖田裕美、鏡味雅恵、川合幸代、神田初美、柴田順三、杉原和夫、杉山要、谷村満智子、都築祥子、道家千津子、中山越子、廣瀬千明、福田慶恵、三浦徹也、渡辺裕子 ほか、計24名

第9期:伊藤和子、魚住千加子、可児理佳、北村滋規、近藤牧子、近藤理恵、境徳子、下田薫子、杉原真奈美、鈴木浩司、田島民子、恒川明美、廣瀬典子、前沢真奈美、目加田頼子、安江秀明、吉村由紀江、米本有里、渡辺順子 ほか、計21名

②特別展ギャラリートーク

特別展ギャラリートークは、ボランティアに参加の希望を募り、展覧会ごとに担当を分けて行う。ギャラリートークの開催日、開始時間、方法などは、担当ごとに選出するまとめ役を中心にした話し合いによって決定する。登録後2年を経過したボランティアのメンバーが活動している。一般を対象とした約1時間のガ

イトツアーであり、ボランティア2名が組となり、会場入口で参加者を募りグループを編成して1日につき2回実施する。



a) 東京藝術大学コレクション 麗しきおもかげ 日本近代美術の女性像

開催日 4月2日、10日、16日(計3日)
 時間 10時30分～／13時30分～
 担当 5期:1名、6期:2名、7期:1名 計4名
 参加数 延べ113人

b) 藤田嗣治展 一東と西を結ぶ絵画一

開催日 5月15日、17日、19日、22日、24日、26日、29日、31日、6月2日、5日、7日、9日、14日、16日、19日、21日、23日、26日(計18日)
 時間 10時30分～／13時30分～
 担当 5期:5名、6期:3名、7期:3名、8期:1名 計12名
 参加数 延べ829人

c) あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ創造する人間の旅

開催日 8月20日、21日、27日、28日、9月3日、4日、11日、17日、18日、24日、25日、10月1日、2日、9日、15日、22日、23日(計17日)
 時間 10時00分～／13時00分～
 担当 5期:1名、6期:1名、7期:2名、8期:3名 計7名
 参加数 延べ665人

d) アルバレス・ブラボ展 ーメキシコ、静かなる光と時間

開催日 11月15日、18日、19日、22日、23日、26日、30日、12月3日、4日、6日、11日、16日(計12日)
 時間 10時30分～／13時30分～
 担当 5期:2名、6期:1名、7期:2名、8期:3名 計8名
 参加数 延べ236人

e) 永青文庫 日本画の名品

開催日 1月21日、26日、27日、31日、2月3日、4日、7日、10日、12日、16日、17日、19日(計12日)
 時間 10時30分～／13時30分～
 担当 5期:5名、8期:3名 計8名
 参加数 延べ645人

f) アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国

開催日 3月17日、18日、20日、24日、29日(計5日)
 時間 10時30分～／13時30分～
 担当 5期:1名、6期:1名、7期:2名、8期:2名 計6名
 参加数 延べ174人

(4)サポート活動 系の活動

・研修係

館内研修として9月4日に「桑山忠明について」(講師:山田学芸課長)、3月11日にDVD鑑賞会を開催。館外研修として、10月18日に碧南市藤井達吉現代美術館にて「山本富章展 ー創造の原点から色斑空間へー」を鑑賞し、作家の山本富章氏に展示の解説をしていただいた。

・資料係

常設展の展示が絵ごとにギャラリー・トークの参考となる資料を選別して、ボランティアに配布したり、特別展等で使用した図書資料やコレクション解析学等の展示会の記録を収集し、後に参照しやすいよう整理して保存するなど、資料の管理全般に携わった。

・体験活動係

年5回開催される「キッズの日」各プログラムの実施に際し、スタッフの募集や実施までの連絡調整、教材の下準備、参加者との対話を中心とした当日の運営サポート、実施後のボランティア定例会での活動報告を主に担当した。当日の円滑な事業運営や鑑賞対象となる作品への理解を深めるため、事前打ち合わせやギャラリートークの自主練習を行うとともに、実施後の記録や意見交換を通じてプログラムの改訂にも取り組んだ。

・学校等団体対応係

学校等の団体鑑賞を円滑に行うために取りまとめを行った。また、自主勉強会を5回にわたり実施し、ギャラリートークの進め方等についての意見交換や鑑賞教育に関するDVDの鑑賞などを行った。

(5)その他

ボランティアによる名古屋まつり特別企画

日時 10月16日(日)
場所 名古屋市美術館常設展示室1・2、屋外美術館敷地内など
スタッフ ボランティア28名
補佐 保崎裕徳(名古屋市美術館学芸員)
内容 常設展が無料開放となる「名古屋まつり」の日程にあわせて、特別なイベントで来館者に美術と親しんでいただくと同時に、ボランティアによるギャラリートークをより多くの人に知っていただくという趣旨の企画。今年には以下の2種類のイベントを実施した。各イベントとも前日までの申込は不要の自由参加の形をとった。なお、通常実施している常設展のギャラリートークも午前11時～正午と午後2時～3時に実施している。

- ①**建物&彫刻ガイドツアー**…黒川紀章設計の建築の特徴ある箇所をめぐって屋内および屋外でガイドトークを実施した。屋外では恒久設置してある彫刻の魅力もあわせて紹介した。ボランティアは2名1組でガイドトークを行い、一階のエントランスから屋外へ出て、反時計回りで美術館の外周をめぐり、南側の池から北側のサンクンガーデンを経て、地下一階のロビーまで案内した。午前10時～11時、午後1時～2時、午後3時～4時の3回開催。ボランティアは17名で実施(うち6名がガイドを担当)、ツアー参加者は69名。
- ②**英語ギャラリートーク**…名古屋まつり開催時には比較的多くの外国人が来館することから、英語で常設展の作品を紹介するギャラリートークを実施した。ギャラリートークは英語で会話ができるボランティアが担当した。午前9時30分～午後4時の間に訪れた外国人入場者に随時応対し、1日で32名の参加者があった。ボランティアは11名で実施(うち7名がギャラリートークを担当)。

3 学生向け優待事業

(1)美術館学生メンバーズ

①趣旨

美術館と大学等との教育連携により、学生と美術との出会いを容易にし、学生生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

大学(短大、大学院)、専修学校、各種学校等の学校の生徒。オプションとして教職員の付加も可能。

③事業概要

「ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金」に一定額以上の寄附を行った学校法人や団体に対して、その特典として、在籍する学生等がその年度の特別展や常設展を学生証等の呈示だけで無料で観覧できるようにするもの。

④会員校(平成29年3月31日現在)

- ・名古屋大学
- ・名古屋芸術大学
- ・名古屋学院大学
- ・名古屋市立大学

(2)中京大学との相互連携

平成28年1月26日、中京大学と美術館、博物館及び科学館との間で「中京大学と博物館・美術館・科学館との相互連携事業に関する覚書」を締結し、平成28年度に「中京大学三館特別優待事業」を実施した。

(3)高校生サポーター事業

①趣旨

事業の実施により、高校生の美術に対する理解を深め、学校生活をより豊かにする機会を提供する。

②対象

高等学校、中等教育学校(後期課程に限る。)又は高等専門学校の生徒。

③事業概要

2,000円の会費の納付により、納付から1年間の会員期間の間、サポーター証及び学生証の呈示により特典を受けられる。特別展は会員及び同行する高校生が4回を上限に無料で観覧でき、常設展は会員が何度でも無料で観覧できる。

4 協力会

名古屋市美術館協力は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

<会員数>

<新規・継続別> (平成29年3月31日現在)

		新規	継続	計	
特別会員	6名	特別会員 1名	5名	6名	
一般会員	81名	一般会員 11名	70名	81名	
ユース会員	12名	ユース会員 7名	5名	12名	
家族会員	48名	家族会員 7名	41名	48名	
(計)	147名	(計)	26名	121名	147名

平成28年度美術館協力会事業報告

(1) 展覧会ギャラリー・トークの開催

- 「生誕130年記念 藤田嗣治展」
平成28年 5月15日(日) 71名参加
- 「あいちトリエンナーレ2016」
平成28年 8月21日(日) 39名参加
- 「あいちトリエンナーレ2016」(合同鑑賞会)
平成28年 8月30日(火)
午前の部(名古屋市美術館) 25名参加
午後の部(愛知県美術館) 21名参加
- 「アルバレス・ブラボ写真展」
平成28年11月20日(日) 44名参加
- 「永青文庫 日本画の名品展」(前期)
平成29年 1月15日(日) 49名参加
- 「永青文庫 日本画の名品展」(後期)
平成29年 2月18日(土) 47名参加
- 「アドルフ・ヴェルフリ展」
平成29年 3月19日(日) 34名参加

(2) 美術館見学ツアーの実施

- 春 平成28年 5月29日(日) 44名参加
国立国際美術館、大阪市立東洋陶磁美術館、アサヒビール大山崎山荘美術館
- 秋 平成28年 9月24日(土)～9月25日(日) 31名参加
箱根彫刻の森美術館、ポーラ美術館、岡田美術館、願成就院

(3) 作家を囲む会

- 「あいちトリエンナーレ2016」作家を囲む会
平成28年10月 9日(日) 22名参加
- 「河村るみ 介一と死のあいだ」作家を囲む会
平成29年 2月 5日(日) 24名参加

(4) 美術館鑑賞ミニツアー

- 「アンコール・ワットへのみち展」名古屋市博物館
平成28年 4月17日(日) 25名参加
- 「デトロイト美術館展」豊田市美術館
平成28年 6月19日(日) 14名参加
- 「ルノワールの時代展」名古屋ボストン美術館
平成28年 7月 3日(日) 21名参加
- 「世界遺産ポンペイの壁画展」名古屋市博物館

- 平成28年 7月31日(日) 41名参加
「俺たちの国芳 わたしの国貞展」名古屋ボストン美術館
- 平成28年10月29日(土) 19名参加
「山本富章展」碧南市藤井達吉現代美術館
- 平成28年11月12日(土) 10名参加
「蜘蛛の糸展」豊田市美術館
- 平成28年12月 4日(日) 9名参加
- (5) 協力会共催事業
「河村るみ 介一と死のあいだ」展記念対談「看取りについて」
平成29年 2月25日(土)
- (6) ブログの運用
平成28年度ブログ閲覧状況
[投稿53件、閲覧数11,119回、ユーザー数(延) 4,193名]
- (7) オリジナル・カレンダーの作成及び配付
「庄司 達」氏のドローイング 250部
- (8) 催しものの案内
特別展、常設展、講演会など情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付
- (9) 作品の寄贈
オリジナル・カレンダー1件1点
平成29年 1月16日の資料収集会議にて意見を聴取し、異論なし。
- (10) 総会の開催
平成28年 6月12日(日) 35名参加(委任状名63名)

5 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、そのときどきの特別展に即した参考資料を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力しています。

図書資料分類別冊数一覧 (平成29年3月31日現在)

分類	和書	洋書
辞書、辞典、年鑑、図書目録	575(1)	225(2)
画集、美術全集、所蔵品目録	7,550(135)	3,553(35)
展覧会図録	12,966(266)	1,514(16)
研究書、技法書	375(22)	15(1)
年報、紀要、報告書	7,505(430)	23(0)
美術雑誌	12,889(101)	2,560(7)
その他(美術教科書、一般図書)	2,563(9)	1,094(0)
小計	44,423(964)	8,984(61)
総計	53,407(1,025)冊	

()は今年度の受け入れ図書冊数

入室者数 **7,836名**

4月	492名	10月	752名
5月	912名	11月	374名
6月	1,244名	12月	264名
7月	398名	1月	430名
8月	723名	2月	1,060名
9月	670名	3月	517名

出版・制作物一覧

美術館ニュース「アートペーパー」Nos.102、103、104

美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。

A 2 版、部数:各5,000部

特集記事

102号:デジタル・カウンターが表す人間の存在

—宮島達男の作品

103号:亡命はタンカーに乗って

—トロツキーの亡命と暗殺をめぐる日本とメキシコの話

104号:華やかさと憂いと

—エコール・ド・パリの画家・キスリング



年報

平成27年度の美術館活動全般の詳細な記録です。

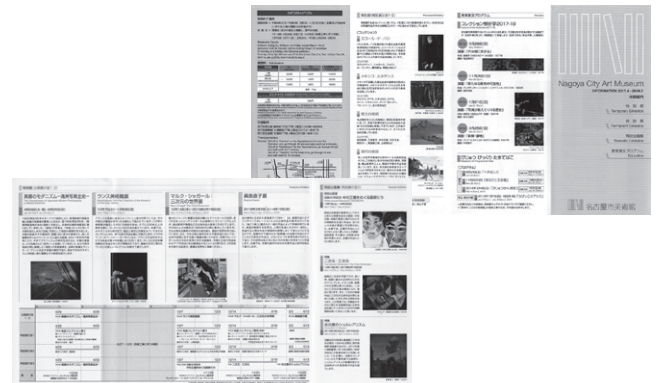
A 4 版、68頁、PDFデータとして当館ウェブサイトに掲載



年間案内

平成28年度1年間の展覧会の情報を告知するものです。

A 4 版変形、部数:20,000部



ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金事業リーフレット

30周年記念美術品を購入するにあたっての寄附金事業に関する案内リーフレットです。

A 4 版変形、部数:5,000部



平成28年度は、購入4点、受贈186点、受託52点の合計242点の作品を新たに受け入れました。

購入作品4点のうち3点は、前年度にも3点の作品を収集している、ドイツ人写真家フーゴ・プレーメの作品です。メキシコの近代写真に大きな足跡を残したプレーメの作品3点を新たに加えることにより、この作家の全体像を概観でき、またその後のメキシコ人写真家との影響関係を探るうえでまたとない資料となりました。

眞島健三は戦前の名古屋のシュルレアリスム運動を語るうえで欠くことのできない作家の1人ですが、今回戦後間もない時期の貴重な作品1点を購入し、またその後の作家の展開をたどることができる作品5点をご寄贈いただきました。

その他の寄贈については、まず一昨年個展を開催した若林奮の初期の作品1点をご寄贈いただきました。作者が滞欧中に制作した作品に帰国後手を加えた小作品で、創作の原点を知ることができる貴重な1点です。

岡田中治は、地元出身の淵上白陽らとともに満州で活躍した写真家の1人で、1994年に開催した特別展「異郷のモダニズム展」の際の出品作家の1人です。展覧会終了後、当館に寄託をいただいていた作品を今回まとめてご寄贈を受けることになりました。いずれも岡田中治の代表的なイメージばかりです。

北川民次は当館のコレクションの中でもとりわけ重要な作家の1人ですが、版画の制作にも情熱を注いだこの作家の、全体像を知ることができる153点もの版画作品をまとめてご寄贈いただきました。これは北川民次の全版画の半分近くにもなる数で、初期のメキシ

コ時代から最晩年まで、幅広い作風をご紹介できるコレクションです。

横井礼以は名古屋の近代洋画を代表する作家の一人ですが、今回ご遺族からこの作家の最も充実していた1920年代の作品2点をご寄贈いただくことができました。

藤田嗣治は当館のエコール・ド・パリの重要な作家の1人ですが、その父嗣章は陸軍の軍医総監を務めた人物で、多くの後進の育成にも力を注ぎました。今回その中のおひとりのご遺族から、嗣章が没した際に記念に刊行された貴重な書籍と、藤田が描いた挿絵の原画のご寄贈を受けました。

そして、毎年度恒例になりましたが、当館の協力会が作成するオリジナル・カレンダーを今年もご寄贈いただきました。今回は地元の現代作家庄司達氏による色鉛筆を使用した繊細で美しいカレンダーです。

受託作品としては、藤田嗣治が戦後間もない時期に描いた少女と猫をモチーフにした作品、地元出身で独特のユーモラスな感覚を持つ彫刻作品で知られる伊藤誠の《船の肉》、さらにはスペイン静物画に着想を得た森村泰昌の《ボデゴン（鼻つき洋梨）》など、特徴のある作品の寄託を受けました。そして、地元の個人コレクターからホックニー、ショルツ、イケムラ・レイコなど、47点もの作品をまとめてご寄託いただきました。収集予算が極めて限定されている現状で、これらの寄贈や寄託の作品はコレクションに厚みを増す大変貴重なものです。今後常設展示の中で有効に活用させていただきたいと思っております。

(1) 購入



1. フーゴ・ブレーメ(1882-1954)
BREHME, Hugo
《壺を作る男、クエルナバカ》
Alfarero de Cuernavaca
n.d.(1920s-30s)
ゼラチンシルバープリント
33.6×26.0cm



2. フーゴ・ブレーメ(1882-1954)
BREHME, Hugo
《クエルナバカ》
Cuernavaca
n.d.(1920s-30s)
ゼラチンシルバープリント
25.9×33.4cm



3. フーゴ・ブレーメ(1882-1954)
BREHME, Hugo
《ポボカテペトル山》
Popocatepet
n.d.(1920s-30s)
ゼラチンシルバープリント
26.9×33.9cm

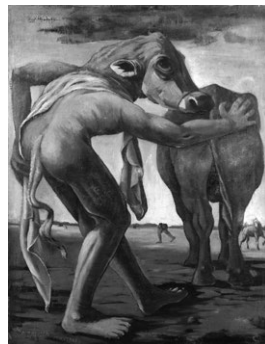


4. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
《遍歴》
Wanderings
1945年
油彩・キャンヴァス
75.0×63.0cm

(2) 寄贈



5. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
題不詳(樹)
[trees]
1948年
油彩・キャンヴァス
117.0×91.5cm



6. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
《ミノタウロス》
Minotaur
1948年
油彩・キャンヴァス
117.0×91.5cm



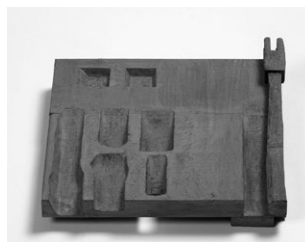
7. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
《パンの詩》
Poem of Bread
1951年
油彩・キャンヴァス
48.0×55.0cm



8. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
《断奏》
Staccato
1955年
油彩・キャンヴァス
103.0×83.5cm



9. 眞島建三(1916-1994)
MAJIMA, Kenzo
《ふぎだまり No.2》
Drifts No.2
1955年
油彩・キャンヴァス
75.0×93.0cm



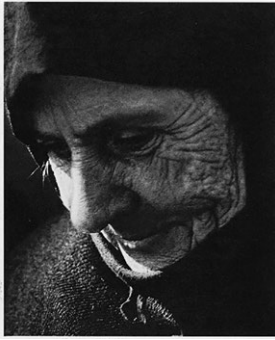
10. 若林 奮(1936-2003)
WAKABAYASHI, Isamu
題不詳(無題)
[Untitled]
1974-1993年
木・インク
23.0×22.3×d 6.9cm



11. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(姉弟)
[A girl and her younger brother]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
23.9×20.6cm



12. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(二人の男)
[Two Men]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
23.9×28.7cm



13. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(老婆)
[A Old Russian Woman]
c.1939-1940
ゼラチンシルバープリント
28.3×23.1cm



14. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(牛飼いの男)
[A Cowherd]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
23.2×28.6cm



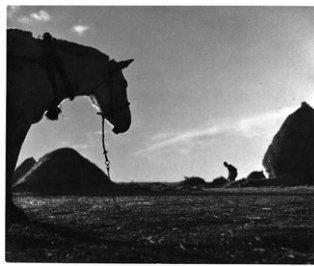
15. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(壺とその影)
[A Pot and its reflection]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
30.1×24.4cm



16. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
《葬送(式)》
Attendance at a Funeral
1940年
ゼラチンシルバープリント
27.9×23.3cm



17. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(薬缶)
[A Kettle and its reflection]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
28.9×19.8cm



18. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(馬)
[Horses]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
23.9×28.8cm



19. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
《冬の陽》
Winter day
1939年
ゼラチンシルバープリント
27.5×24.3cm



20. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
題不詳(油)
[Surface of Oil]
n.d.(1931-1940)
ゼラチンシルバープリント
24.6×29.5cm



21. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
《女》
A Woman
c.1939-1940
ゼラチンシルバープリント
54.1×42.1cm



22. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
《老婆》
An Old Chinese Woman
c.1939年
ゼラチンシルバープリント
50.7×41.6cm



23. 岡田中治(1909-1977)
OKADA, Chuji
《男》
A Man
1937年
ゼラチンシルバープリント
55.0×43.8cm



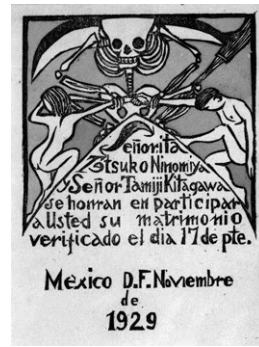
24. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Exlibris Susan Smith》
Exlibris Susan Smith
1929年頃
木版
9.2×6.4cm
斎藤謙氏寄贈



25. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Exlibris Provosty》
Exlibris Provosty
1929年頃
木版
8.5×6.7cm
斎藤譲氏寄贈



26. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコ人の家族》
Mexican Family
1929年頃
エッチング
12×9.7cm
斎藤譲氏寄贈



27. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《結婚通知状》
Announcement of Marriage
1929年
木版
11.0×8.0cm
斎藤譲氏寄贈



28. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《水浴する二人の女》
Two Bathing Women
1934年
リトグラフ
17.0×11.5cm
斎藤譲氏寄贈



29. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《字を書くメキシコの女》
Mexican Woman Writing
1935年
リノカット
13.0×8.5cm
斎藤譲氏寄贈



30. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (表紙) 工場の一角》
A Section of the Factories
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
11.3×11.3cm
斎藤譲氏寄贈



31. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (1) 窯小屋》
Shelter of Ceramic Kiln
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
13.5×19.5cm
斎藤譲氏寄贈



32. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (2) 土堀り場》
Porcelain Cray Stope
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
9.0×12.7cm
斎藤譲氏寄贈



33. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (3) 煙突のある風景》
Sight of Chimneys
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
19.7×13.2cm
斎藤譲氏寄贈



34. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (4) 夜の工場》
Night Scene of the Factory
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
12.5×19.4cm
斎藤譲氏寄贈



35. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (5) 工場の中》
In the Factory
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
19.7×13.0cm
斎藤譲氏寄贈



36. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景 (6) ろくろを廻す男》
Man turning the Potter's Wheel
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
19.6×12.3cm
斎藤譲氏寄贈



37. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景(7)山のなかの窯場》
Ceramic Kiln in the Mountain
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
11.9×16.0cm
斎藤譲氏寄贈



38. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景(8)窯入れ》
Baking the Ceramics
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
19.7×12.2cm
斎藤譲氏寄贈



39. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景(9)窯焼き》
Setting in the Kiln
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
13.4×19.5cm
斎藤譲氏寄贈



40. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸十景(10)瀬戸市街》
Street Scene in Seto
(Ten Scenes of Seto)
1937年
リノカット
19.4×12.3cm
斎藤譲氏寄贈



41. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《自画像》
Self Portrait
1937年頃
木版
7.0×4.2cm
斎藤譲氏寄贈



42. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《家族》
Family
1937年頃
木版
7.5×7.5cm
斎藤譲氏寄贈



43. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコの女》
Mexican Woman
1937年頃
セルロイド凸版
22.3×15.0cm
斎藤譲氏寄贈



44. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《牛》
Cow
1937年頃
木版
8.0×11.0cm
斎藤譲氏寄贈



45. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコの浴み》
Mexican Bathing
1941年頃
木版
26.0×29.0cm
斎藤譲氏寄贈



46. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《タスコの裸婦》
Naked Woman in Taxco
1941年頃
木版
24.0×43.0cm
斎藤譲氏寄贈



47. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコ群像》
Group in Mexico
1941年頃
木版
27.0×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



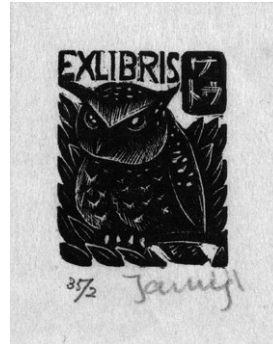
48. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《猫と女》
Woman and Cat
1941年頃
木版
21.5×26.7cm
斎藤譲氏寄贈



49. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Exlibris T. Kitagawa》
Exlibris T. Kitagawa
1942年頃
木版
7.0×4.8cm
斎藤譲氏寄贈



50. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Exlibris S. Kubo》
Exlibris S. Kubo
1943年頃
木版
7.7×6.5cm
斎藤譲氏寄贈



51. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Exlibris サトウ》
Exlibris Sato
1943年頃
木版
4.2×3.4cm
斎藤譲氏寄贈



52. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花》
Flower
1944年
ステンシル
23.0×16.5cm
斎藤譲氏寄贈



53. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《教育者》
Educator
1947年
木版
12.5×11.0cm
斎藤譲氏寄贈



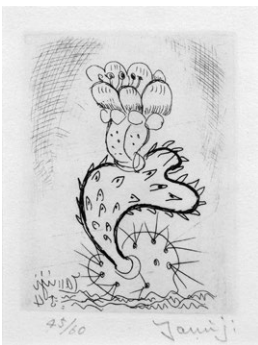
54. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《拳をあげる男》
Man Shaking his Fist
1947年
木版
8.5×6.5cm
斎藤譲氏寄贈



55. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコの男》
Mexican Man
1948年
木版
8.5×6.5cm
斎藤譲氏寄贈



56. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《蛇を握る女》
Woman Grasping a Snake
1951年
木版
7.2×5.3cm
斎藤譲氏寄贈



57. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテン》
Cactus
1954年
エッチング
9.0×6.7cm
斎藤譲氏寄贈



58. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《水浴する母と娘》
Bathing Mother and her Daughter
1954年
リトグラフ
47.5×30cm
斎藤譲氏寄贈



59. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《ざくろをもつ女》
Woman with a Pomegranate
1954年
リトグラフ
56.0×41.0cm
斎藤譲氏寄贈



60. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《ばら》
Rose
1956年
リトグラフ
36.0×29.0cm
斎藤譲氏寄贈



61. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコの女》
Mexican Woman
1956年
リトグラフ
38.0×29.0cm
斎藤譲氏寄贈



62. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテンを売る女》
Woman Selling a Cactus
1956年
リトグラフ
42.5×27.5cm
斎藤譲氏寄贈



63. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコ三人女》
Three Mexican Women
1957年
リトグラフ
39.0×51.0cm
斎藤譲氏寄贈



64. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《狂女》
A Madwoman
1957年
リトグラフ
23.0×18.0cm
斎藤譲氏寄贈



65. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母と娘》
Mother and Daughter
1957年
リトグラフ
43.0×33.5cm
斎藤譲氏寄贈



66. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母子像》
Mother and Child
1957年
リトグラフ
44.5×33.5cm
斎藤譲氏寄贈



67. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花》
Flower
1957年
リトグラフ
44.5×36.0cm
斎藤譲氏寄贈



68. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《群像》
Group
1957年
リトグラフ
44×38.0cm
斎藤譲氏寄贈



69. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテン》
Cactus
1957年
リトグラフ
27.0×23.0cm
斎藤譲氏寄贈



70. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《犬》
Dog
1957年
リトグラフ
23.0×27.0cm
斎藤譲氏寄贈



71. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《女の顔》
Face of Woman
1957年
リトグラフ
28.0×28.0cm
斎藤譲氏寄贈



72. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《浴み》
Bathing
1957年
木版
17.0×21.0cm
斎藤譲氏寄贈



73. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《犬》
Dog
1957年
木版
11.5×13.0cm
斎藤譲氏寄贈



74. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《裸婦》
Nude
1958年
リトグラフ
39.0×26.0cm
斎藤譲氏寄贈



75. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタ》
Grasshopper
1958年
リトグラフ
24.0×34.0cm
斎藤譲氏寄贈



76. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花売り》
Flower Seller
1958年
リトグラフ
32.0×24.0cm
斎藤譲氏寄贈



77. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《トリオ》
A Trio
1958年
リトグラフ
32.0×24.0cm
斎藤譲氏寄贈



78. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテン売り》
Cactus Seller
1958年
エッチング
18.0×15.0cm
斎藤譲氏寄贈



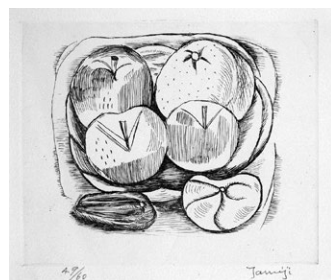
79. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《十字架》
A Cross
1958年
エッチング
18.0×16.0cm
斎藤譲氏寄贈



80. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタ》
Grasshopper
1958年
エッチング
9.0×18.0cm
斎藤譲氏寄贈



81. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《白人と黒ん坊の子ども》
White Man and Black Child
1958年
エッチング
18.0×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



82. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《静物》
Still Life
1958年
エッチング
15.0×18.0cm
斎藤譲氏寄贈



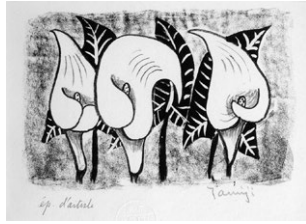
83. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテン(ノバール)》
Cactus
1958年
リトグラフ
39.0×30.0cm
斎藤譲氏寄贈



84. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《子供をだいた二人の女》
Two Women with Their Child
1958年
リトグラフ
57.5×43.0cm
斎藤譲氏寄贈



85. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《音楽家たち》
Musicians
1958年
リトグラフ
54.0×38.0cm
斎藤譲氏寄贈



86. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《かいう》
Calla
1958年
リトグラフ
11.0×17.0cm
斎藤譲氏寄贈



87. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《紫の花》
Flower in Violet
1960年
リトグラフ
43.0×57.0cm
斎藤譲氏寄贈



88. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタ》
Grasshopper
1960年
リトグラフ
14.0×19.5cm
斎藤譲氏寄贈



89. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《大地に座る女》
Woman Sitting on The Earth
1960年
リトグラフ
12.0×18.0cm
斎藤譲氏寄贈



90. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花と二人の女》
Flower and Two Women
1961年
リトグラフ
27.0×22.0cm
斎藤譲氏寄贈



91. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《蘭》
Orchid
1961年
リトグラフ
22.5×27.5cm
斎藤譲氏寄贈



92. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《海芋を売るインディアン》
Indian selling Calla
1961年
リトグラフ
22.5×34.0cm
斎藤譲氏寄贈



93. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《教会の前の婦人》
Woman in front of Church
1961年
リトグラフ
23.5×33.7cm
斎藤譲氏寄贈



94. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メスチーサ》
Mestizo
1961年
リトグラフ
11.5×18.5cm
斎藤譲氏寄贈



95. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《海芋の花》
Calla
1961年
リトグラフ
24.0×13.2cm
斎藤譲氏寄贈



96. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《アダムとイブ》
Adam and Eve
1961年
エッチング
17.8×25.7cm
斎藤譲氏寄贈



97. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バラ》
Rose
1961年
エッチング
10.6×7.4cm
斎藤譲氏寄贈



98. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《はだかの母子像》
Naked Woman and her Child
1961年
エッチング
9.3×6.4cm
斎藤譲氏寄贈



99. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《りんごのある母子像》
Woman and her Child with Apple
1961年
リトグラフ
19.0×14.0cm
斎藤譲氏寄贈



100. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸の街》
Town of Seto
1961年
リトグラフ
45.5×34.0cm
斎藤譲氏寄贈



101. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《眠るインディアン》
Sleeping Indian
1961年
リトグラフ
29.5×39.0cm
斎藤譲氏寄贈



102. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《魔女》
Witch
1961年
リトグラフ
28.5×39.0cm
斎藤譲氏寄贈



103. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《小さいバラ》
Small Rose
1961年
リトグラフ
26.0×15.0cm
斎藤譲氏寄贈



104. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《坐る裸婦》
Sitting Nude
1961年
リトグラフ
26.0×16.0cm
斎藤譲氏寄贈



105. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《魚を売る女》
Woman selling Fish
1962年
リトグラフ
47.0×66.0cm
斎藤譲氏寄贈



106. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《アザミの花》
Flower of Thistle
1962年
リトグラフ
53.0×43.0cm
斎藤譲氏寄贈



107. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《裸婦》
Nude Woman
1962年
木版
26.0×39.0cm
斎藤譲氏寄贈



108. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《シクラメンを主題にしたブーケ》
Bouquet of Cyclamen
1964年
リトグラフ
39.0×53.0cm
斎藤譲氏寄贈



109. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《愛情》
Love
1964年
リトグラフ
67.0×48.0cm
斎藤譲氏寄贈



110. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《教会のある母子像》
Woman and Child in front of
Church
1964年
リトグラフ
38.0×26.0cm
斎藤譲氏寄贈



111. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《水仙》
Narcissus
1965年
リトグラフ
38.0×24.0cm
斎藤譲氏寄贈



112. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《抱く》
Embracing
1965年
リトグラフ
28.5×23.0cm
斎藤譲氏寄贈



113. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《マーケットの女たち》
Women in Market
1965年
リトグラフ
23.0×28.5cm
斎藤譲氏寄贈



114. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《哺育》
Sucking
1965年
リトグラフ
45.0×30.0cm
斎藤譲氏寄贈



115. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《シュプリベディウム》
Cypripedium
1965年
リトグラフ
45.0×30.0cm
斎藤譲氏寄贈



116. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《グロキシニア》
Gloxinia
1965年
リトグラフ
38.0×45.0cm
斎藤譲氏寄贈



117. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《陶工》
Potter
1965年
リトグラフ
54.0×37.0cm
斎藤譲氏寄贈



118. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《二人の女の顔》
Two Women's Faces
1965年
リトグラフ
37.0×54.0cm
斎藤譲氏寄贈



119. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《南方の花》
Flowers from South
1967年
リトグラフ
29.5×45.0cm
斎藤譲氏寄贈



120. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《蘭の花》
Flower of Orchid
1967年
リトグラフ
38.0×30.5cm
斎藤譲氏寄贈



121. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母子》
Mother and Child
1967年
リトグラフ
38.0×30.5cm
斎藤譲氏寄贈



122. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《かいう》
Calla
1967年
リトグラフ
38.0×31.5cm
斎藤譲氏寄贈



123. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸の母子像》
Mother and Child in Seto
1967年
リトグラフ
40.0×31.5cm
斎藤譲氏寄贈



124. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《シクラメン》
Cyclamen
1967年
リトグラフ
38.5×30.5cm
斎藤譲氏寄贈



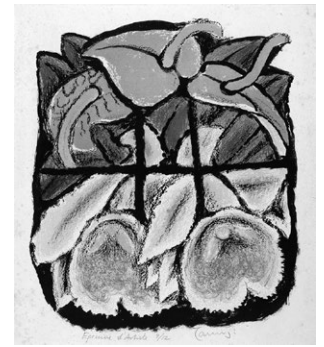
125. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《抱擁》
Embracing
1967年
リトグラフ
39.0×30.5cm
斎藤譲氏寄贈



126. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《グロキシニア》
Gloxinia
1967年
リトグラフ
40.0×29.5cm
斎藤譲氏寄贈



127. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《聖母子》
The Holy Mother and Kid
1967年
リトグラフ
37.5×29.5cm
斎藤譲氏寄贈



128. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《アンズリウムとカトレア》
Anthurium and Cattleya
1967年
リトグラフ
36.0×31.5cm
斎藤譲氏寄贈



129. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《水浴の母子》
Bathing Mother and Child
1967年
リトグラフ
40.0×33.0cm
斎藤譲氏寄贈



130. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《かいうの前で抱きあう二人》
Couple Embracing Each Other in
front of Calla
1967年
エッチング
13.5×9.0cm
斎藤譲氏寄贈



131. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《若者たち》
Youths
1967年
エッチング
13.5×9.0cm
斎藤譲氏寄贈



132. 北川民次 (1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《ひざの上の女》
Woman on One's Knees
1967年
エッチング
8.5×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



133. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《ひげのある男》
Mani Having a Mustache
1967年
エッチング
8.5×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



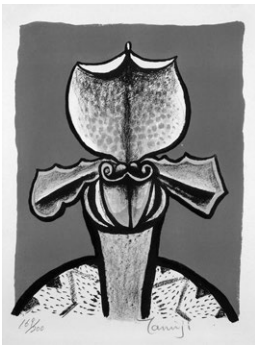
134. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《抱かれる女》
Embraced Woman
1967年
エッチング
8.5×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



135. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《まるくなる二人》
Couple Embracing Each Other
1967年
エッチング
8.5×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



136. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《黒い男》
Black Man
1967年
エッチング
8.5×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



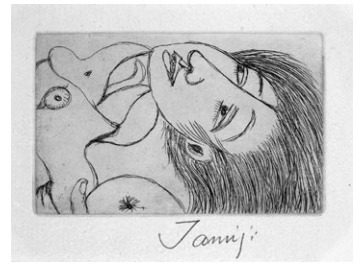
137. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《卓上の蘭》
Flower of Orchid on the Table
1968年
リトグラフ
27.5×21.5cm
斎藤譲氏寄贈



138. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母子像》
Mother and Child
1969年
エッチング
12.3×9.0cm
斎藤譲氏寄贈



139. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母子像》
Mother and Child
1970年
エッチング
17.6×14.8cm
斎藤譲氏寄贈



140. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《レダ》
Leda
1970年
エッチング
8.7×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



141. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《アンズリウムとシュプリペディウム》
Anthurium and Cypripedium
1970年
エッチング
24.5×18.0cm
斎藤譲氏寄贈



142. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《群集》
Group
1970年
エッチング
27.5×35.5cm
斎藤譲氏寄贈



143. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《雛》
Dolls
1970年
エッチング
27.5×40.0cm
斎藤譲氏寄贈



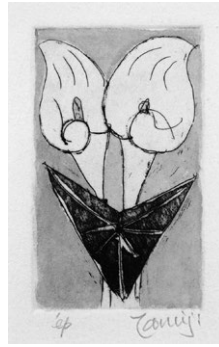
144. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《抱く》
Embracing
1970年
エッチング
14.7×9.0cm
斎藤譲氏寄贈



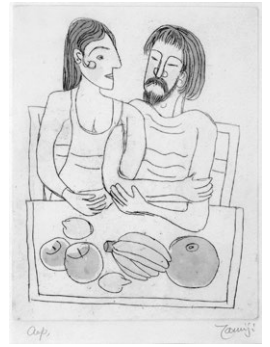
145. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《幻想的な肖像》
Visionary Portrait
1970年
エッチング
18.0×14.5cm
斎藤譲氏寄贈



146. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《瀬戸の母子像》
Mother and Child in Seto
1970年
エッチング
24.0×17.5cm
斎藤譲氏寄贈



147. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《小さいかいう》
Small Calla
1970年
エッチング
9.0×5.5cm
斎藤譲氏寄贈



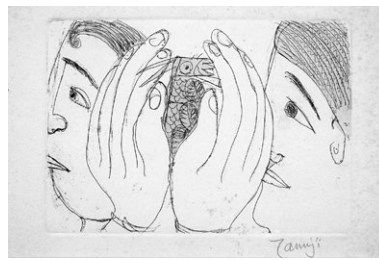
148. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《果物を前にした二人》
Couple with Fruits
1971年
エッチング
27.5×21.5cm
斎藤譲氏寄贈



149. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《倒れたバッタと群集》
Breaking Grasshopper and Group
1971年
エッチング
29.5×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



150. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《メキシコ三人娘》
Three Mexican Girls
1971年
エッチング
7.8×13.5cm
斎藤譲氏寄贈



151. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《両手に囲まれるバッタ》
Grasshopper Holding with Both
Hands
1971年
エッチング
14.5×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



152. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《馬と少女》
Girl and Horse
1971年
リトグラフ
38.0×29.0cm
斎藤譲氏寄贈



153. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《母子像》
Mother and Child
1972年
エッチング
25.5×18.5cm
斎藤譲氏寄贈



154. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花》
Flower
1972年
リトグラフ
21.5×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



155. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《卓上の静物》
Still Life on The Table
1972年
リトグラフ
40.0×34.0cm
斎藤譲氏寄贈



156. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バラ》
Roses
1973年
リトグラフ
21.0×31.0cm
斎藤譲氏寄贈



157. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《サボテンを売る女》
Woman selling Cactus
1973年
リトグラフ
28.8×19.0cm
斎藤譲氏寄贈



158. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《かいとう女》
Woman with Calla
1973年
リトグラフ
23.9×22.8cm
斎藤譲氏寄贈



159. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《Batta御礼》
Couple and Grasshopper
1974年
リトグラフ
12.0×16.5cm
斎藤譲氏寄贈



160. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《シクラメン》
Cyclamen
1975年
リトグラフ
26.5×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



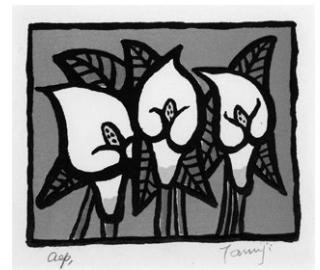
161. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《本を読む少女》
Girl reading Book
1975年
エッチング
19.8×17.5cm
斎藤譲氏寄贈



162. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《本を読む少女》
Girl reading Book
1975年
エッチング
19.8×17.5cm
斎藤譲氏寄贈



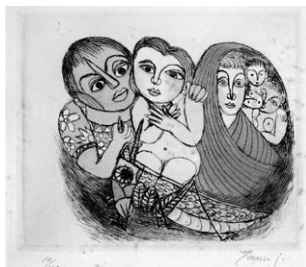
163. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《花を持つ少女》
Girl with Flower
1975年
リトグラフ
10.9×15.7cm
斎藤譲氏寄贈



164. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《三つのかいう(小)》
Three Callar (small)
1975年
リトグラフ
11.5×14.0cm
斎藤譲氏寄贈



165. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《シクラメン》
Cyclamen
1975年
エッチング
25.5×18.5cm
斎藤譲氏寄贈



166. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタと群集》
Grasshopper and Group
1976年
エッチング
15.5×18.5cm
斎藤譲氏寄贈



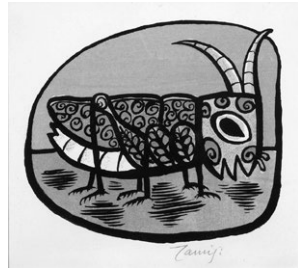
167. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《果物を売る女》
Woman selling Fruits
1976年
リトグラフ
23.5×21.7cm
斎藤譲氏寄贈



168. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《絵のある母子》
Mother and Child with Pictures
1976年
エッチング
20.3×17.7cm
斎藤譲氏寄贈



169. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《女と男》
Woman and Man
1977年
リトグラフ
26.5×20.5cm
斎藤譲氏寄贈



170. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタ》
Grasshopper
1977年
リトグラフ
19.5×22.8cm
斎藤譲氏寄贈



171. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《猿》
Monkey
1979年
エッチング
12.2×8.8cm
斎藤譲氏寄贈



172. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《女とトマト》
Woman with Tomatos
c.1973~77年
リトグラフ
34.0×30.0cm
斎藤譲氏寄贈



173. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《バッタに乗る女 E》
Woman riding on Grasshopper
1983年
エッチング
18.5×10.0cm
斎藤譲氏寄贈



174. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《自画像》
Self Portrait
1977年
エッチング
25.6×18.6cm
斎藤譲氏寄贈



175. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《楽士》
Bandsmen
1936年
木版
9.5×12.3cm
斎藤譲氏寄贈



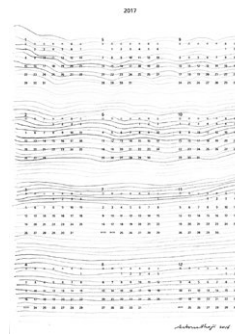
176. 北川民次(1894-1989)
KITAGAWA, Tamiji
《ブルケを採る》
Gathering Pulque
1929年
木版
12.3×8.3cm
斎藤譲氏寄贈



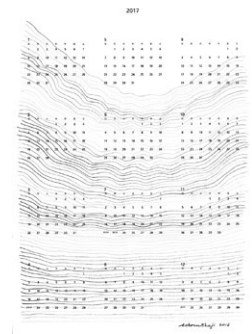
177. 横井礼以(1886-1980)
YOKOI, Reiji
《三箇の壺》
Three Pots
1923年
油彩・キャンヴァス
45.4×60.6cm



178. 横井礼以(1886-1980)
YOKOI, Reiji
《花》
Flower
1925年
油彩・キャンヴァス
72.2×66.1cm



179. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



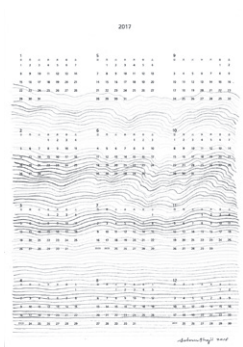
180. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



181. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



182. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



183. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



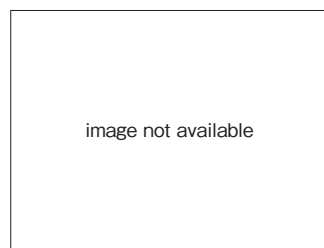
184. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



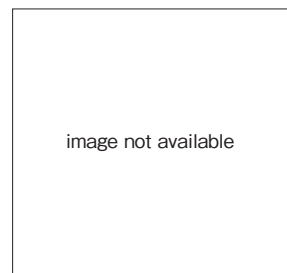
185. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



186. 庄司 達(1939-)
SHOJI, Satoru
《名古屋市美術館協会
カレンダー 2017年版》
Nagoya City Art Museum
Membership's Original Calender
2016年
色鉛筆・紙
40.0×29.7cm
名古屋市美術館協会寄贈



187. 藤田嗣治(1886-1968)
FUJITA, Tsuguharu
《秋海棠》
Begonia grandis
1943年
水彩・紙
18.7×28.2cm
安倍寧氏寄贈



188. 藤田嗣治(1886-1968)
FUJITA, Tsuguharu
《『陸軍軍医中将
藤田嗣章』》
Tsuguakira Foujita ;
Lieutenant General Doctor of Army
1943年
書籍
21.5×14.5×3cm
安倍寧氏寄贈

(3)資料収集状況一覧

年度別

年度	分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
58年度		0	26	2	0		1		29
59年度		3	32	50	1		0		86
60年度		4	25	67	20		2		118
61年度		5	23	33	6		1		68
62年度		12	38	0	360		15		425
63年度		0	15	8	13		6		42
元年度		3	7	2	275		1		288
2年度		7	4	2	17		1		31
3年度		1	3	2	122		0		128
4年度		2	10	15	126		3		156
5年度		0	13	4	0		3		20
6年度		0	7	0	1		2		10
7年度		1	27	2	195		0		225
8年度		0	7	0	2		3		12
9年度		0	2	0	17		2		21
10年度		2	8	0	21		0		31
11年度		2	10	0	0		1		13
12年度		0	9	0	0		0		9
13年度		0	8	0	※ -83	※ 83	1	0	9
14年度		1	0	0	167	0	0	0	168
15年度		0	1	0	0	8	2	0	11
16年度		0	0	8	0	0	2	0	10
17年度		0	2	10	0	4	0	0	16
18年度		0	9	0	0	0	0	0	9
19年度		0	2	0	0	0	1	0	3
20年度		0	1	0	0	0	1	0	2
21年度		0	1	7	3	0	0	0	11
22年度		0	1	0	0	0	0	0	1
23年度		0	1	0	0	0	0	0	1
24年度		0	0	0	0	0	2	0	2
25年度		0	0	0	0	2	0	0	2
26年度		0	0	0	0	0	0	0	0
27年度		2	1	0	0	3	0	0	6
28年度		0	1	0	0	3	0	0	4
購入総計		45	(1) 294	212	1,263	(3) 103	50	0	(4) 1,967
保管転換		16	41	31	35	3	3	1	130
寄贈		82	(7) 339	(1) 928	(154) 520	(13) 446	(1) 28	(10) 1,641	(186) 3,984
受入変更		0	0	0	0	2	0	0	(0) 2
総計		(0) 143	(8) 674	(1) 1,171	(154) 1,818	(16) 554	(1) 81	1,642	(190) 6,083

収集方針別

分類	日本画など	洋画など	水彩素描など	版画など	写真	彫刻など	特別資料	総計
エコール・ド・パリ	—	29	3	478	0	2	(2) 3	(2) 515
メキシコ・ルネサンス	—	34	38	381	(3) 60	4	0	(3) 517
現代の美術	5	137	82	282	12	(1) 63	10	(1) 591
郷土の美術	138	(8) 474	(1) 1,048	(154) 677	(13) 482	12	(8) 1,629	(184) 4,460
総計	(0) 143	(8) 674	(1) 1,171	(154) 1,818	(16) 554	(1) 81	(10) 1,642	(190) 6,083

()内の数字は平成28年度収集分
※分類変更による増減

ナッシュ, デイヴィッド 《降りてくる舟》

1994年 蝦夷赤松 高さ1200×直径80cm

デイヴィッド・ナッシュ《降りてくる舟》は、1994（平成6）年に開催された「デイヴィッド・ナッシュ展 音威子府の森」のために作家が来日し制作したもので、当館での展覧会開催に併せて購入し、美術館南側庭園端に設置したものである。

屋外での設置・展示ということもあり、これまで二度（平成8年、平成12年）に亘り、点検ならびに修復作業を行い、また昨年5月には基部内部の虫食いが疑われ、保全を図るべく処置と修復、さらには将来的な保管や保存についての方針を検討するため、現状調査を実行したばかりであった。

2016年の9月、前夜台風10号が当地を通過した21日午前10時頃、地中に設置していた作品根元部分から折れ、倒壊した。幸いにも通行者等を巻き込むような事故に至ることはなかった。倒壊した作品を移動し、これ以上の腐敗の進行を防ぐため、地面と隔離すべく、パレットに設置し、今後については作家と協議することとした。

作品を収集にあたっては、サイズ・材質・形状、作品の状態などの作品に即したデータの採取のほか、作者・作品名・制作年・出品歴・所蔵歴などの作品に係わる歴史・文献的な情報の調査も行っています。これらの情報は、作品研究の基礎となるものですが、収蔵時にすべてが明らかにできない作品もあります。このような作品は、収蔵後も機会あるごとに追跡調査や情報収集を行って、不明な事項や新しい事実を明らかにするように努めています。

(1)作家の生没年の変更

作家の逝去により改定：

丹羽 和子(1924-2014)	2014年4月14日逝去
河原 温(1932-2014)	2014年6月27日逝去
辰野登恵子(1950-2014)	2014年9月29日逝去
赤瀬川原平(1937-2014)	2014年10月26日逝去
木下 富雄(1923-2014)	2014年12月25日逝去
稲葉 桂(1937-2016)	2016年7月8日逝去
大森 運夫(1917-2016)	2016年9月29日逝去
中西 夏之(1935-2016)	2016年10月23日逝去
島田 章三(1933-2016)	2016年11月26日逝去

収蔵資料貸出 (平成28年度)

作家名	作品名	貸出期間・貸出先	展覧会名・展示期間
若林奮	(受託美術品)作品 (受託美術品)「所有・雰囲気・振動—森のはずれ」のための模型 No.4 (受託美術品)100線 No.3 (受託美術品)新100線 No.1 (受託美術品)新100線 No.2	H.27.4.3～H.28.7.4 名古屋市美術館 足利市立美術館 神奈川県立近代美術館 葉山 府中市美術館 うらわ美術館	「若林奮 飛葉と振動」展 H.27.4.18～H.27.5.24 H.27.6.6～H.27.8.2 H.27.8.15～H.27.12.23 H.28.1.9～H.28.2.28 H.28.4.23～H.28.6.19
三岸節子	二つの太陽 花咲くブルゴーニュ	H.27.1.8～H.28.5.30 一宮市三岸節子記念美術館 香雪美術館	「生誕110年記念 三岸節子展」 H.28.1.23～H.28.3.6 H.28.3.17～H.28.5.15
磯見輝夫	混沌の門(ed.6/15)	H.28.1.22～H.28.4.24 横須賀美術館	「嶋田しづ・磯見輝夫」展 H.28.2.6～H.28.4.10
藤田嗣治	風景 自画像 家族の肖像 (受託美術品)裸婦 (受託美術品)那覇	H.28.4.15～H.28.12.25 名古屋市美術館 兵庫県立美術館 府中市美術館	「生誕130年記念 藤田嗣治展」 H.28.4.29～H.28.7.3 H.28.7.16～H.28.9.22 H.28.10.1～H.28.12.11
北脇昇 北川民次 眞島建三	春に合掌す 焼跡 (受託美術品)遍歴	H.28.5.7～H.28.10.24 兵庫県立美術館 広島市現代美術館	「1945年±5年」展 H.28.5.21～H.28.7.3 H.28.7.30～H.28.10.10
	(図書資料)メキシカン・フォークウェイズ第6巻第4号 (図書資料)メキシカン・フォークウェイズ第7巻第2号 (図書資料)メキシカン・フォークウェイズ第7巻第3号 (図書資料)メキシコ	H.28.6.18～H.29.6.11 世田谷美術館 名古屋市美術館 静岡市美術館	「アルバレス・ブラボ写真展」 H.28.7.2～H.28.8.28 H.28.11.3～H.28.12.18 H.29.4.8～H.29.5.28
赤瀬川原平	復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る) 押収品: 模型千円札IIパネル作品2	H.28.6.23～H.28.9.18 パソ・インベリアル美術館(ブラジル)/国際交流基金	「コンテンポラリーの出現:日本の美術1955-1975」展 H.28.7.14～H.28.8.28
東郷青児	帽子をかむった男(歩く女)	H.28.9.17～H.29.4.9 鳥取県立博物館 埼玉県立近代美術館 高知県立美術館	「日本におけるキュビスム—ピカソ・インパクト」展 H.28.10.1～H.28.11.13 H.28.11.23～H.29.1.29 H.29.2.12～H.29.3.26
アメディオ・モディリアーニ	カリアティード(立てる裸婦)	H.28.10.7～H.29.2.26 アテネウム美術館(フィンランド)	「アメディオ・モディリアーニ回顧展」 H.28.10.28～H.29.2.5
山田正亮	Work D-92	H.28.11.22～H.29.4.23 東京国立近代美術館 京都国立近代美術館	「山田正亮展」 H.28.12.6～H.29.2.12 H.29.3.1～H.29.4.9
ぶろだくしょん我S	我S DISK 週刊週刊誌(全24冊) 週刊週刊誌(創刊号、夏季特大号、終刊号 計3冊) 週刊週刊誌 発刊企画の説明 週刊週刊誌 発売告知ビラ 週刊週刊誌 読者からの投書 週刊週刊誌 報道資料 人形参院選(空気人形10体) 人形参院選 報道資料	H.29.2.2～H.29.4.30 東京ステーションギャラリー	「パロディ、二重の声展」 H.29.2.18～H.29.4.16

(1)名称

ゆめ・プレミアムアートコレクション寄附金事業

(2)趣旨

開館30周年の節目となる平成30年に、記念となる優れた美術品を収集するため、寄附金を集めるもの。

(3)寄附金の概要

1口1,000円以上。特典として、3,000円以上の個人の寄附者には、常設展1年間定期観覧券（大人1,200円）を進呈。

(4)目標額

平成30年度に30,000千円。（学生向け優待制度の一部金額も含む）

(5)寄附金受入状況

121件、10,439千円（平成29年3月31日現在）

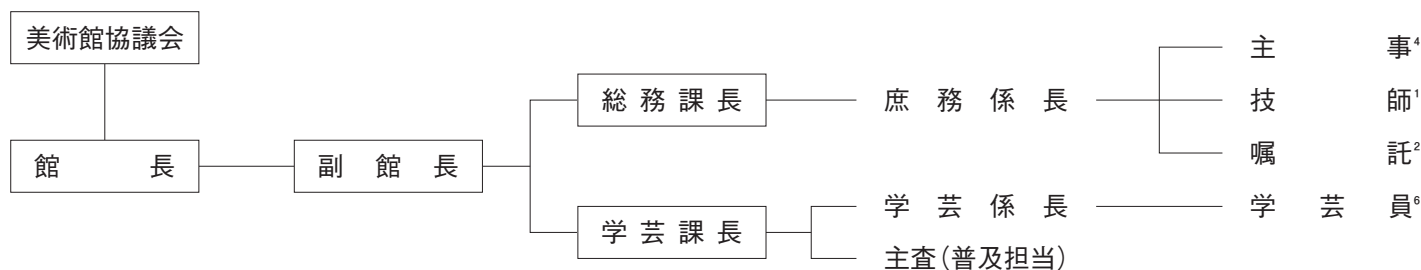
入館者一覽 VISITOR

展 覧 会 名	開催期間	開催 日数	有 料			無 料			入場者 総 数	
			一般	高大生	有料小計	招待券等	中学生小以下	無料計		
常 設 展	平成28年 4月1日(金)～ 平成29年 3月31日(金)	251	5,986	1,273	7,259	98,139	6,046	104,185	111,444	
特 別 展	東京藝大コレクション 麗しきおもかげ 日本近代美術の女性像 ※統計数字は4/1からのもの	平成28年 3月5日(土)～ 平成28年 4月17日(日)	15	3,396	191	3,587	2,616	104	2,720	6,307
	生誕130年記念 藤田嗣治展 —東と西を結ぶ絵画—	平成28年 4月29日(金)～ 平成28年 7月3日(日)	58	46,845	1,723	48,568	12,074	1,696	13,770	62,338
	あいちトリエンナーレ2016 虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅	平成28年 8月11日(木)～ 平成28年 10月23日(日)	68	31,571	3,552	35,123	30,454	4,367	34,821	69,944
	アルバレス・ブラボ写真展 —メキシコ、静かなる光と時	平成28年 11月3日(木)～ 平成28年 12月18日(日)	40	3,639	389	4,028	2,743	502	3,245	7,273
	永青文庫 日本画の名品	平成29年 1月14日(土)～ 平成29年 2月26日(日)	38	20,185	957	21,142	9,081	832	9,913	31,055
	アドルフ・ヴェルフリ 二萬五千頁の王国 ※統計数字は3/31までのもの	平成29年 3月7日(火)～ 平成29年 4月16日(日)	22	3,473	370	3,843	1,687	416	2,103	5,946
特別展小計		241	109,109	7,182	116,291	58,655	7,917	66,572	182,863	
合 計			115,095	8,455	123,550	156,794	13,963	170,757	294,307	
									教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く)	20,044
									総 計	314,351

〈年度別入館者数等〉

区 分		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	累 計	
展 覧 会	常 設 展	開催日数	275日	251日	248日	251日	8,200日
		入場者数	129,114人	86,558人	65,984人	111,444人	3,888,330人
	特 別 展	開催日数	217日	239日	218日	241日	6,220日
		入場者数	232,612人	172,776人	70,673人	182,863人	7,739,924人
入 場 者 小 計		361,726人	259,334人	136,657人	294,307人	11,628,254人	
教育普及事業参加者		24,702人	14,094人	14,856人	20,044人	673,077人	
入 館 者 合 計		386,428人	273,428人	151,513人	314,351人	12,301,331人	

1 組織図



2 美術館協議会

(1)名古屋市美術館協議会委員

名古屋市立高蔵小学校長	伊藤 久仁	愛知県私学協会副会長	大谷 恩
愛知県立旭丘高等学校長	笹尾 幸夫	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	別所 眞三
金城学院大学人間科学部教授	原 史子	名古屋市地域女性団体連絡協議会書記	橋本りゑ子
名古屋市立小中学校PTA協議会理事	伊藤 敦子	公募委員	國井 猛
愛知県立芸術大学美術学部教授	小西 信之	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂夫
愛知県美術館長	島 敦彦	名古屋造形大学造形学部教授	江本菜穂子
名古屋芸術大学美術学部教授	高橋 綾子	株式会社JTB中部代表取締役社長	松本 博

(2)名古屋市美術館協議会開催状況

日 時	場 所	協 議 題
第1回定例会 平成28年 8月17日(水) 午前10時～正午	美術館講堂	○平成27年度事業実施結果について ○平成28年度事業実施状況について
第2回定例会 平成29年 2月16日(木) 午前10時～正午	美術館講堂	○平成28年度事業実施状況について ○平成29年度事業計画案について

3 職 員

館 長	横井 政和	学芸課長	山田 諭
副館長	深谷 克典	学芸係長	山田 諭
総務課長	鈴木 良規	主査(普及)	蒲原 貴子
庶務係長	梶田 富子	学 芸 員	角田美奈子
主 事	高木 忠明		竹葉 丈
	布施 英彦		中村 暁子
	塚本 精蔵		笠木日南子
技 師	長谷川千加		清家 三智
	小川 和秀		保崎 裕徳
	小崎 博一		
嘱 託	石川 信介		

4 運営予算

総予算費	内 訳	
232,475千円	特別展関係費	90,339千円
	常設展運営費	18,907千円
	資料関係費	5,705千円
	教育普及事業費	7,490千円
	調査研究費	2,389千円
	管 理 費	107,645千円

平成28年度名古屋市美術館年報

発行日

平成29年12月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号
(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005